

令和8年度

八本松駅前土地区画整理事業

八本松駅前造成工事(8-1)

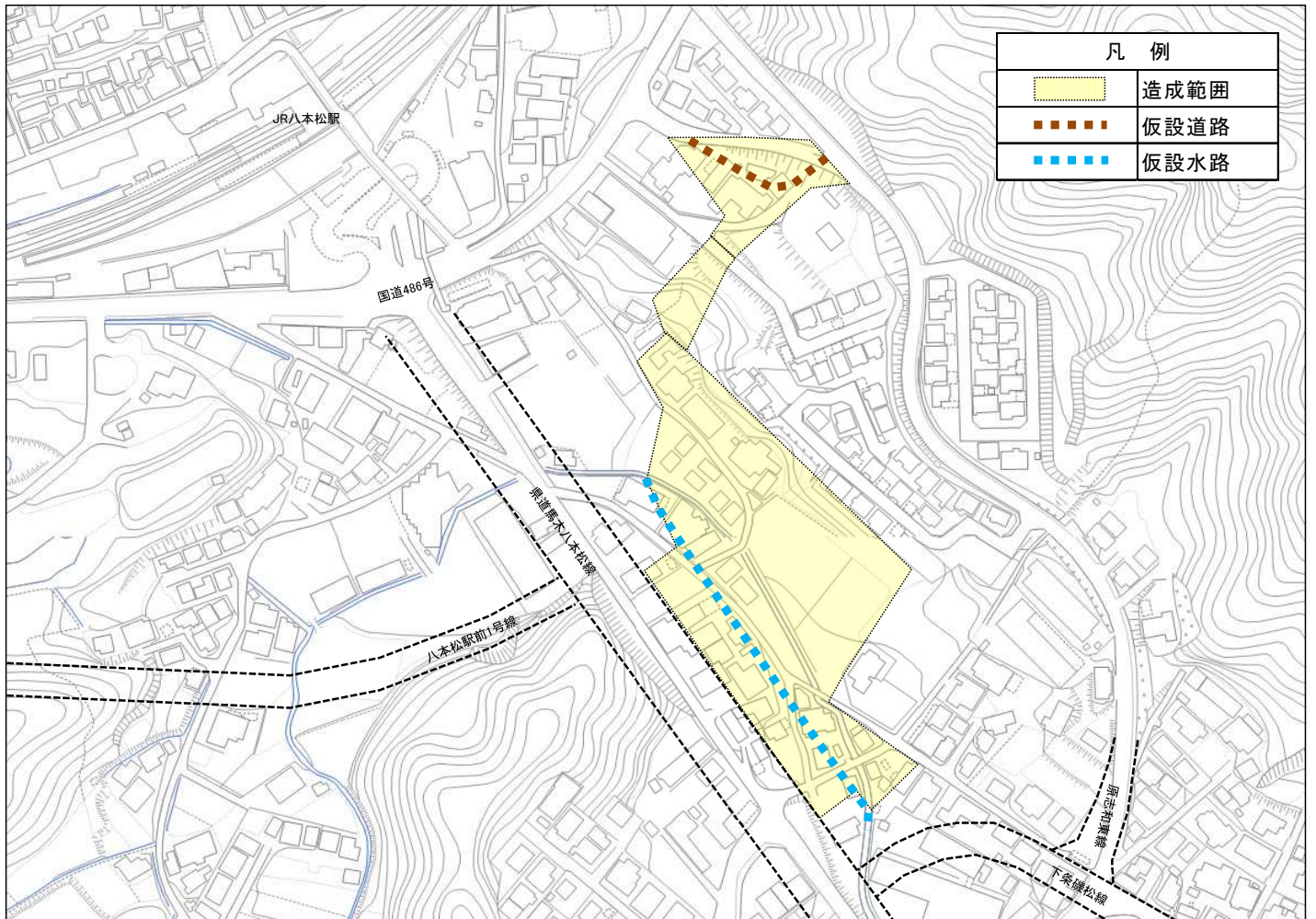
仕様書

施 工 場 所 東広島市八本松町飯田、原

位置図(広域)



位置図(詳細)



特記仕様書

(令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事 (8-1))

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 債務負担
4. 現場代理人の兼務
5. 現場作業終期日
6. 履行報告
7. 官公庁等への手続き等
8. 工事中情報共有システム（発注者指定型）
9. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
10. 主任（監理）技術者及び現場代理人の配置について
11. 法定外の労災保険の付保
12. 週休2日適用工事等 完全週休2日（土日）
13. 建設副産物の取り扱いについて
14. 週報
15. 仮設工の指定・任意
16. 検査
17. 開発行為

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 下水道用資機材

第3章 施工条件

1. 工程
 - (1) 関連する別途工事
 - (2) 家屋移転及び電柱移設
 - (3) 配水管移設
2. 用地
 - (1) 借地
3. 公害対策
 - (1) 公害防止
 - (2) 事前・事後調査
4. 安全対策
 - (1) 防護施設
 - (2) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (3) 架空線の防護管に要する費用について
 - (4) 通学路
5. 仮設備
 - (1) 仮設（山留）材料の残置
 - (2) 仮設電力設備
 - (3) 仮設材の引継ぎ
6. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土(工事内流用)

(2) 発生土(搬入)(場内及び場外からの流用)

7. 建設副産物

(1) コンクリート殻(有筋)(搬出)

(2) コンクリート殻(無筋)(搬出)

(3) アスファルト殻(搬出)

(4) 建設発生木材(搬出)

(5) 立会(建設発生木材の搬出)

1. その他

(1) 山留工(透水性鋼矢板)

(2) 盛土工

第4章 施工管理

1. 出来形管理

(1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

2. 品質管理

(1) 支持力確認

(2) 試掘

3. 工程管理

第5章 その他

1. 工事関係書類

2. 工事写真

3. 疑義の解決等

4. 仮設工

5. 街区点の復元測量

6. 工事範囲の調整

7. 事業区域内の維持修繕工事について

8. 埋設管の移設

9. 降雨時の対応について

10. 歩行者通路

11. 諸経費の計算

12. 振動レベル測定

13. 夜間のアスファルト加熱合材調達について

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県）」」及び東広島市制定の第15編下水道編（最新版）に基づいて実施しなければならない。この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。
- (13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 債務負担

各会計年度における請負代金の支払い限度額は次のとおりとする。

令和8年度 94,500,000円
令和9年度 残額

出来高予定額

令和8年度 105,000,000円
令和9年度 残額

発注者は、予算の都合その他の必要があるときは、支払い限度額及び出来高予定額を変更することができる。

支払い方法について、次のとおりとする。

前金払い 請求可

ただし、請求する場合は、契約会計年度は出来高予定額の40%以内を請求することとする。

なお、余裕期間制度適用工事においては「契約会計年度」を「工期の始期の属する年度」とする。

中間前金払・部分払い

契約約款特約事項22項により、契約締結時にいずれかを選択するものとする。ただし、中間前金払いを選択した場合においても、契約会計年度は、出来高予定額に係る当該年度末の出来高に対する部分払いを請求できるものとする。

4. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

5. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の28日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

6. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

7. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

8. 工事中情報共有システム（発注者指定型）

(1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（発注者指定型）である。

(2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。

(3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）

<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>

(4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。

(5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。

(6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。

2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。

3) 「4.検査」は適用しない。

4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。

5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

9. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

(1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

(2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。)期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

(3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。

ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。

(4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。

(5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。

(6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。

(7) 積算方法は次のとおりとする。

1) 補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値 (%) = 真夏日率×1.2

2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

(8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。

(9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

10. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

11. 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

12. 週休2日適用工事等 完全週休2日(土日)

本工事は、完全週休2日(土日)適用工事(受注者希望型)であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領(最新版)」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

13. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画(5の確認結果票を含む)を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあつては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあつては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあつては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に

他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

14. 週報

週の終わりに今週の施工実績と翌週の予定（立会等含む）を記載した週報を提出し、適切に工程を管理すること。

なお、提出方法は電子メールでも可とし、提出部数は1部とする。

15. 仮設工の指定・任意

施工手法等については、本工事費内訳書に種別・細別が記載されていても、図面で示している（仕様が定められている）場合を除き、特記仕様書の範囲内において受注者の任意である。

仮設工は事前に施工方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。

16. 検査

竣工検査又は部分使用に先立ち、次のとおり検査に合格すること。

- 1 区画整理造成工事において、東広島市開発指導課が行う検査
- 2 雨水及び汚水施設工事において、東広島市下水道部が行う検査
- 3 配水管（又は給水管）工事において、広島県水道広域連合企業団東広島事務所が指定する検査

17. 開発行為

本工事は、宅地造成及び特定開発行為の許可を得て行うものである。したがって、受注者は、必要となる標識の掲示や、届出書類の作成に関する協力に応じなければならない。

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
鋼材	異形棒鋼	
セメント及び混和材		
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
鋼材	異形棒鋼	
セメント及び混和材	セメント系固化材	
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
	コンクリートブロック	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

3. 下水道用資機材

下水道用資器材のうち、公益社団法人日本下水道協会認定の下水道用資器材を使用する場合は、外観及び数量確認を除いて、その他は省略することができる。

第3章 施工条件

1. 工程

(1) 関連する別途工事（別添位置図1参照）

工事名	令和6年度 八本松駅前土地区画整理事業	八本松駅前造成工事（6-1）
他工事の内容	道路改良工事及び造成工事	
時期	施工中 令和8年7月まで	
工事名	令和7年度 八本松駅前土地区画整理事業	八本松駅前造成工事（7-1）
他工事の内容	道路改良工事及び造成工事	
時期	施工中 令和10年6月まで	
工事名	（仮称）令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業	八本松駅前造成工事（8-2）
他工事の内容	雨水函渠工事	
時期	令和8～9年度（予定）	
工事名	（仮称）令和8年度 八本松駅前地区計画事業	八本松駅前1号線道路改良工事（8-1）
他工事の内容	道路改良工事	
時期	令和8年10月～令和9年3月（予定）	
工事名	令和7年度 開発地給水事業ほか	八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)
他工事の内容	配水管布設工事	
時期	施工中 令和8年10月まで	
工事名	電線事業者が実施する配電又は通信施設設置工事	
他工事の内容	電柱及び架線等の設置（県道馬木八本松線、造成区域ほか）	
時期	令和8年度（予定）	

(2) 家屋移転及び電柱移設

6～10街区における仮設水路、浸透構造物等の施工に支障となる電柱移設については、移設完了を令和8年11月で見込んでいる（別添位置図2参照）。

2～4街区における仮設道路、擁壁等の施工に支障となる物件移転及び電柱移設については、移転完了を令和9年3月で見込んでいる（別添位置図3参照）。

そのため、本工事工程に留意すること。

(3) 配水管移設

6～10街区における仮設水路、浸透構造物、盛土等の施工に支障となる配水管移設については、本工事内において対応する。又、2～4街区における仮設道路、擁壁等の施工に支障となる配水管の移設も同様に、本工事内において対応する。

工事内での移設対応に際しては、再度、移設工事着手時点での現場状況等を確認し、図面及び施工方法について、広島県水道広域連合企業団東広島事務所の承諾を得た後に施工すること。

2. 用地

(1) 借地

4街区における道路擁壁及び宅地擁壁の工事用ヤードとして、事業区域外の隣接地を次の条件により借地することを見込んでいる。

場所	八本松町飯田10121番1ほか
期間	工事期間中
使用条件	市が依頼し、承諾を得る。
復旧方法	借地範囲を整地して返すこと。なお、土地所有者の現地確認を行うこと。

3. 公害対策

(1) 公害防止

施工方法	本工事の施工にあたっては、周辺の保全（騒音・振動等）のため、下記の
建設機械・設備	排出ガス対策型、低騒音型の建設機械・設備
作業期間	全工事期間

(2) 事前・事後調査

調査区分	家屋調査に先立ち、監督員と現地にて調査範囲を確認すること。 当初設計の範囲により難しい場合は、協議の上、設計変更の対象とする。
調査時期	家屋調査：施工前・施工後

調査内容 別添調査仕様書のとおり
 なお、施工中及び施工後に工事での影響がある旨の申し出を受けた場合、速やかに監督員に報告すること。

4. 安全対策

(1) 防護施設

道路及び宅地擁壁設置箇所における転落防止対策として、転落防止柵(仮設単管)及び立入防止柵(ピン柵)を設置すること。なお、材料は支給することとし、設置手間は共通仮設費の率に含む。

(2) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、延べ963人を見込んでいる。
 (昼間947人、夜間16人)

ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

工種	配置場所	配置人数	施工時間	備考
整地	全区間	2人/日	昼間	
区画道路	全区間	2人/日	昼間	
仮設工	全区間	2人/日	昼間	
上水道	国道486号以外	4人/日	昼間	
上水道	国道486号	4人/日	夜間	交通誘導員Aを見込む

(3) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社(以下、「架空線管理者等」という)との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

(4) 通学路

本工事は、八本松小学校及び八本松中学校等に近接して行う工事である。工事にあたっては、同小学校及び同中学校等と随時調整を行い、通学路への影響を最小限に留めるよう配慮すること。

5. 仮設備

(1) 仮設(山留)材料の残置

本工事において、下記の仮設(山留)材料は工事終了後も残置すること。なお、下記の条件により難しい場合は、協議のうえ契約変更の対象とする。

場所	仮設材料名	残置の形態	数量	備考
8街区	透水性鋼矢板10H型	圧入	55枚	

(2) 仮設電力設備

本工事の仮設電源は発動発電機を見込んでいるが、仮設通路の夜間照明等により受電設備の配備が必要となった場合は、協議の上設計変更の対象とする。

(3) 仮設材の引継ぎ

関係工事で設置したカラーコーンや仮設照明等が、当該関係工事の終了後も本工事において必要となる場合、その機能を切れ目なく継続できるよう、関係工事及び監督員と調整の上、対応すること。なお、このことに必要な費用は共通仮設費率分に含まれるものとし、これにより難しい場合は、協議の上、設計変更の対象とする。

6. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、3,300m³(地山土量)については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

(2) 発生土(搬入)(場内及び場外からの流用)

本工事では、公共工事間流用により、他工事からの搬出土を受け入れる予定としており、27,000m³(ほぐし)を調達する見込みである。又、地区界(場外)には既に4,800m³(ほぐし)の土砂を仮置きしており、これを使用する見込みである。

受入れ土の使用に際しては、搬出側からあらかじめ提示された土質試験結果と受入れ時に別途予定しているコーン指数試験(別業務)の結果を元に土質性状をよく確認し、変化や異常等が見られた場合は、直ちに使用を中止し、監督員に報告すること。

※ 工事間流用搬出元

搬出元1 広島圏都市計画道路事業（広島平和記念都市建設事業）3・5・209号 駅前線（広島市佐伯区役所農林建設部地域整備課） 予定土量12,000m³（地山）

搬出元2 大河内大沢線道路改良工事（東広島市道路建設課） 予定土量10,500m³（地山）

7. 建設副産物

(1) コンクリート殻（有筋）（搬出）

当該工事により発生するコンクリート殻（有筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 5.5 km を見込んでいる。

(2) コンクリート殻（無筋）（搬出）

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 5.5 km を見込んでいる。

(3) アスファルト殻（搬出）

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 8.7 km を見込んでいる。

(4) 建設発生木材（搬出）

当該工事により発生する建設発生木材は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 13.5 km を見込んでいる。

(5) 立会（建設発生木材の搬出）

建設発生木材の搬出に先立ち、容量の異なる搬出車両ごとに、監督員の立会のもと、伐採材体積及び重量の検測を行うこと。伐採工の手間を除き、処分量は実態に合わせて設計変更すのとし、搬出1台1回ごとに写真を撮影の上、マニフェスト及び伝票等を提出すること。

8. その他

(1) 山留工（透水性鋼矢板）

山留工（透水性鋼矢板）の施工は、次のとおり指定する。

- 1 山留工の施工は、着工前に予定している地区界の地元住民への説明の後とし、令和9年1月を見込んでいる。
- 2 施工に先立ち監督員と現地立会を行うこと。必要と判断される場合は試掘により地区界の既設ブロック積擁壁基礎との離隔を確認するものとし、協議の上、設計変更の対象とする。
- 3 打設は地区界の既設ブロック積擁壁との離隔が大きい南側から開始し、離隔が小さくなっていく北側へ向かう順で行う。
- 4 打設は無振動の圧入工法で行い、圧入不能な深さまで（最低N値25まで）圧入する。これが当初設計よりも深い場合は、矢板を打継ぎ圧入するものとし、設計変更の対象とする。
- 5 工事は、既設の地下水位観測孔で地下水位が上昇傾向にないか確認しながら行うこと。頻度は、施工計画に合わせて事前に監督員の承諾を得るものとし、協議の上、設計変更の対象とする。
- 6 施工中は、既設ブロック積擁壁の動態観測を行う予定であり、動態観測中（夕方2時間程度を予定）は打設及びその他の重機作業等中止すること。動態観測は、市が別途発注する測量業務で行う予定である。測定頻度は、施工前、施工中3回以上、施工後を見込んでいるが、事前に受注者と発注者が協議の上、決定する。
- 7 動態観測の結果、異常が見られる場合は直ちに工事を中止し、対策を協議すること。

- 8 透水性鋼矢板は、設計数量の全て残置するものとし、土質等による数量変更は、協議の上、設計変更の対象とする。

(2) 盛土工

6～10街区の盛土の施工は、次のとおり指定する。

- 1 盛土工事中は、8街区の隣接宅地において振動レベル測定を行うこと。設計においては、敷地境界・25m・50m（3点/1測線）とし、建設作業振動を3測線において測定することを見込んでいるがこれにより難しい場合は、協議の上、設計変更の対象とする。受注者は事前に監督員と十分に協議の上、測定を行うこと。
- 2 盛土工事に先立ち試験盛土を実施することとし、振動測定等の上、あらかじめ転圧速度や撒き出し厚さ等を決定すること。試験盛土の実施方法や場所、時期等は、事前に監督員と協議の上、決定すること。
- 3 盛土1層の仕上り厚さは最大30cmまでとし、30cm仕上がった時点で、1週間程度盛土を中止し、変位が収束するのを確認すること。
- 4 8及び9街区を盛土中は、毎日動態観測を行う予定であり、動態観測中（夕方2時間程度を予定）は盛土及びその他の重機作業等を中止すること。
- 5 動態観測の結果、異常が見られる場合は直ちに工事を中止し、対策を協議すること。

第4章 施工管理

1. 出来形管理

(1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

本工事において、路面に天端が接する構造物の出来高管理は下記のとおり行うこと。なお、下記以外の項目については、広島県制定「土木工事施工管理基準(令和7年8月)」に基づいて実施しなければならない。

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
表層工	基準高さ▽	±30	40m毎に1箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。		
道路面に天端が接する構造物(コンクリートブロック工、コンクリート擁壁工、側溝工等)	基準高さ▽	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		

2. 品質管理

(1) 支持力確認

(1) L型擁壁

L型擁壁の布設に先立ち、スクリーウエイト貫入試験及び平板載荷試験による床付けの支持力確認を行うこと。現地の状況等により見込んでいる試験方法が困難な場合は、協議の上設計変更の対象とする。

(2) 宅地

計画地盤面から2.25mまでの深さは長期支持力30kN/m²以上を確保する。また、計画地盤面の下方2.25mから、5.25mまでの深さで500N以下の自沈がないこと。

支持力の確認は、スクリーウエイト貫入試験により、盛土前、盛土後に1宅地につき、それぞれ1回計2回の頻度で行うものとする。

(2) 試掘

浸透マンホールの施工に先立ち、試掘にて対象浸透層の確認を行うこと。

3. 工程管理

本工事の施行は、学童の交通安全を目的とし、通学路の早期復旧を優先した組立とする。設計図書に定めのないものにおいて、この目的を達成するために必要と考えられることがある場合は、協議の上、設計変更の対象とする。

第5章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当たっては、広島県制定「写真管理基準（令和7年8月）」によるものとし、納品に当たっては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。
なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 仮設工

仮設工（任意）については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。
なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

5. 街区点の復元測量

本工事における街区点の復元については、街区点等復元測量を見込んでいる。

6. 工事範囲の調整

過年度工事や関係工事の状況により、工事範囲外周では施工範囲の調整を要する場合があります、協議の上設計変更の対象とする。

7. 事業区域内の維持修繕工事について

事業区域内やその影響範囲において緊急に既設道路や仮設道等の維持修繕工事を要する場合は、できる限り協力すること。実施にあたっては、協議の上、設計変更の対象とする。

8. 埋設管の移設

設計図書において見込んでいる仮配水管の設置等の他、移設の必要が生じた場合は対応すること。
実施にあたっては、協議の上設計変更の対象とする。

9. 降雨時の対応について

必要に応じて見回り、待機し、緊急時に対応できるようにすること。

10. 歩行者通路

迂回した直後やその他必要と考えられる時は、道順案内等を十分に周知するよう務めること。また、迂回直後等で現地案内が必要な場合は対応するとともに、凍結防止等の維持管理を責任もって行うこと。

11. 諸経費の計算

本工事の諸経費の算出方法は下記のとおりとする。

(1) 工事原価

ア 直接工事費

費目ごとに直接工事費を算定する。

イ 間接工事費

(ア) 共通仮設費

a 共通仮設費の率分

対象額は工事全体で算定する。

b 共通仮設費率の補正

工事全体で施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

c 積上げ計算による部分

費目ごとに必要な経費を積み上げる。

(イ) 現場管理費

a 現場管理費の算定対象とする純工事費は工事全体で算定する。

- b 現場管理費の率分
対象額は工事全体で算定する。
 - c 現場管理費率の補正
工事全体で施工時期、工事期間、施工地域区分の補正を行う。
- (2) 一般管理費等
- ア 一般管理費等の算定
対象とする工事原価は(1)の計による。

12. 振動レベル測定

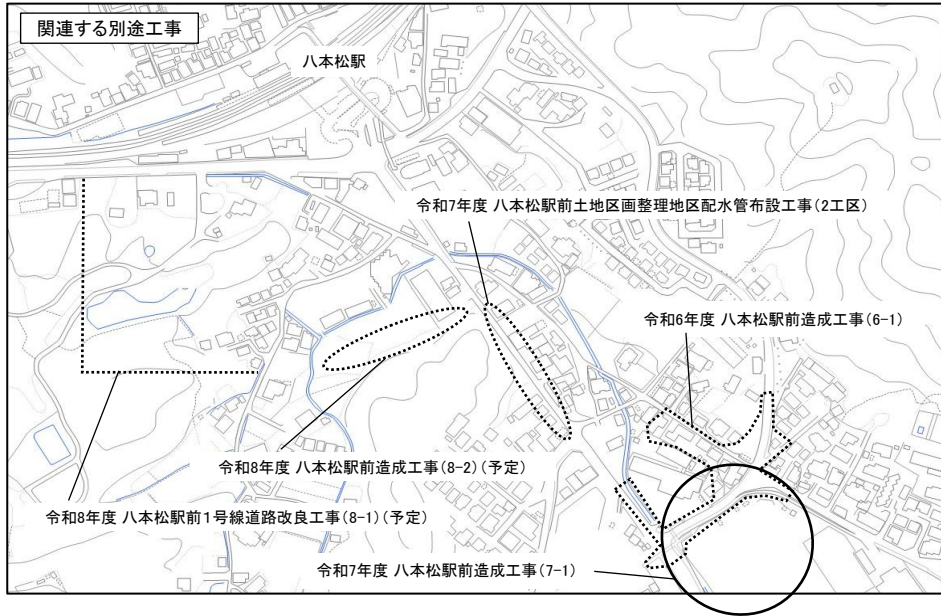
周辺住民から要望等があった場合は、撤去工や仮設工等、盛土工の他にも振動レベル測定を行うものとし、協議の上、設計変更の対象とする。

13. 夜間のアスファルト加熱合材調達について

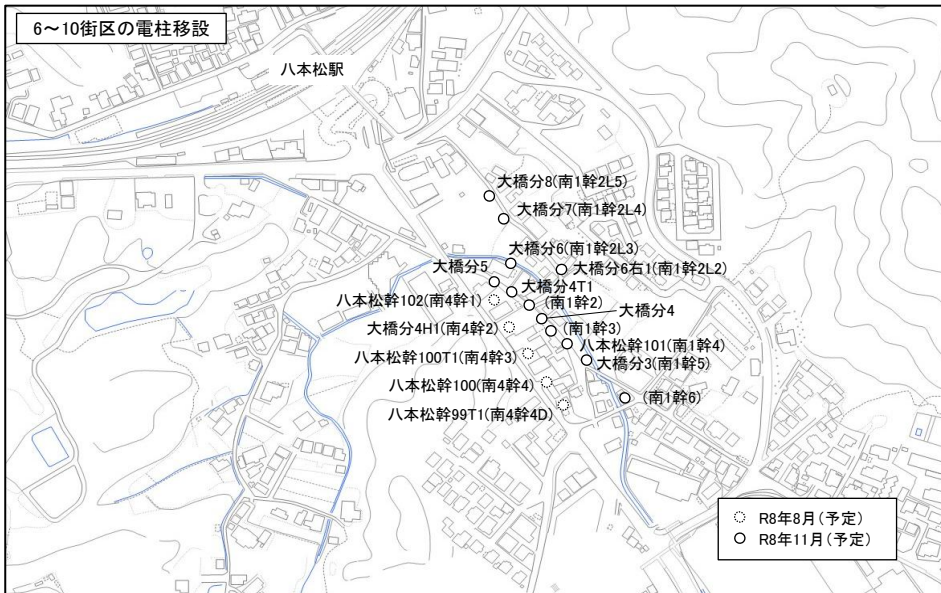
本工事の配水管移設工事で使用する夜間のアスファルト加熱合材単価（再生密粒度アスコン、再生粗粒度アスコン、再生瀝青安定処理材で、1日当たりの合計使用量が3 t以下）は、令和8年5月時点での見積によるものである。工事に際し、出荷当日のプラント稼働状況等により、材料調達に係る必要経費に過不足が生じる等する場合は、協議の上、設計変更の対象とする。

関連する別途工事等位置図

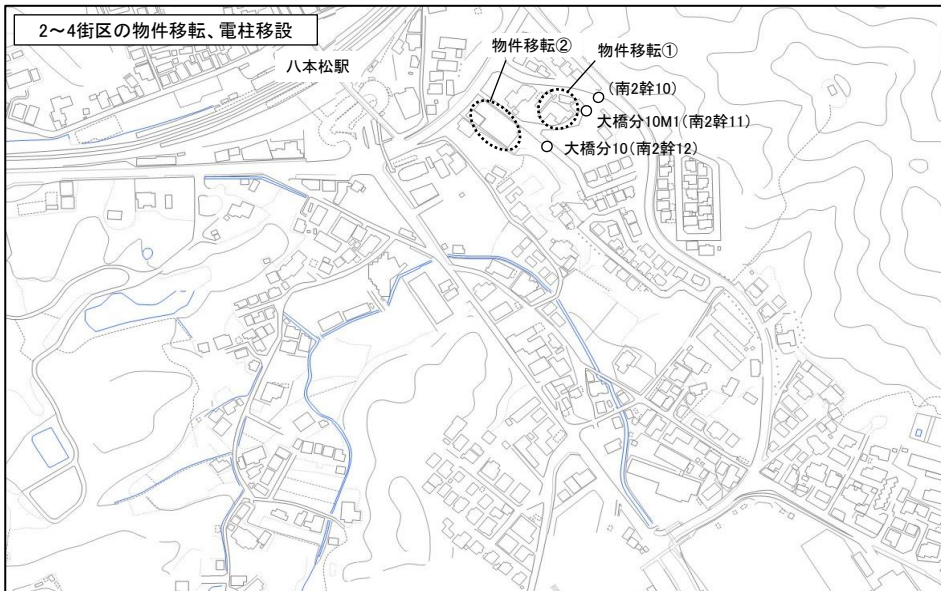
位置図1



位置図2



位置図3



プレロード盛土について

1 プレロード盛土の目的

次の品質を満たすことを目的に行う。

計画地盤面から 2.25m までの深さは、長期支持力 50kN/m² 以上を確保する。

計画地盤面の 2.25m より下方から、建物に不同沈下等を生じさせるような層をなくす。(スクリーウェイト貫入試験 (JIS A 1221) において、計画地盤面の下方 2.25m から 5.25m までの深さで 500N 以下の自沈が生じないことにより確認する。)

2 支持力の確認方法

51 箇所、プレロード盛土前後においてスクリーウェイト貫入試験を行い、確認する。

3 施工

3-1 盛土周辺の建物等事前調査及び井戸調査

建物の事前調査は施工前 1 回、井戸があった場合は、前中後の 3 回行い、中間での井戸調査は、盛土高が計画の 50%前後の時期になるよう調整する。

3-2 盛土周辺の変動計測

~~区画道路一号において、監督職員と協議の上、4~5 点の観測鉤を設け水平及び鉛直位置の初期値を計測する。盛土開始から沈下完了確認までの間、1 週間ごとに水平及び鉛直変位を計測するものとし、観測値は測定後、遅滞なく監督職員に報告すること。又、異常がみられる場合は、直ちに盛土を中断し、監督職員と対策を協議すること。なお、測定頻度は、沈下の状況に応じて、監督職員の指示により追加することができるものとする。~~

3-3 宅地表面の沈下量測定(沈下板による方法)

沈下板を用いて、盛土に伴う基礎地盤の地表面沈下量を、沈下完了確認までの間、盛土中は原則毎日、盛土完了後は 1 週間ごとに測定する。沈下量とは沈下板と不動杭との高低差の変動量である。測定頻度は、沈下の状況に応じて、監督職員の指示により追加することができるものとする。なお、沈下板の様子は図 1 を参照する。

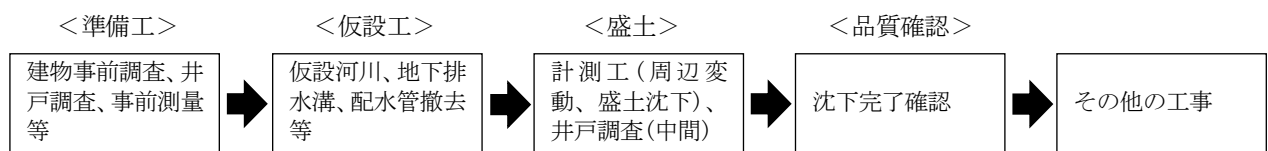
3-4 設置・観測手順・観測頻度

- ・沈下板の設置面を十分平坦にならし、鋼板とのなじみをよくする。
- ・ロッドを鉛直に継ぎ足し、塩化ビニール等のパイプで保護する。
- ・不動杭は、沈下の影響を受けない場所に設ける。
- ・不動杭と測定用ロッドとの高低差を測定し、その変動量を基礎地盤の沈下量とする。
- ・観測結果は、図 2 のようにグラフ化し整理する。
- ・盛土開始から沈下完了確認までの間、盛土中は原則毎日、盛土完了後は 1 週間ごとに沈下量を計測する。

3-5 プレロード盛土と工程管理

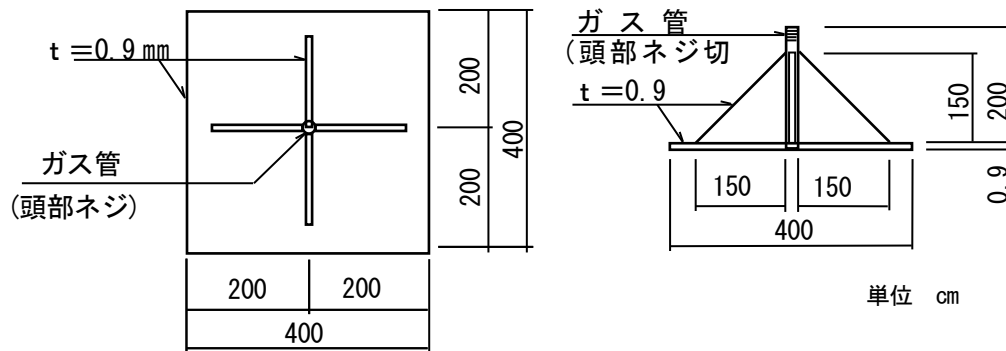
プレロード盛土に関し施工順序は次に定めるものとする(指定事項)。これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

沈下完了確認(プレロード期間の終了)は、発注者が判断し決定する。なお、設計においては、盛土完了から沈下完了までの期間を 40 日間、沈下の完了を確認するための期間を 30 日間として見込んでいく。



3-6 沈下板の仕様

・JGS 1712 に準ずる。



平面図 図1 沈下板の概観 側面図

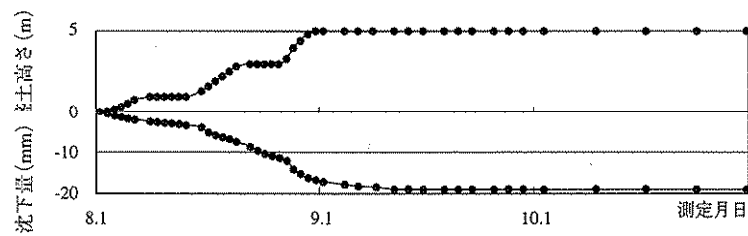


図2 盛土高～沈下量～経過時間の関係

3-7 プレロード盛土の品質管理

プレロード盛土の品質管理は、「土木工事施工管理基準（令和7年8月）「広島県）」の道路土工 路体の管理項目を準用する。

家屋等調査特記仕様書

家屋調査の実施に当たっては、契約約款及び設計仕様書・図書のほか、広島県制定（令和8年2月改正）の「用地調査等業務共通仕様書」及び令和4年12月改正の「地盤変動影響調査算定要領」に基づいて実施すること。この場合において、「知事」とあるのは「市長」と、「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替えるものとする。

章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
2	1	18	立入り及び立会	2	土地への立入及び立会に際しては、調査職員と協議しなければならない。なお、地元との交渉次第で調査日がスライドすることがあり得る。
2	1	18	立入り及び立会	3	調査完了した箇所については、すみやかに所有者に確認をしてもらい、「確認書」を受理しなければならない。 家屋・工作物の所有者が立ち入りを拒否された場合は、速やかに調査職員に報告するとともに、「家屋等事前調査辞退届出書」の受理、又は「家屋等事前調査辞退報告書」を提出すること。
15		160	損傷調査 写真撮影（全般）	1	1) 原則、損傷箇所はすべて撮影（全景、クラック全景、アップ写真を1セット）すること。ただし、損傷箇所が多数の場合、調査職員と協議のうえ、スケッチ等によることができるものとする。 2) 写真撮影時、指し棒を用いて調査箇所を撮影すること。 3) クラックの始点・終点に目印をつけて延長を撮影すること。 4) クラックは、箇所ごとの最大幅の位置で写真管理すること。 5) 測定可能な限り、測定器具を用いて写真管理すること。 6) 写真のピンぼけ、逆光、フラッシュ反射等には最大限の注意を図り、撮り直しが無いよう万全を期すこと。 7) 黒板には、共通仕様書に基づき単位を記入すること。 8) 事後調査を行う場合、事前調査と同じアングルで撮影を行うこと。
15		160	損傷調査 写真撮影（工作物）	1	1) 建物外壁のみの調査及び建物以外の構造物（門柱、塀、カーポート、土間コン等）の調査に伴い撮影するものとする。建物外壁の調査は1階を中心とする。外壁が引き戸で構成される場合は、引き戸の状況を確認するものとする。クラックの調査については、上段の損傷調査、写真撮影（家屋）に準じる。 2) 現場状況に応じ、調査職員の指示により撮影範囲を変更する場合がある。
15		160	写真撮影	1	カラーにより撮影すること。また、デジタルカメラの有効画素数については、広島県の定める最新の基準等に従うこと。（広島県ホームページ「広島県の調達情報」－「電子納品」参照）なお、電子納品の納品については、CD-R 又は DVD-R により納品すること。

章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
2	1	23	成果品の一部提出(事前調査書及び図面)	1	調査終了後、結果を速やかに調査職員に提出し、取りまとめ方法等の確認を行うこと。 外壁や工作物の調査図は、損傷の状況及び程度により、建物等調査書(立面図等)に準じて作成し提出すること。
2	1	24	成果品	3	1) 成果品の提出部数は2部とする。なお、2部のうち1部は紙媒体で、1部はCD-R又はDVD-Rでの電子媒体にて納品することとし、受注者の保管期間は最低10年とする。 2) 成果品のファイリングの方法については、調査職員の指示に従うこと。 3) 成果品については、調査職員の指示又は承諾なしに地元への配布は行わないこと。 4) 作成した図面は、可能な限り「Jw_cad for Windows」に変換し電子媒体(CD-R等)で提出すること。
—	—	—	調査		工事着手前までに行うものとする。調査に先立ち監督員と現地にて調査範囲を確認すること。当初設計の範囲により難しい場合は、協議の上、設計変更の対象とする。

地下水（井戸）調査仕様書

地下水調査の実施に当たっては、広島県制定（令和7年8月）の「地質・土質調査業務共通仕様書」に基づいて実施すること。この場合において、「知事」とあるのは「市長」と「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替えるものとする。

第1章 総 則

1. 1 目的

本工事近傍の地下水の状況を調査し、工事に起因する地下水への影響を監視することを目的とする。

1. 2 一般仕様書の適用範囲

本仕様書に従い施行しなければならない。

1. 3 費用の負担

検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

1. 4 法令等の遵守

受注者は、関連する法令等を遵守しなければならない。

1. 5 中立性の保持

受注者は、常に中立性を保持するよう努めなければならない。

1. 6 秘密の保持

受注者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

第2章 調 査 概 要

~~2. 1 民家井戸実態調査~~

~~（1）開取調査：盛土箇所近傍における井戸利用の実態を聞き取り、井戸の利用がある場合その使用状況等を調査し状況を把握する。~~

~~・開取調査戸数：一戸~~

~~（2）詳細調査：盛土箇所近傍における井戸の分布、用途および形状などの聞き取りと必要な項目を調査する。~~

~~・詳細調査箇所数：一箇所~~

~~・調査項目：所有者名、使用者名、井戸位置、上水道の有無、井戸構造、材質、深さ、直径、用途、掘削年、揚水装置の仕様、履歴（枯渇・水質状況）水位および伝導率等。~~

~~2. 2 民家井戸水質分析調査~~

~~（1）必要な井戸の水質調査を行い工事の影響の有無を確認する。1箇所あたり施工前、施工中及び施工後の計3回を標準とする。~~

~~・分析回数：一回~~

~~・分析項目：飲用一般11項目（硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物（TOC）、一般細菌、大腸菌群、pH、味、臭気、色度及び濁度、亜硝酸態窒素）~~

~~（2）調整池の水質調査を行い、工事の影響の有無を確認する。1箇所あたり施工前、施工中、及び施工後の計3回を標準とする。~~

~~・分析回数：一回~~

~~・分析項目：水質分析調査（農業用水用）9項目（水素イオン濃度（pH）、化学的酸素要求量（COD）、~~

~~浮遊物質 (SS)、溶存酸素量 (DO)、全窒素 (T-N)、電気伝導率 (EC)、砒素 (As)、亜鉛 (Zn)、銅 (Cu)~~

~~2. 3 水質分析用資料採水~~

- ~~・採水回数：一回~~

~~2. 4 民家井戸揚水量測定~~

~~必要な井戸の揚水量測定を行い工事の影響の有無を確認する。1 箇所あたり施行前、施工中及び施工後の計 3 回を標準とする。~~

- ~~・調査箇所数等：＝箇所×3 回~~
- ~~・携帯式流量計を用いて既設ポンプの蛇口で全開約 10 分間の揚水量を測定する。
(民家以外で利用している井戸については、調査職員との協議により 30 分間とする場合がある。)~~

2. 5 民家井戸水位測定

揚水量調査が不可能な場合、必要な井戸の水位測定を行い工事の影響の有無を確認する。1 箇所あたり施行前、施工中及び施工後の計 3 回を標準とする。

- ・調査箇所数等：3 箇所×3 回
- ・触針式水位計を用いて井戸の水位を測定する。

2. 6 水質異常値発生時の工事因果関係考察

工事中における調査において、水質等の異常が発生した際は本工事との因果関係についての考察をすること。

第 3 章 提出物

3. 1 提出図書

提出図書は、次のものを提出しなければならない。

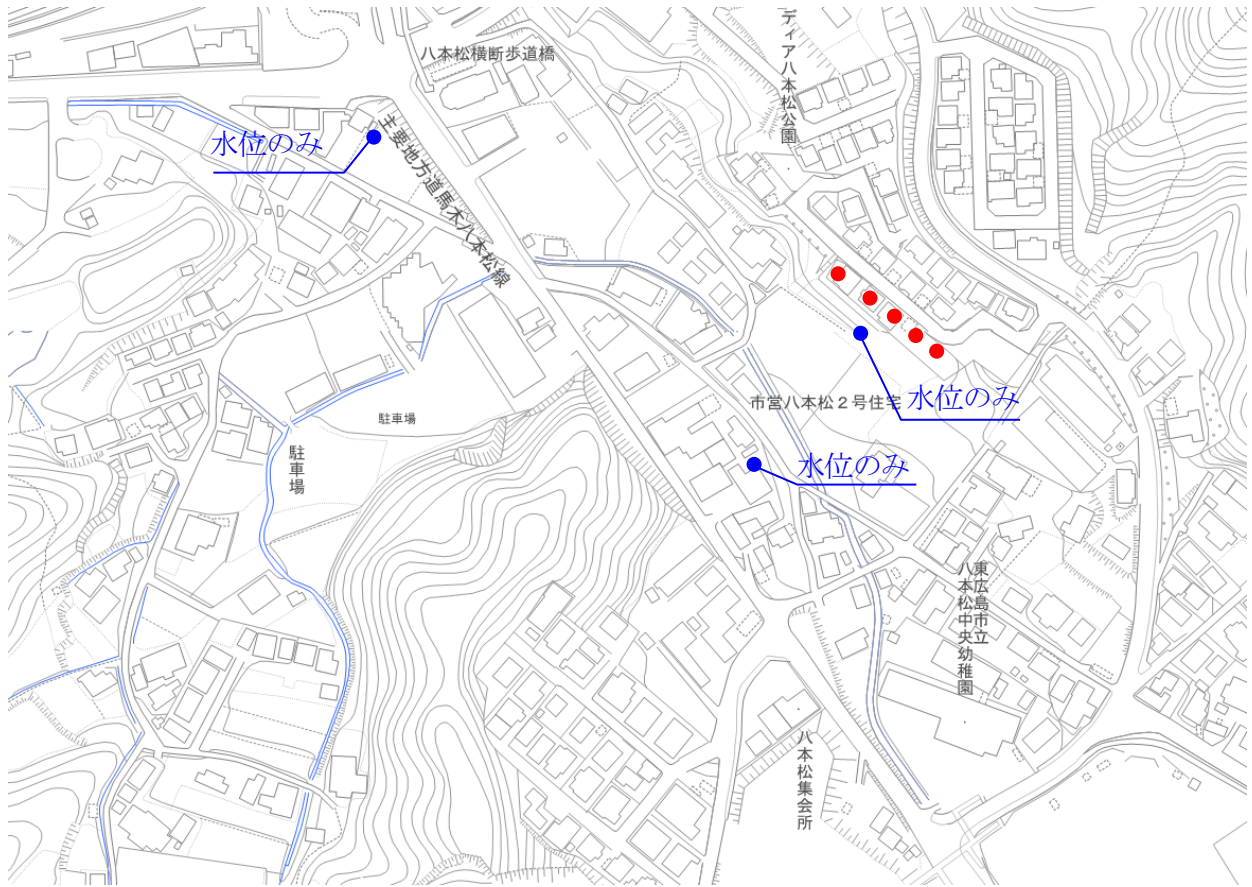
図 書 名	形状寸法・提出部数
(1) 報告書	A 3 又は A 4 3 部
(2) 打合わせ議事録	〃
(3) その他参考資料	〃

調査に伴って収集・調査した資料及びその他申請等に関する資料等

3. 2 電子媒体

- ・提出図書は、電子媒体と併用で提出すること。電子媒体は CD-R とする。電子媒体での提出が難しい場合は調査職員との協議による。
- ・提出図書の提出部数の 3 部のうち 1 部は紙媒体で、1 部は電子媒体にて納品すること。また、残りの 1 部は受注者の控えとする。

家屋等事前・調査及び井戸調査位置



● 建物等事前・事後調査	5戸
● 地下水(井戸)調査	3箇所

水道施設工事 特記仕様書

1. 適用

水道施設工事にあたっては、広島県版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」において、水道編は、広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団 東広島事務所 出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき施工管理するものとする。

2. 配管従事者の条件等

水道配水用ポリエチレン管の配管従事者は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会(以下「POLITEC」という。)による「水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講証」を有する者とし、POLITECによる「水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講証」の写しを提出すること。

3. 使用材料

- 一般土木資材及び配管材料等の使用材料の有効年月は下表のとおりとし、監督職員の承認及び材料確認を受けたものを使用すること。なお、滑剤及び切管用補修剤についても提出すること。

種別	材料名	有効年月	備考
一般土木資材	鉄筋	製造1年未満	
	プレキャスト製品	同上	
	既製杭	同上	
	塗料その他	同上	
配管材料	ダクタイル鋳鉄管	同上	
	ポリエチレン管	同上	
	塩化ビニル管	同上	
	鋼管	同上	
	弁・栓類	同上	
	接合材	同上	ボルト、ナット、パッキン
	管付属品	同上	ポリスリーブ・ロケティングワイヤー・管明示テープ
	ボックス類	同上	

※ 管明示テープについては、当該年度または、当該施工年度とし、統一して使用すること。なお、上記により難しい場合に、(公社)日本水道協会の検査合格後3年以内で保管状況の良好な材料であれば、監督職員の承認及び確認を受けて使用できるものとする。

- ϕ 400以下の仕切弁は、ソフトシール仕切弁とし、 ϕ 450以上の仕切弁については、軽トルク・内面粉体塗装のバタフライ弁とする。
- 空気弁付消火栓は、FCD・内外面粉体塗装・軽トルク・グランドレス・口金ステンレス製・急速空気弁付(ボールロック付き)とし、キーキャップの高さは又は空気弁カバーのいずれか高い方の高さが道路天より11~20cm下がりとなるようにフランジ短管等により調整すること。
 なお、空気弁付消火栓は水平(許容傾斜角度 2° 以内)に据え付けること。
 やむを得ない現場条件により許容傾斜角度を超える場合は、製造会社の保証する傾斜角度以内で据え付けることができるものとする。なお、保証傾斜角度が確認できる傾斜作動試験等の成績証明書を提出すること。
- 空気弁は、急速空気弁(ϕ 20または ϕ 25)・FCD・内外面粉体塗装とし、空気弁のカバーの高さは道路

天より11～20cm下がりととなるようにフランジ短管等により調整すること。

なお、空気弁は水平（許容傾斜角度2° 以内）に据え付けること。

やむを得ない現場条件により許容傾斜角度を超える場合は、製造会社の保証する傾斜角度以内で据え付けることができるものとする。なお、保証傾斜角度が確認できる傾斜作動試験等の成績証明書を提出すること。

- 補修弁は、FCD・内外面粉体塗装・RF-GF形・ボール式・右開・面間寸法を100mm又は150mmとする。
- 仕切弁・消火栓・空気弁・空気弁付消火栓のボックスについては、広島県水道広域連合企業団東広島事務所認定の「東広島市型」とし、型式は広島県水道広域連合企業団東広島事務所に問い合わせること。調整リングの材質については、レジンコンクリート製（日水協検査品）を標準としているが、樹脂製又は鋳鉄製によるものの使用についても承諾する。
- フランジ継手工は、緩み防止のため、ボルト、ナットにワッシャ（平座金）を取り付けること。なお、フランジ継手材の材質については、以下のとおりとするが、原則RF-GF形とする。
 - ・フランジ用パッキン（RF-RF）は、凸部付きパッキン（日水協検査品）とする。
 - ・フランジ用パッキン（RF-GF）は、GF形ガスケット1号（JIS G 5527）とする。
 - ・フランジ用ボルト、ナット及びワッシャは、SUS製とする。なお、ボルト又はナットのねじ部に焼き付き防止処理を施したものを使用しなければならない。
- 仕切弁は原則、右回り開とするが黒瀬町内に設置する仕切弁についてのみ左回り開とする。
- 不断水割T字管のI寸法の長さは、下記表の寸法を参考値として用いている。品質基準に合格するものであれば、これによらなくてもよいものとする。

製品規格	I寸法(mm)	製品規格	I寸法(mm)
耐震型PE挿しロソフトシール仕切弁付 (DIP用) φ 300 × φ 100	938mm	耐震型PE挿しロソフトシール仕切弁付 (DIP用) φ 100 × φ 100	835m
F型(VP用) φ 150 × φ 150	192mm	F型(PEP用) φ 150 × φ 75	175mm

- ポリエチレンスリーブについては、本工事では日本水道協会認定品で設計しており、実際の使用材料がこれによらない場合は事前に監督職員と協議を行うこと。

4. 審査

受注者は、水道施設工事に先立ち、現地調査を行うこと。受注者と発注者はその結果をもって設計図書の照査を行い、施工方法、施工手順、設計図面等について、広島県水道広域連合企業団東広島事務所の審査を受けるものとする。工事着手は、広島県水道広域連合企業団東広島事務所の審査及び承諾の後とする。現地調査又は審査の結果等により、設計図書により難しい場合は、協議の上、設計変更の対象とする。

5. 検査

● 水圧試験

本工事においては、監督職員が指示する期日までに通水試験（水圧試験）を行い合格すること。

① 水道配水用ポリエチレン管

管路の水圧を0.75MPaに上昇させ、5分間放置する。

5分間放置後、水圧を0.75MPaまで再加圧する。

再加圧後、すぐに水圧を0.50MPaまで減圧し、そのまま放置する。

放置してから、24時間後の水圧が0.30MPa以上であること（PEPの場合）

② 水道給水用高密度ポリエチレン管

~~融着接合が終了し、冷却時間経過後、水圧試験待ち時間が経過するまでは、通水してはいけない。~~

水圧試験待ち時間は、EF継手がφ30mm未満で20分以上、φ30mm以上φ50mm以下で30分以上、EFサドル部で30分以上とする。

予圧として、管路の水圧を0.75MPaに昇圧して、3分以上保持する。次に、管路の水圧を0.75MPaに昇圧させ、10分間放置する。放置してから10分後の水圧が0.60MPa以上(圧力低下率内)であること。

③ 水道用ポリエチレン二層管(1種)

予圧として、管路の水圧を0.75MPaに上昇して、3分間以上保持する。次に、管路の水圧を0.75MPaに上昇させ、10分間放置する。放置してから10分後の水圧が0.60MPa以上(圧力低下率20%以内)であること。

● 検査

竣工検査又は水道施設の供用前までに、広島県水道広域連合企業団東広島事務所が指定する方法による検査に合格することとし、設計図書により難しい場合は、協議の上、設計変更の対象とする。

6. 施工管理

● 出来形管理報告

広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき、出来形管理を行い、現場作業の完了後、速やかに出来形管理図表、出来形数量対比図表を提出すること。

● 品質管理報告

広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき、品質管理を行い、現場作業の完了後、速やかに品質管理図表、各種試験成績図表を提出すること。

7. 提出書類

● 第1編 1-1-1-2 第15～21項については、工事打合せ簿で行うものとする。

● 納品書(写し)又は出荷証明書(原本)は集計表を添付して提出すること。

● 広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」に基づき、出来形管理並びに品質管理を行い、現場作業の完了後、速やかに出来形管理図表、出来形数量対比図表、品質管理図表、各種試験成績図表を提出すること。また、横断図には占用位置として、官民境界又は構造物からの離隔を記入すること。

● 竣工図は現場作業が完了後、速やかに提出すること。

● 工事写真は広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」に基づいて写真管理を行い、現場作業が完了後、速やかに提出すること。なお、土工関連写真と本管布設位置及び管布設関連写真は分冊として提出すること。

8. その他

● 工事の施工について【給水管】

① 給水管分岐替工は広島県水道広域連合企業団指定給水装置工事事業者の指定を受けている者で施工すること。

② 水道給水用高密度ポリエチレン管の配管従事者は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会(以下「POLITEC」という。)による「水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講証」を有する者とし、POLITECによる「水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講証」の写しを提出すること。

③ 給水管分岐替工は、配水管分岐から第1止水栓まで、水道給水用高密度ポリエチレン管(青ポリ、

JIS外径準拠)で施工することとしている。広島県水道広域連合企業団東広島事務所が貸与する給水装置工事竣工図等により、現地で既設止水栓の位置を確認し、本管分岐から第1止水栓までの施工が可能か否かを調査し、その結果を報告書で提出すること。

- ② 受注者は、広島県水道広域連合企業団東広島事務所が貸与する給水装置工事竣工図等により、現地で既設止水栓の位置を確認、分岐替位置について検討し工事を行うこと。
- ③ 受注者は給水管分岐替工事施工前に、水道使用者へ対し、施工予定日、断水時間等を説明すること。また、施工後においても水道使用者へ工事完了の通知を行うこと。
- ④ 受注者は、発注者の指示により、対象家屋の所有者または管理者に、施工予定日、施工範囲、復旧方法等を説明し、施工の承諾が得られた場合は、「給水管布設替えに伴う承諾書」(広島県水道広域連合企業団東広島事務所様式)を回収すること。
- ⑤ 現場状況により、家屋、塀、立木、工作物等に影響を及ぼす可能性がある場合や既設構造物にクラックや破損等の異変がある場合は、着手前の状況を記録し、写真撮影等を行い記録しておくこと。
- ⑥ 給水管分岐替工は広島県水道広域連合企業団東広島事務所が定める「給水管分岐替工チェックリスト」により管理すること。継手部については、EF接合チェックシートにより、全箇所管理すること。
- ⑦ 給水管分岐替工の写真管理(給水管布設完了、本管分岐位置、水圧試験、切片確認、コア挿入前後(DIPの場合)、防食フィルム取付完了)については全箇所行うこと。
- ⑧ 給水管分岐替工の水圧試験は、給水装置の分岐位置から新設する給水管を含めて行うこと。
- ⑨ 給水管分岐替において、分岐替え作業後、量水器を取外して十分洗管し、濁り・切粉・ゴミが無いことを確認すること。また出水不足等の苦情があった場合は、受注者の責により速やかに対応すること。
- ⑩ 給水管分岐替工等で、管路の部分使用(配水開始)をする場合、原則として事前に通水試験(水圧試験)及び水道技術管理補助者広島県水道広域連合企業団東広島事務所が指定する方法による検査に合格すること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
区画整理事業				
整地		式	1	レベル1
整地土工		式	1	レベル2
路体盛土工		式	1	レベル3
路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上	m3	22,100	レベル4
土砂等運搬	土砂	m3	22,700	レベル4
積込(ルーズ)	土砂	m3	22,700	レベル4
法面整形工		式	1	レベル3
法面整形(盛土部)	法面締固め有り 現場制約無し	m2	290	レベル4
植生工		式	1	レベル3
人工張芝	張芝	m2	290	レベル4
浸透構造物工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘	土砂 標準 土留方式無し 障害無し	式	1	レベル4
基面整正		式	1	レベル4
浸水トレンチ工		式	1	レベル3
浸水トレンチ	W=2000 t=300	m	758	レベル4
浸透柵工		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
No.1浸透マンホール(1号組立マンホール)	900	基	1	レベル4
No.2浸透マンホール(1号組立マンホール)	900	基	1	レベル4
No.3浸透マンホール(1号組立マンホール)	900	基	1	レベル4
旧河川埋戻し工		式	1	レベル3
旧河川埋戻し	W=1000 t=300	m	190	レベル4
宅地擁壁工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘	土砂 標準 土留方式無し 障害無し	式	1	レベル4
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	式	1	レベル4
埋戻し	最大埋戻幅1m未満	式	1	レベル4
基面整正		式	1	レベル4
基礎地盤改良工		式	1	レベル3
安定処理		m2	400	レベル4
L型擁壁工		式	1	レベル3
L型擁壁	現場打H=8.1m L=5m	式	1	レベル4
L型擁壁	現場打H=8.5m L=9m	式	1	レベル4
L型擁壁	現場打H=9.8m L=28m	式	1	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
構造物取壊し工		式	1	レベル3
ガードレール撤去		m	90	レベル4
ネットフェンス撤去	H=1.2	m	11	レベル4
転落防止柵撤去		m	27	レベル4
構造物取壊し工（無筋）		m3	264	レベル4
構造物取壊し工（鉄筋）		m3	276	レベル4
舗装版切断	As	m	45	レベル4
舗装版破碎	As	m2	965	レベル4
殻運搬	Co（無筋）	m3	264	レベル4
殻運搬	Co（鉄筋）	m3	276	レベル4
殻運搬	As	m3	62	レベル4
スクラップ運搬		t	1.9	レベル4
殻処分	Co（無筋）	t	620	レベル4
殻処分	Co（鉄筋）	t	689	レベル4
殻処分	As殻	t	145	レベル4
スクラップ処分		t	-1.9	レベル4
区画道路		式	1	レベル1
道路土工		式	1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
路体盛土工		式	1	レベル3
路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上	m3	3,600	レベル4
土砂等運搬	土砂	m3	4,000	レベル4
積込(ルーズ)	土砂	m3	4,000	レベル4
道路擁壁工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘	土砂 標準 土留方式無し 障害無し	式	1	レベル4
埋戻し	最大埋戻幅4m以上	式	1	レベル4
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	式	1	レベル4
埋戻し	最大埋戻幅1m未満	式	1	レベル4
基面整正		式	1	レベル4
基礎地盤改良工		式	1	レベル3
安定処理		m2	180	レベル4
L型擁壁工(現場打)		式	1	レベル3
L型擁壁	現場打H=6.6m L=12m	式	1	レベル4
L型擁壁	現場打H=7.8m L=18m	式	1	レベル4
L型擁壁	現場打H=7.9m L=5m	式	1	レベル4
L型擁壁工(プレキャスト)		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
プレキャストL型擁壁	H=2.10m	m	1	レベル4
プレキャストL型擁壁	H=2.60m	m	1	レベル4
プレキャストL型擁壁	H=3.00m	m	1	レベル4
プレキャストL型擁壁	H=3.25m	m	1	レベル4
プレキャストL型擁壁	H=3.75m	m	1	レベル4
プレキャストL型擁壁	H=4.25m	m	1	レベル4
プレキャストL型擁壁	H=4.50m	m	1	レベル4
重力式擁壁		式	1	レベル3
重力式擁壁	GW15 H=1300	m	0.7	レベル4
重力式擁壁	GW15 H=1706 ~ 1849	m	0.6	レベル4
防護柵工		式	1	レベル3
ガードレール	Gr-C-2B	m	14	レベル4
転落防止柵	H=1100	m	29	レベル4
道路擁壁工(歩道)		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘	土砂 標準 土留方式無し 障害無し	式	1	レベル4
埋戻し	最大埋戻幅4m以上	式	1	レベル4
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	式	1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
埋戻し	最大埋戻幅1m未満	式	1	レベル4
基面整正		式	1	レベル4
L型擁壁工(プレキャスト)		式	1	レベル3
プレキャストL型擁壁	H=1.10m	m	4	レベル4
プレキャストL型擁壁	H=1.20m	m	4	レベル4
プレキャストL型擁壁	H=3.75m	m	4	レベル4
プレキャストL型擁壁	H=4.50m	m	10	レベル4
仮設工(共通)		式	1	レベル1
仮設防災工		式	1	レベル2
仮囲い等設置撤去		式	1	レベル3
仮囲い設置撤去		式	1	レベル4
既設仮囲い撤去		式	1	レベル4
仮設道路工(迂回路)		式	1	レベル2
仮設道路工(アスファルト仮設道)		式	1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	RC-40 t=15cm	m2	939	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)	RM-40 t=15cm	m2	939	レベル4
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度As(20) t=5cm	m2	939	レベル4
表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(20) t=5cm	m2	939	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
アスカーブ	再生細粒度As(13)	m	163	レベル4
溶融式区画線	実線_15cm	m	163	レベル4
溶融式区画線	実線_20cm	m	82	レベル4
仮設ガードレール	Gr-C-4E	m	163	レベル4
仮設道路工(砕石仮設道)		式	1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	RC-40 t=10cm	m2	580	レベル4
仮設水路工		式	1	レベル2
仮設水路工		式	1	レベル3
掘削	土砂	m3	1,200	レベル4
基面整正		式	1	レベル4
土のう		式	1	レベル4
仮設管路工		式	1	レベル3
暗渠排水管	VU400	m	71	レベル4
既設マンホール接続	N=1箇所	式	1	レベル4
山留工		式	1	レベル2
鋼矢板土留		式	1	レベル3
透水性鋼矢板	10H型 H=7.5m,8.0m,8.5m	式	1	レベル4
交通管理工		式	1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	932	レベル4
** 直接工事費 **				
事業損失防止施設費				
事業損失防止施設費		式	1	レベル2
事業損失防止施設費		式	1	レベル3
家屋・工作物調査費	施工前後(計2回) N=5軒	式	1	レベル4
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
木根等処分費		式	1	レベル4
街区境界復元	施工前後(計2回) A=0.14万m2	式	1	レベル4
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
土質試験費		式	1	レベル4
支持力確認試験	平板載荷試験	箇所	1	レベル4
支持力確認試験	スクリーウェイト貫入試験	m	477	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
支持力確認試験	簡易支持力測定	回	2	レベル4
現場CBR試験		箇所	1	レベル4
沈下測定	沈下板測定 2箇所×10回	回	20	レベル4
地下水位測定		回	9	レベル4
振動レベル測定	建設作業振動 3測線	式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				
** 工事費 **				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
配水管移設工				
管路(水道)		式	1	レベル1
配水管布設工 150mm		式	1	レベル2
配水管布設工_PEP(EF) 150		式	1	レベル3
管路土工 150		式	1	レベル4
水道配水用ホリパイプ	EF受口付直管 片受タイプ 150×5.0M	本	15	レベル4
水道配水用ホリパイプ継手	EF45°ベント 片受タイプ 150	個	4	レベル4
水道配水用ホリパイプ継手	EF22 1/2°ベント 片受タイプ 150	個	3	レベル4
水道配水用ホリパイプ継手	EF45°ベント 両受タイプ 150	個	2	レベル4
水道配水用ホリパイプ継手	EFフランジ、鋳鉄製 150 GFガスケット含む	個	1	レベル4
メカニカルキャップ	150 塩ビ・鋼管	個	1	レベル4
管明示テープ	巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	巻	3.9	レベル4
ポリエチレン管据付工	呼び径 150mm	m	77.1	レベル4
ポリエチレン管(融着接合)継手工	150	口	27	レベル4
ポリエチレン管切断	呼び径 150mm	口	4	レベル4
フランジ継手工	7.5K 150 SUS304,RF形	口	1	レベル4
フランジ継手工(パッキンなし)	7.5K 150 SUS304	口	1	レベル4
鋳鉄継手工(メカニカル形)	150 メカニカルガスケット等	口	1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
不断水割T字管設置工	不断水割T字管 F付 RF形(塩ビ管用) 150×150	箇所	1	レベル4
仕切弁設置工	150-フランジ-1.2 東広島市型	箇所	1	レベル4
不断水バルブ設置工	不断水仕切弁(塩ビ管用) 150 7.5K仕様	箇所	1	レベル4
空気弁設置工(口金式)	150-PE両挿-0.6 東広島市型	箇所	1	レベル4
離脱防止金具設置工	150 VP(RR)	箇所	1	レベル4
ホリシリンダ被覆工	150【材工共】	m	3	レベル4
ケーシングワイヤ設置工	被覆外径 4.4mm【材工共】	m	77.6	レベル4
管理設シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	m	77.4	レベル4
ポリエチレン管切断	呼び径 150mm	口	1	レベル4
硬質塩化ビニル管切断	呼び径 150mm	口	2	レベル4
給水分岐替工		式	1	レベル3
管路土工 給水		式	1	レベル4
水道用ホリシリンダ二層管	PE50 1種 25	m	2	レベル4
ホリ式外分水栓	PEP用(鋳鉄製) 分止水用継手含まない 150×25	組	1	レベル4
水道用ホリシリンダ管金属継手	分止水栓用ソケット JWWA B 116 25	個	1	レベル4
水道用ホリシリンダ管金属継手	エルボ JWWA B 116 25×90°	個	1	レベル4
水道用ホリシリンダ管金属継手	ソケット JWWA B 116 25	個	1	レベル4
水道用ホリシリンダ管金属継手	パイプエント 25	個	1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
ポリエチレン管据付工	呼び径 25mm	m	2	レベル4
サドル分水栓建込み	ポリエチレン管 呼び径150mm 配水管 25mm	箇所	1	レベル4
ポリエチレン管継手工	呼び径 25mm	口	6	レベル4
ポリエチレン管切断	呼び径 25mm	口	2	レベル4
管理設シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	m	2	レベル4
配水管布設工 100mm		式	1	レベル2
配水管布設工_PEP(EF) 100	【夜間】	式	1	レベル3
管路土工 100		式	1	レベル4
水道配水用ホリソノ管	EF受口付直管 片受タイプ 100×5.0M	本	1	レベル4
水道配水用ホリソノ管継手	EF45°ベント 片受タイプ 100	個	1	レベル4
水道配水用ホリソノ管継手	EF45°ベント 両受タイプ 100	個	2	レベル4
水道配水用ホリソノ管継手	EFソケット 100	個	1	レベル4
管明示テープ	巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	巻	0.3	レベル4
ポリエチレン管据付工	呼び径 100mm	m	4.4	レベル4
ポリエチレン管(融着接合)継手工	100	口	8	レベル4
ポリエチレン管切断	呼び径 100mm	口	2	レベル4
耐震形不断水割T字管設置工	PE挿し口 ソトソール仕切弁付き(鋳鉄管用) 100×100	箇所	1	レベル4
仕切弁BOX設置工【材工共】	口径 100,土被り 1.20,高さ 1.05 東広島市型	箇所	1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
耐震形不断水割T字管設置工	PE挿し口 ソフトシル仕切弁付き（鋳鉄管用） 300× 100	箇所	1	レベル4
仕切弁BOX設置工【材工共】	口径 100，土被り 1.55，高さ 1.4 東広島市型	箇所	1	レベル4
空気弁設置工（口金式）	100-PE両挿-1.2（耐震補強金具含む） 東広島市型	箇所	1	レベル4
ホリシリンブ被覆工	100【材工共】	m	1	レベル4
ケーシングワイヤ	被覆外径 4.4mm【材工共】	m	6.1	レベル4
管理設シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色：青，文字色：白	m	6	レベル4
排水管設置工_HIVP(TS) 50		式	1	レベル3
土工 排水管		式	1	レベル4
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP-TS 50×4.0M	m	2.3	レベル4
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手	90°エッジ HITS継手 50	個	4	レベル4
メカソケット	100× 50 DIP×PEP インナーコア有り	個	1	レベル4
メカソケット	50 PEP×塩ビ インナー無し	個	1	レベル4
管明示テープ	巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色：青色，文字色：白色，施工年度明示	巻	0.2	レベル4
硬質塩化ビニル管据付工	呼び径 50mm	m	2.3	レベル4
硬質塩化ビニル管切断	呼び径 50mm	口	4	レベル4
硬質塩化ビニル管継手工	呼び径 50mm TS継手	口	7	レベル4
鋳鉄継手工（メカニカル形）	50- 100 メカソケット等	口	2	レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設	呼び径 50mm	口	2	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
仕切弁設置工	50-PE両挿-1.2 東広島市型	箇所	1	レベル4
鋳鉄管切断	エンジンカッター使用 呼び径： 100mm	口	2	レベル4
ホリシリンパ被覆工	50【材工共】	m	3	レベル4
吹付ワイヤ	被覆外径 4.4mm【材工共】	m	3	レベル4
管理シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色：青,文字色：白	m	1.7	レベル4
コンクリート等取り壊し復旧工		箇所	1	レベル4
配水管布設工 75mm		式	1	レベル2
配水管布設工_PEP(EF) 75		式	1	レベル3
土工 75		式	1	レベル4
水道配水用ホリシリン管	EF受口付直管 片受タイプ 75×5.0M	本	20	レベル4
水道配水用ホリシリン管継手	EF45°ベント 片受タイプ 75	個	6	レベル4
水道配水用ホリシリン管継手	EFフランジ、鋳鉄製 75 GFガasket含む	個	1	レベル4
水道配水用ホリシリン管継手	EFケット 75	個	2	レベル4
メカニカルソケット	75×50 PEP インナーコア有り	個	1	レベル4
管明示テープ	巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色：青色,文字色：白色,施工年度明示	巻	5.3	レベル4
ポリエチレン管据付工	呼び径 75mm	m	103.8	レベル4
ポリエチレン管(融着接合)継手工	75	口	31	レベル4
ポリエチレン管切断	呼び径 75mm	口	2	レベル4

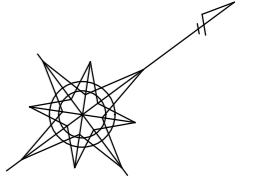
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設	呼び径 75mm	□	1	レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設	呼び径 50mm	□	1	レベル4
フランジ継手工	7.5K 75 SUS304,RF形	□	1	レベル4
フランジ継手工(パッキンなし)	7.5K 75 SUS304,パッキン無し	□	1	レベル4
不断水割T字管設置工	不断水割T字管 F付 RF形(PEP用) 150×75	箇所	1	レベル4
仕切弁設置工	75-フランジ-0.8 東広島市型	箇所	1	レベル4
仕切弁設置工	75-PE両挿-0.8 東広島市型	箇所	1	レベル4
消火栓設置工	75-PE両挿-0.8 東広島市型	箇所	1	レベル4
ホリシリンパ被覆工	75【材工共】	m	3	レベル4
吹付ワイヤ	被覆外径 4.4mm【材工共】	m	105	レベル4
管理シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	m	105	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員【夜間】	国道486号	人	16	レベル4
交通誘導警備員		人	15	レベル4
場内整備工	造成地内での整地	式	1	レベル4
直接工事費				
準備費				

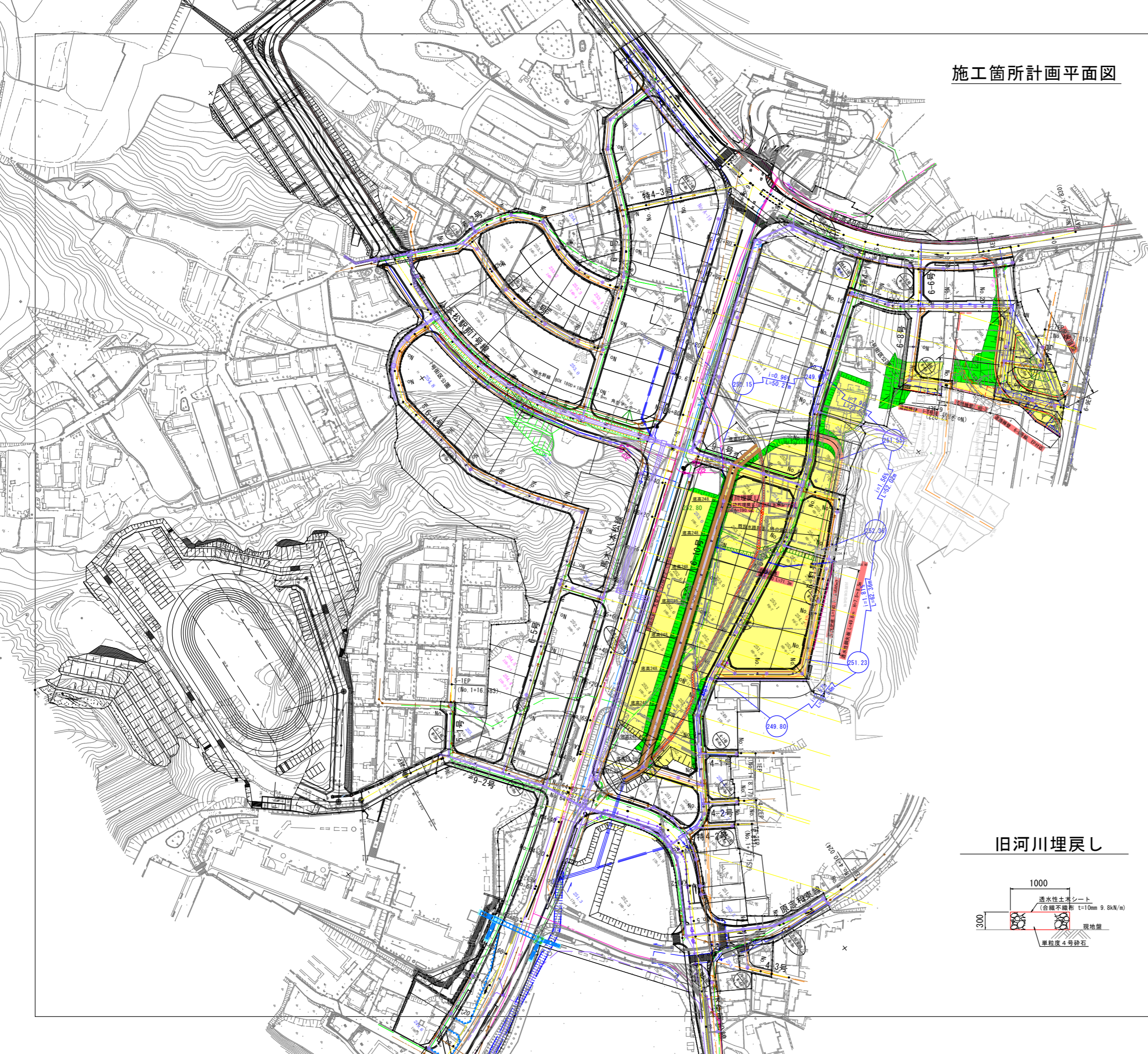
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
準備費		式	1	レベル2
準備費【夜間】		式	1	レベル3
試掘工【夜間】	N=1	式	1	レベル4
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
通水試験		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				
** 工事費 **				

施工箇所計画平面図



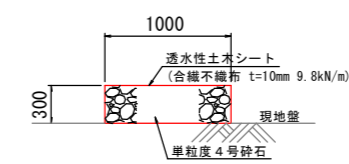
S=1/1,000 (A1)
S=1/2,000 (A3)



凡例

記号	名称
—	事業区域
—	現況 上水道：φ450
—	計画 上水道：φ400
—	現況 上水道：φ300
—	計画 上水道：φ150
—	現況 上水道：φ100
—	計画 上水道：φ75
—	現況 上水道：φ50以下
—	現況 下水道
—	現況 NTT地下ケーブル
○	電柱計画

旧河川埋戻し

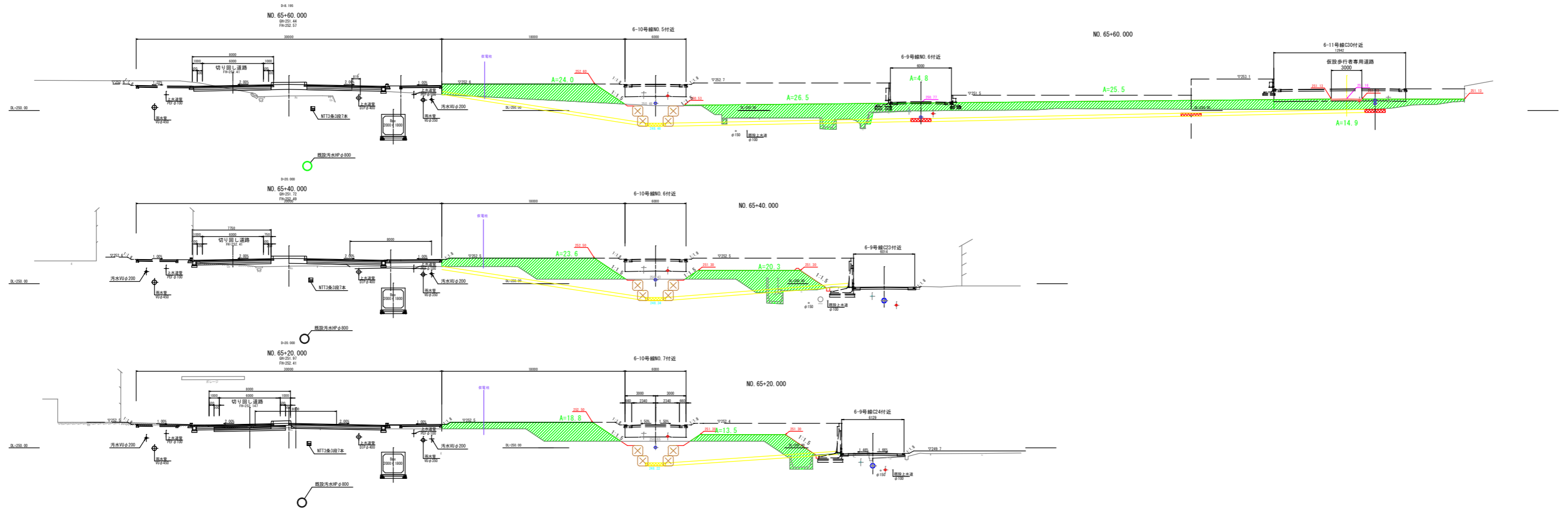


図面番号	1-1	縮尺	図示
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	施工計画平面図		番号
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

切り直し道路 横断面図(2)

東広島八本松線 S=1/100(A1)
S=1/200(A3)

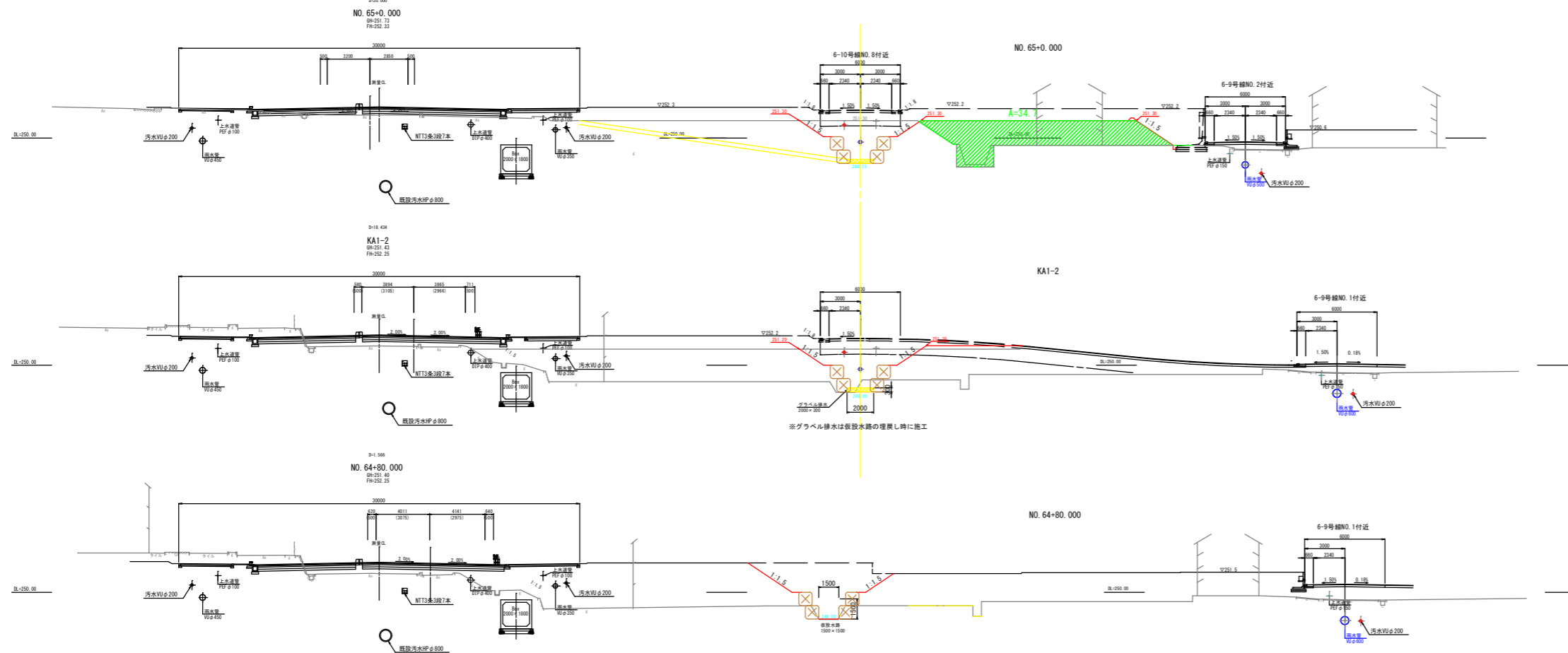
造成計画横断面図(2)



切り直し道路 横断面図(1)

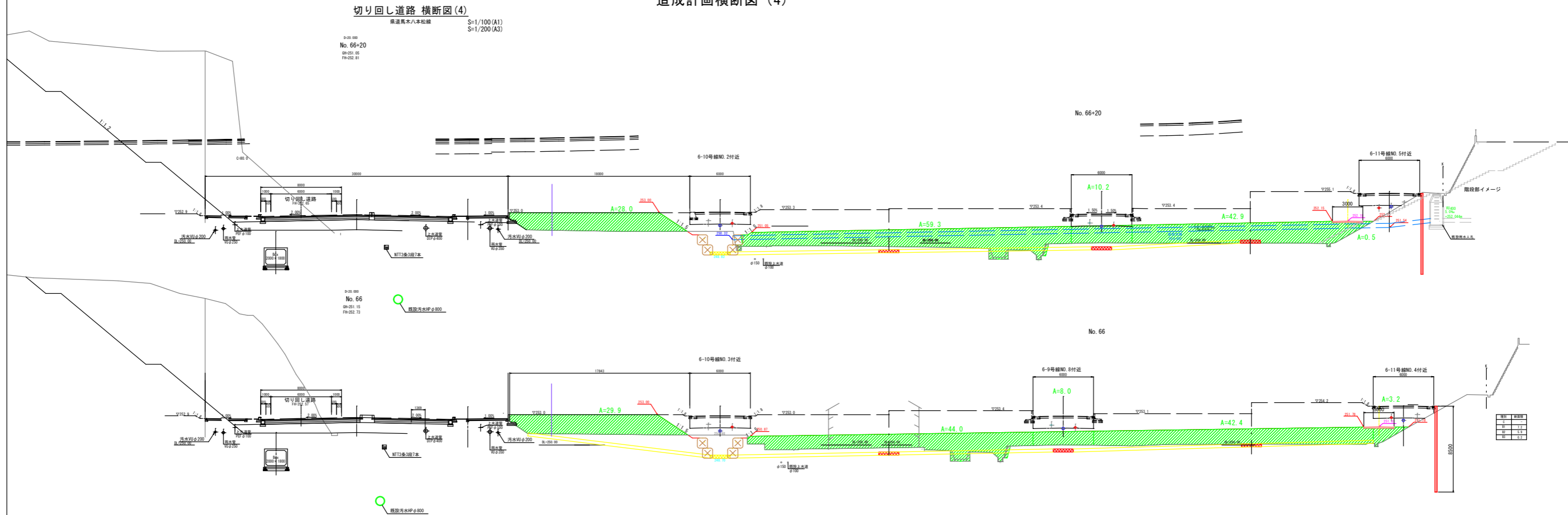
東広島八本松線 S=1/100(A1)
S=1/200(A3)

造成計画横断面図(1)

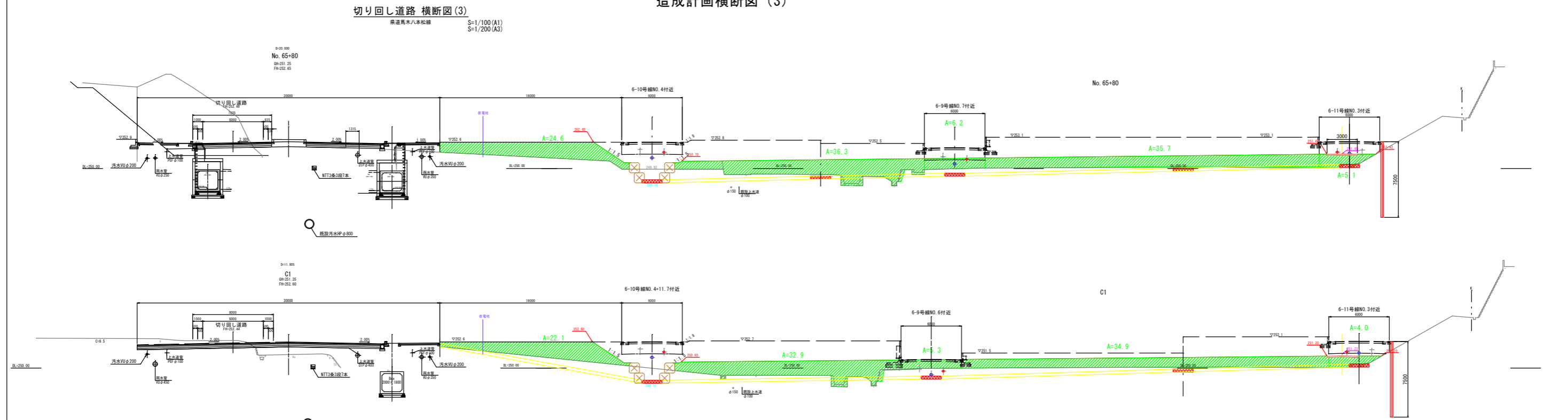


図面番号	1-2-1	縮尺	図示
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	造成計画横断面図(1)(2)		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

造成計画横断面図 (4)

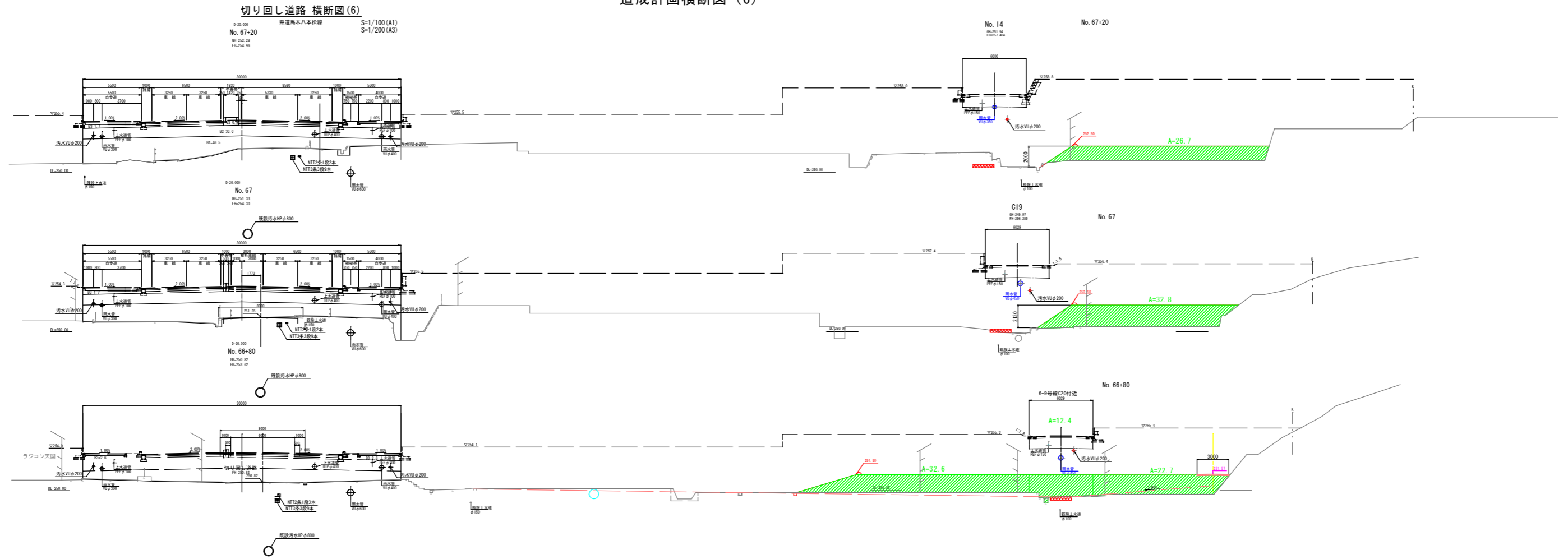


造成計画横断面図 (3)

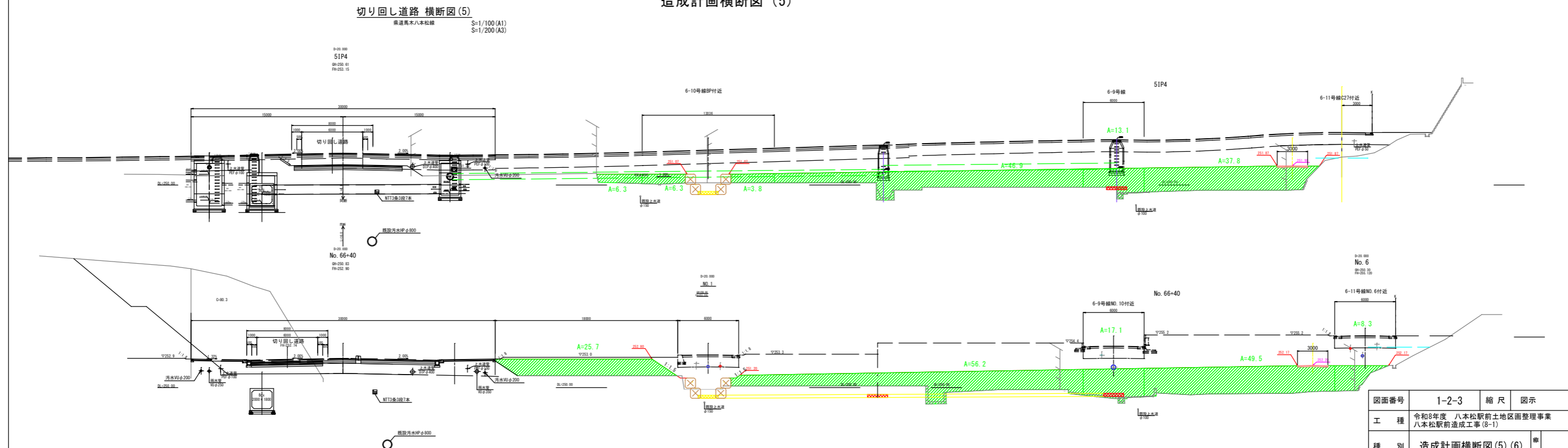


図面番号	1-2-2	縮尺	図示
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前土地区画整理事業 (8-1)		
種別	造成計画横断面図 (3) (4)		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

造成計画横断面図 (6)



造成計画横断面図 (5)

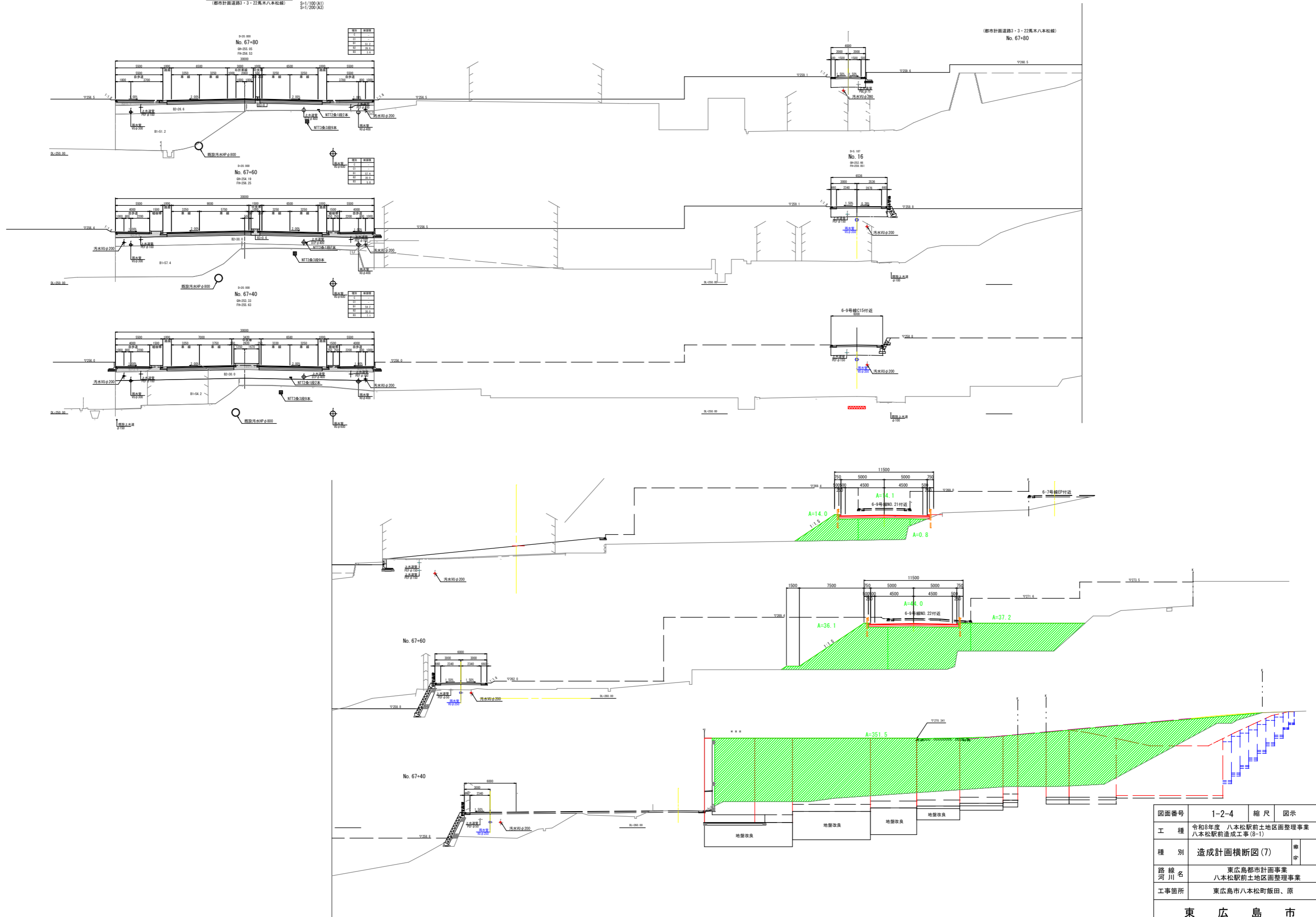


図面番号	1-2-3	縮尺	図示
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	造成計画横断面図(5)(6)		備考
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

造成計画横断面図(7)

馬木八本松横断面図(13)
 (都市計画道路3-3-22馬木八本松線)
 S=1/100(A1)
 S=1/200(A2)

(都市計画道路3-3-22馬木八本松線)
 No. 67+80



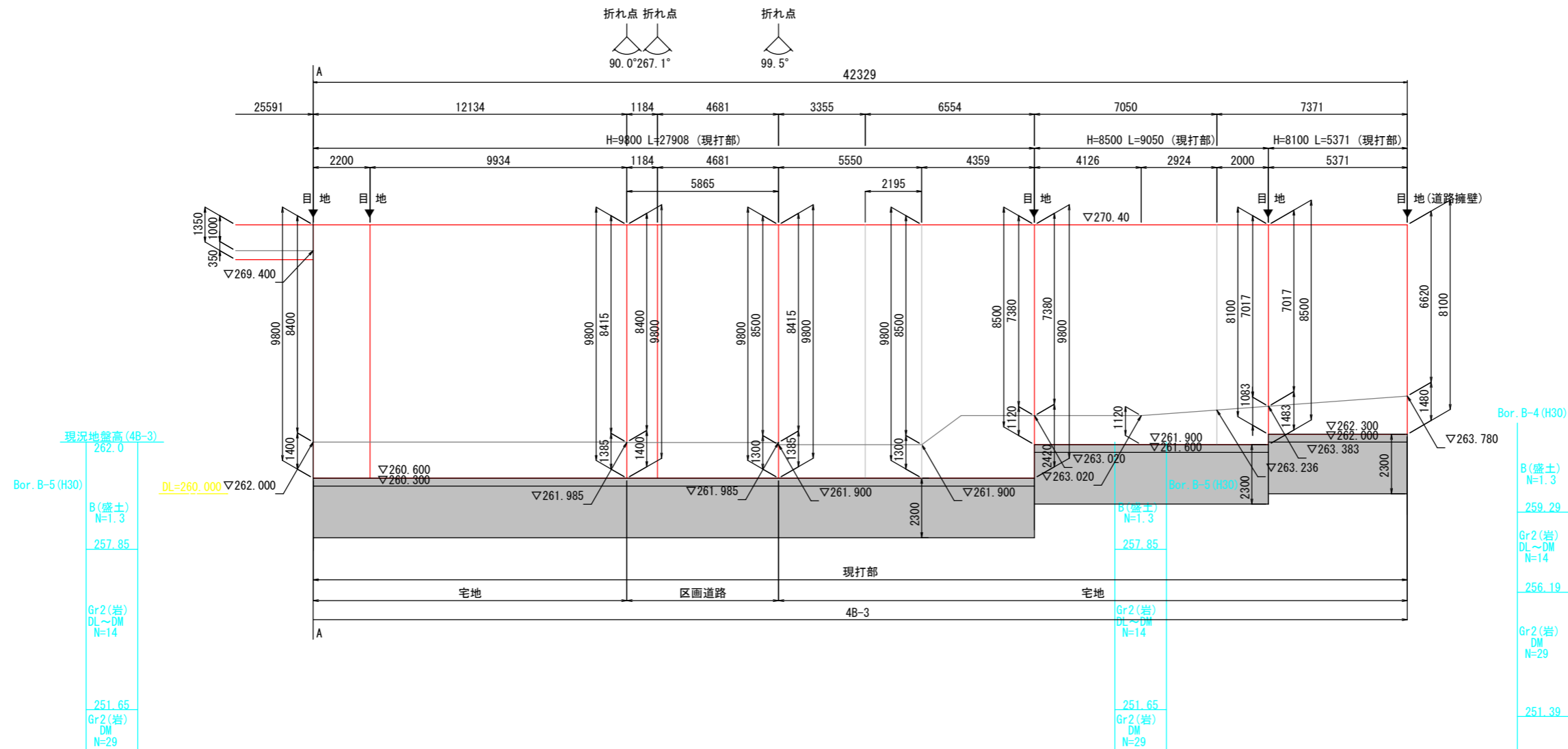
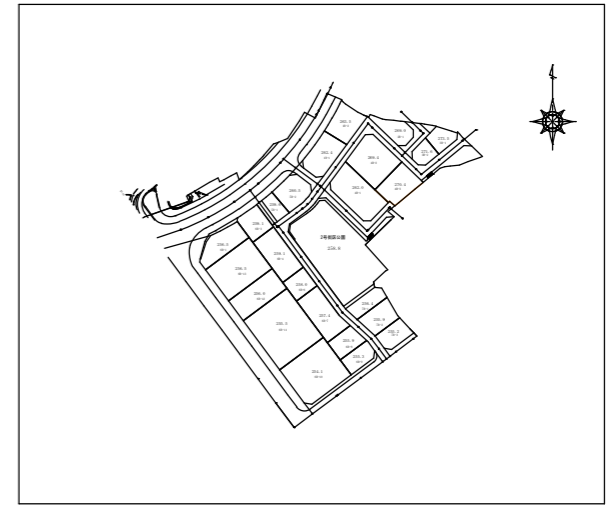
図面番号	1-2-4	縮尺	図示
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	造成計画横断面図(7)	備考	
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

宅地擁壁展開図(4B-3)

【L型擁壁】

S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

位置図



※伸縮継目は、擁壁長さ20m以内ごとに1箇所設けること。

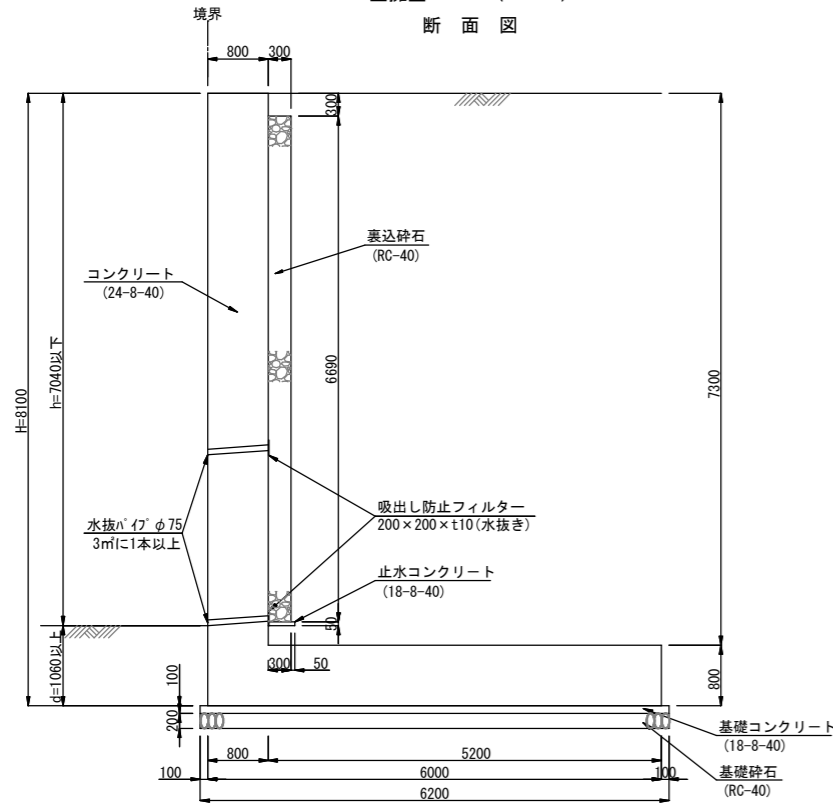
図面番号		2-1		縮尺		S=1/100 (A1)	
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)						
種別	宅地擁壁展開図(4B-3)						
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業						
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原						
東 広 島 市							

宅地擁壁構造図(4B-3)(1) S=1/50(A1)
S=1/100(A3)
【現打ち擁壁】

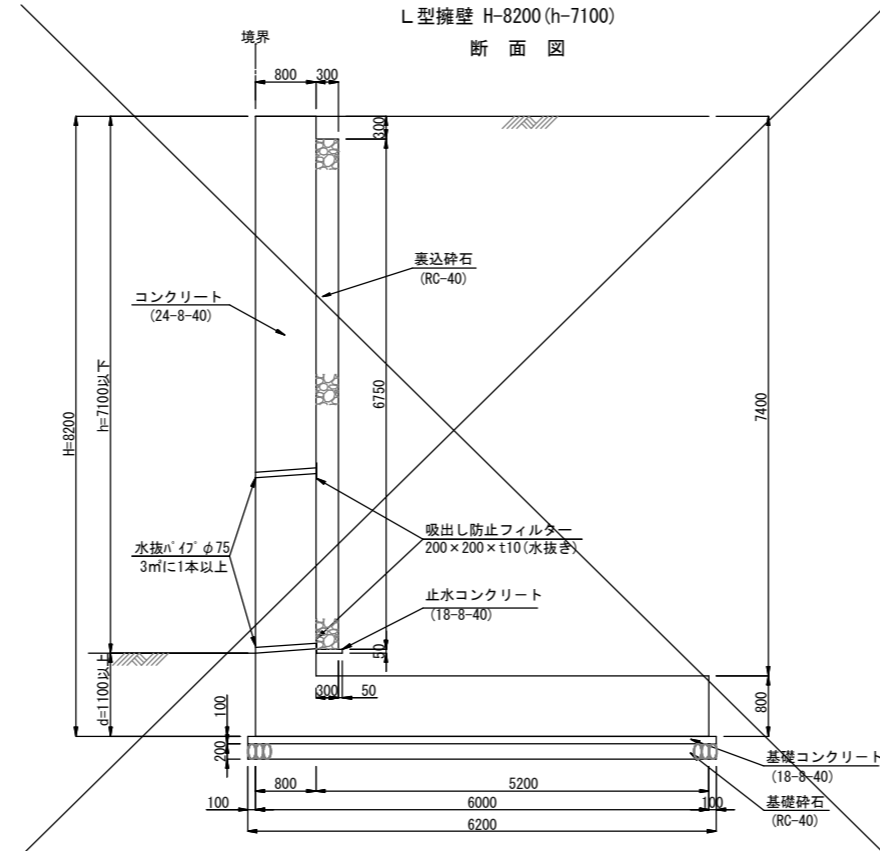
※根入れ: 15/100h 以上かつ35cm以上

- 特記事項
- ・使用鉄筋 SD345A
 - ・コンクリート 24-8-40
 - ・施工に際しては、地耐力を調査確認のうえ、必要に応じて地盤改良を実施すること。

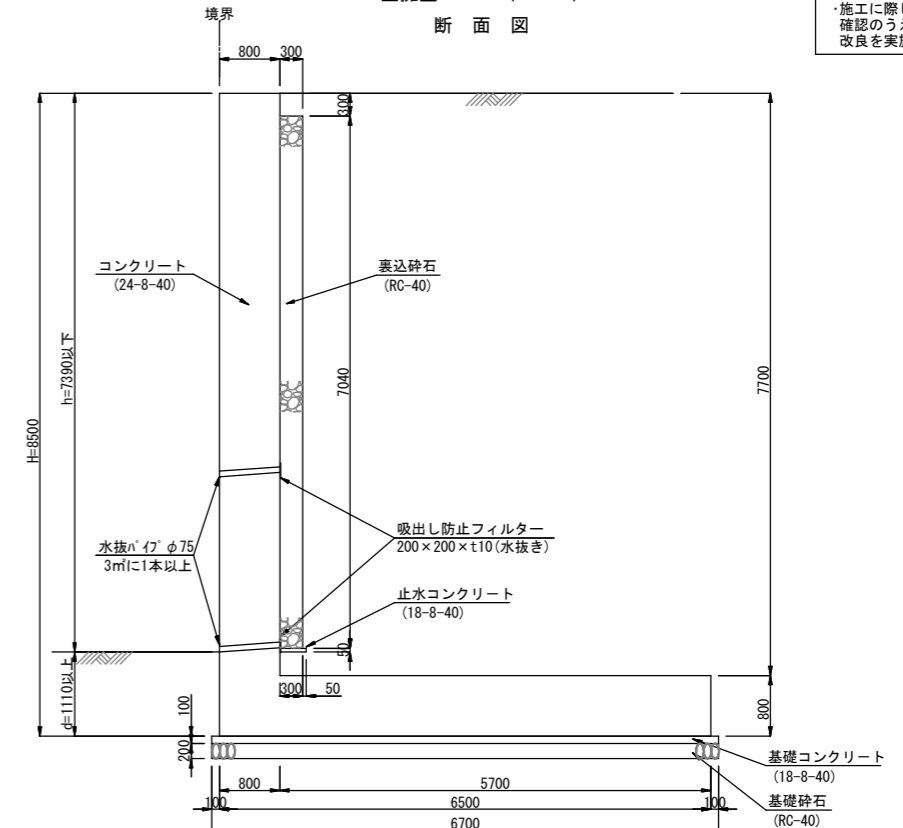
L型擁壁 H-8100 (h-7040)
断面図



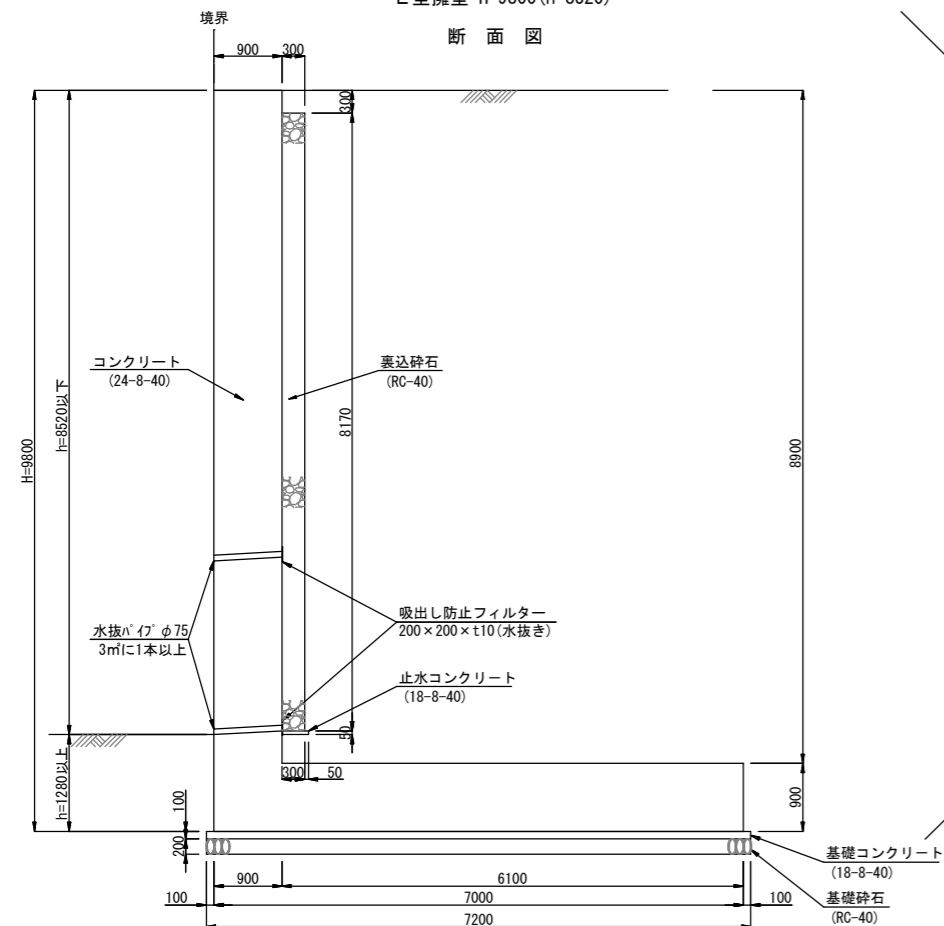
標準断面図
L型擁壁 H-8200 (h-7100)
断面図



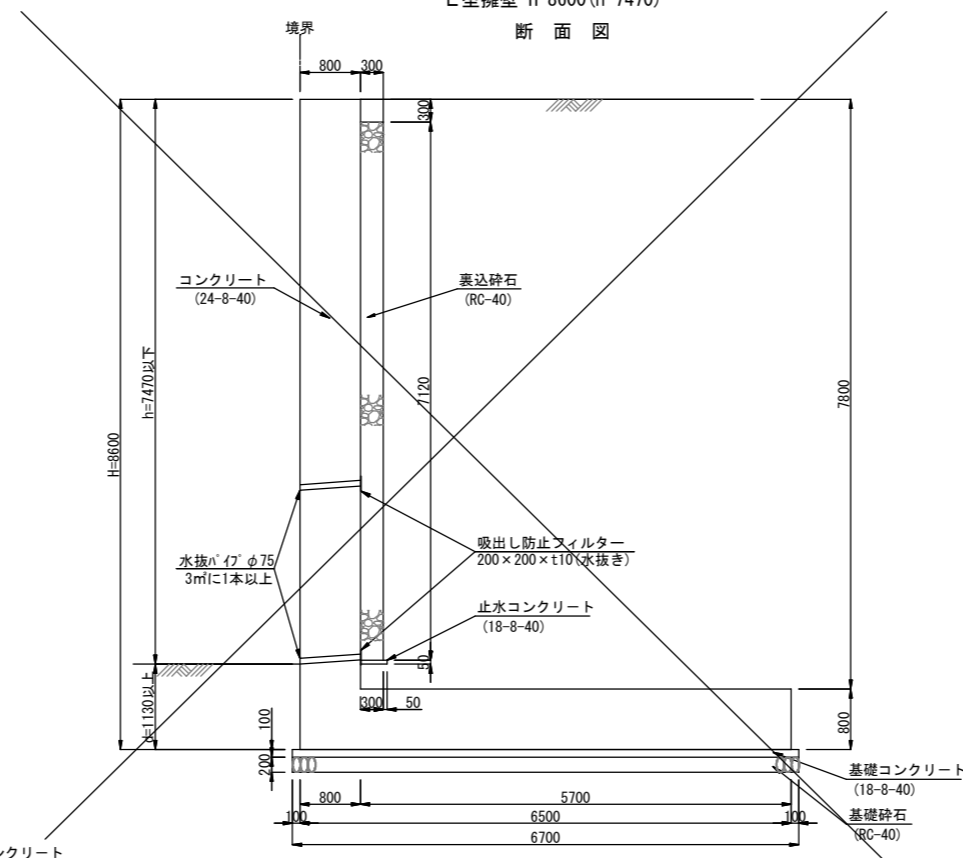
L型擁壁 H-8500 (h-7390)
断面図



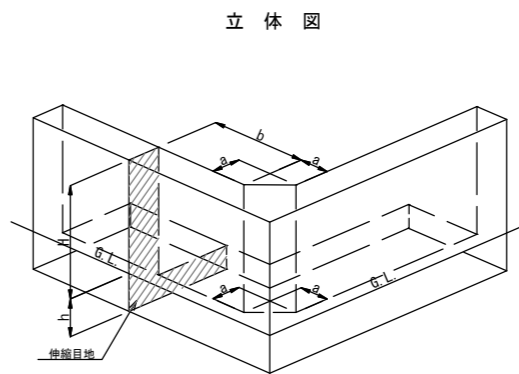
L型擁壁 H-9800 (h-8520)
断面図



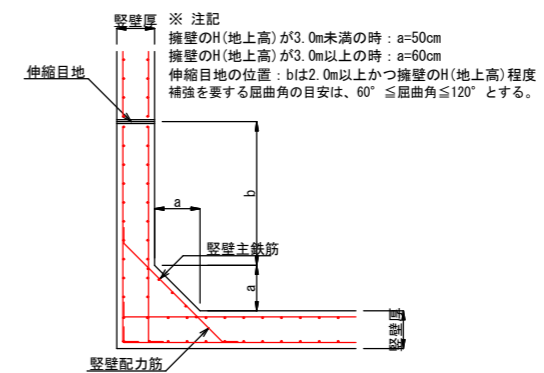
L型擁壁 H-8600 (h-7470)
断面図



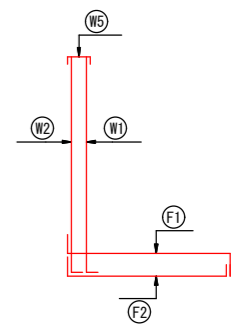
擁壁隅角部補強 (地上高1.0mを超える擁壁の場合)



平面図



鉄筋組立図



図面番号	2-2	縮尺	S=1/50(A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	宅地擁壁構造図(4B-3)(1)		番号
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

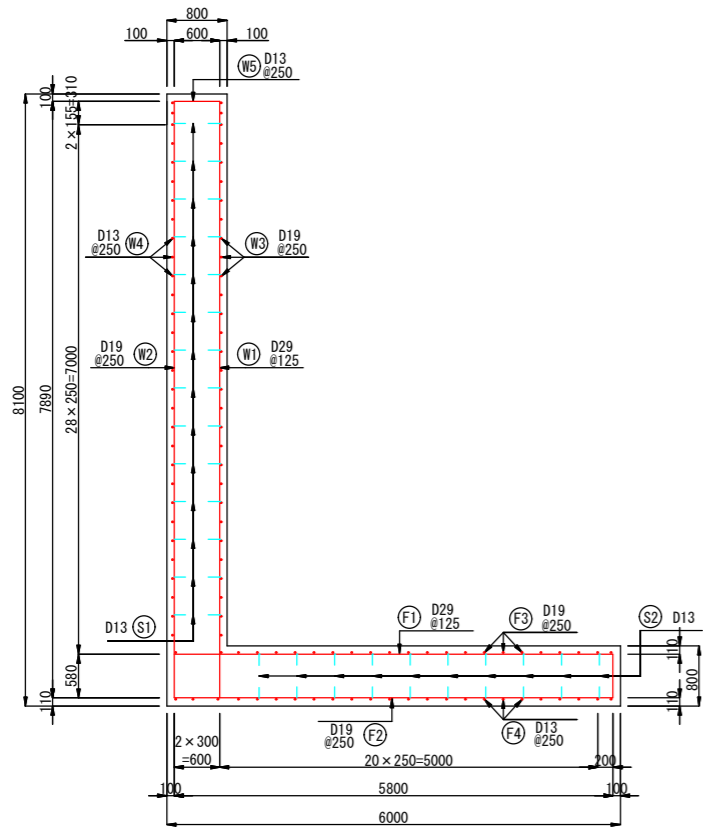
宅地擁壁構造図(4B-3) (2)

【現打ち擁壁】

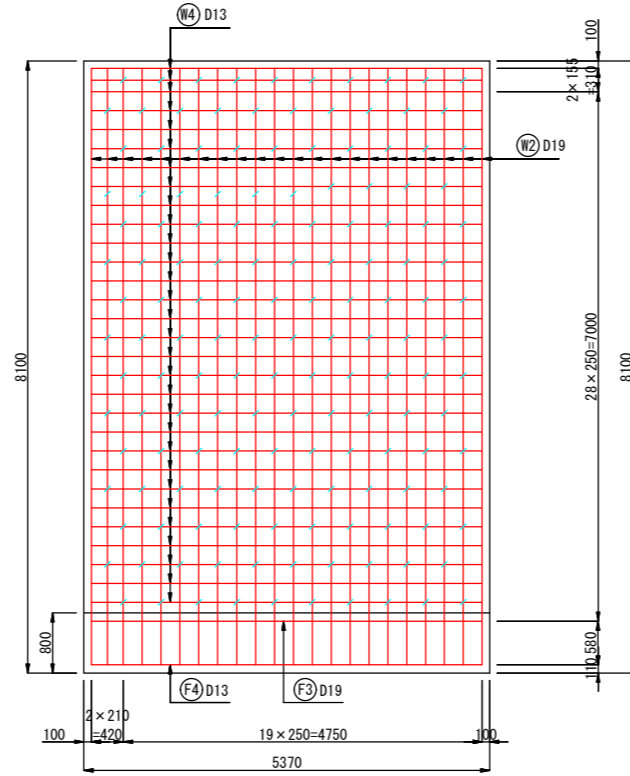
S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

L型擁壁 H-8100(4B-3) 配筋図①

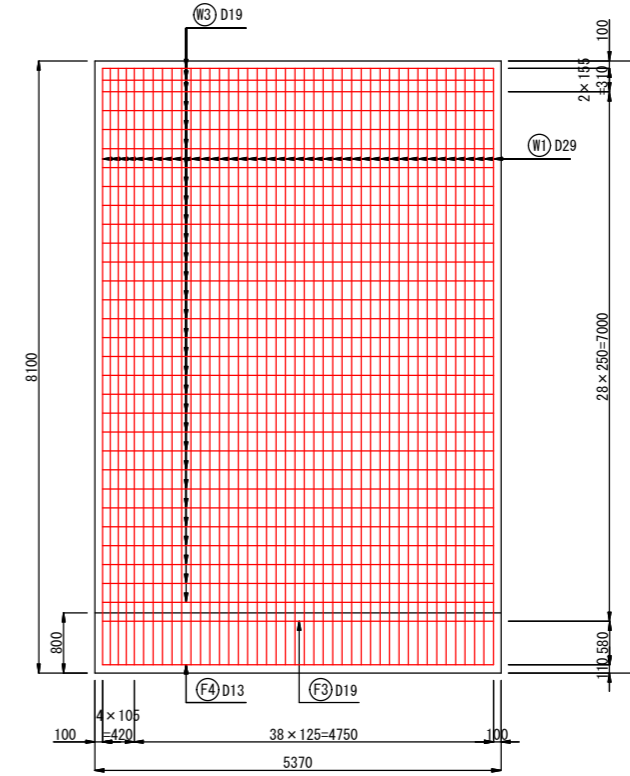
配筋断面図



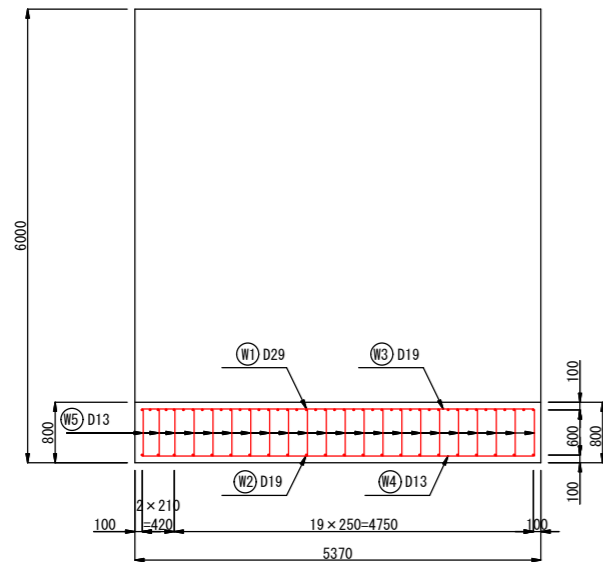
側壁前面



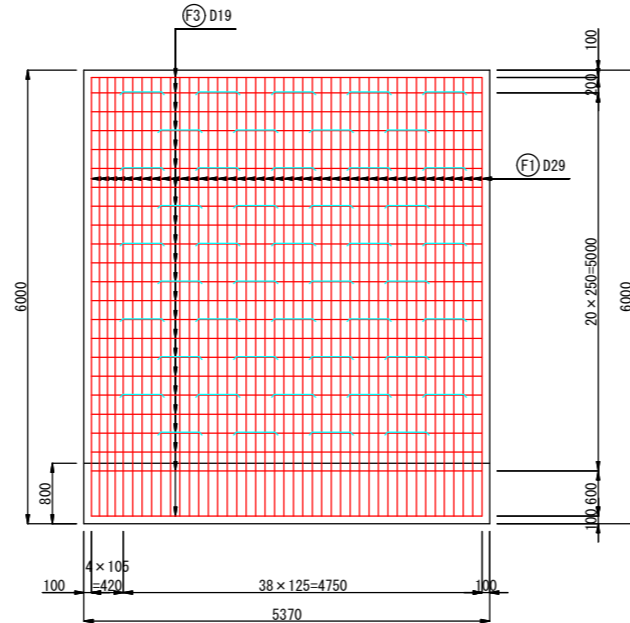
側壁背面



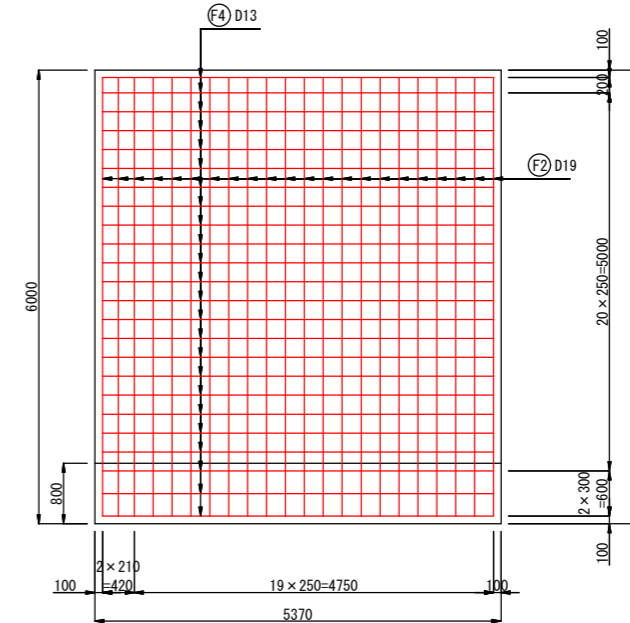
平面図



底板上面



底板下面



L型擁壁 H-8100(4B-3) 配筋図①

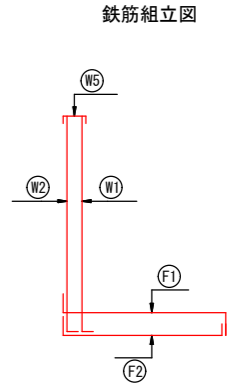
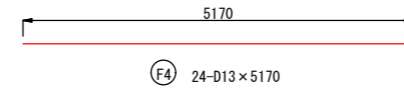
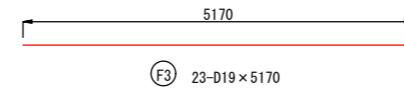
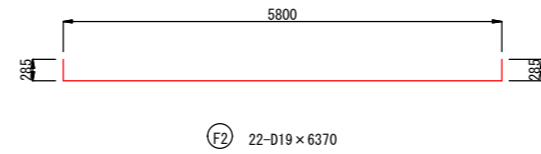
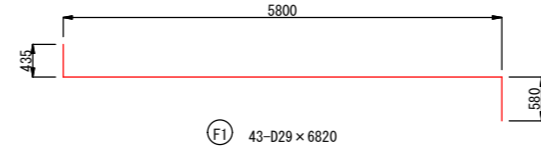
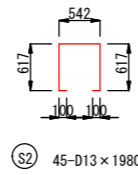
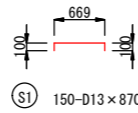
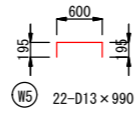
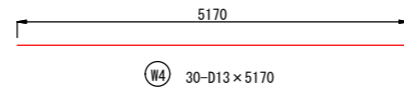
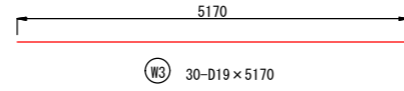
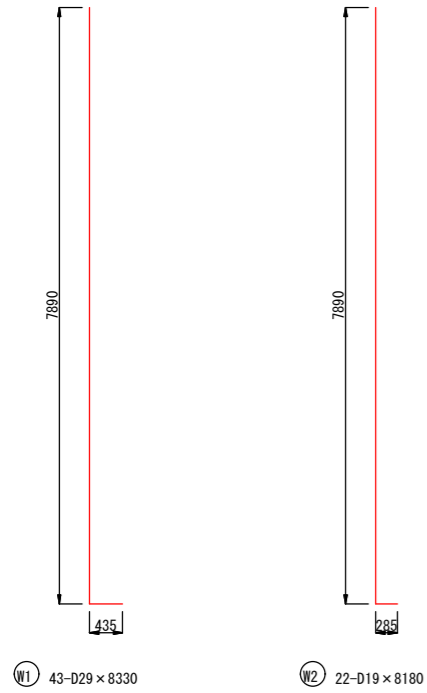
図面番号	2-3	縮尺	S=1/50 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	宅地擁壁構造図(4B-3) (2)	番号	
路線 河川名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

宅地擁壁構造図(4B-3) (3)

【現打ち擁壁】

S=1/50(A1)
S=1/100(A3)

L型擁壁 H-8100(4B-3) 配筋図②



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
W1	D29	8330	43	5.04	41.882	1805.3	L
W2	D19	8180	22	2.25	18.405	404.9	L
W3	D19	5170	30	2.25	11.633	349.0	—
W4	D13	5170	30	0.995	5.144	154.3	—
W5	D13	990	22	0.995	0.985	21.7	□
S1	D13	870	150	0.995	0.866	129.9	□
2865.1 kg							
F1	D29	6820	43	5.04	34.373	1478.0	L
F2	D19	6370	22	2.25	14.333	315.3	L
F3	D19	5170	23	2.25	11.633	267.6	—
F4	D13	5170	24	0.995	5.144	123.5	—
S2	D13	1980	45	0.995	1.970	88.7	□
2273.1 kg							
						D29	3283.3 kg
						D19	1336.8 kg
						D13	518.1 kg
						合計	5138.2 kg

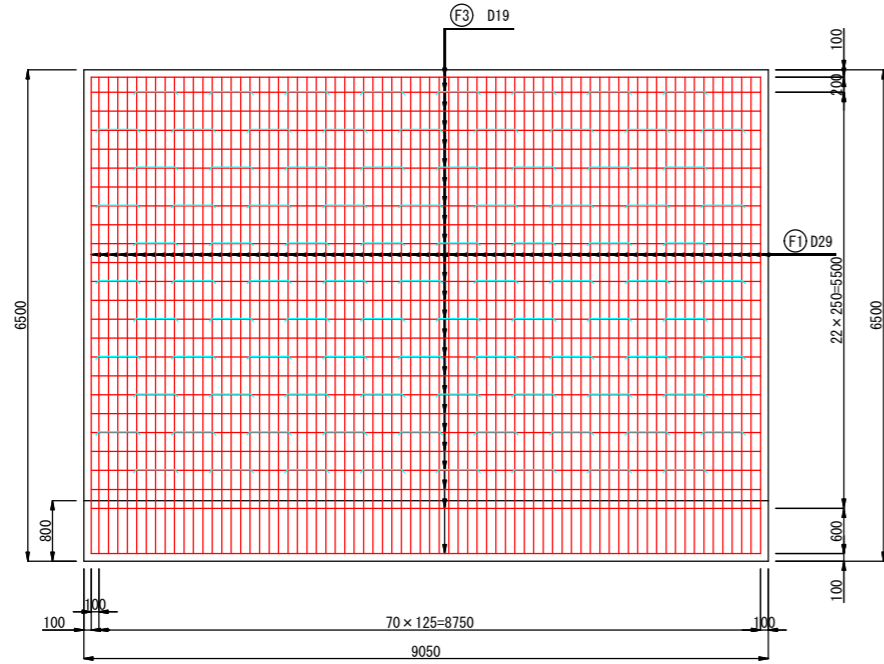
L型擁壁 H-8100(4B-3) 配筋図②

図面番号	2-4	縮尺	S=1/50(A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	宅地擁壁構造図(4B-3) (3)	番号	
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

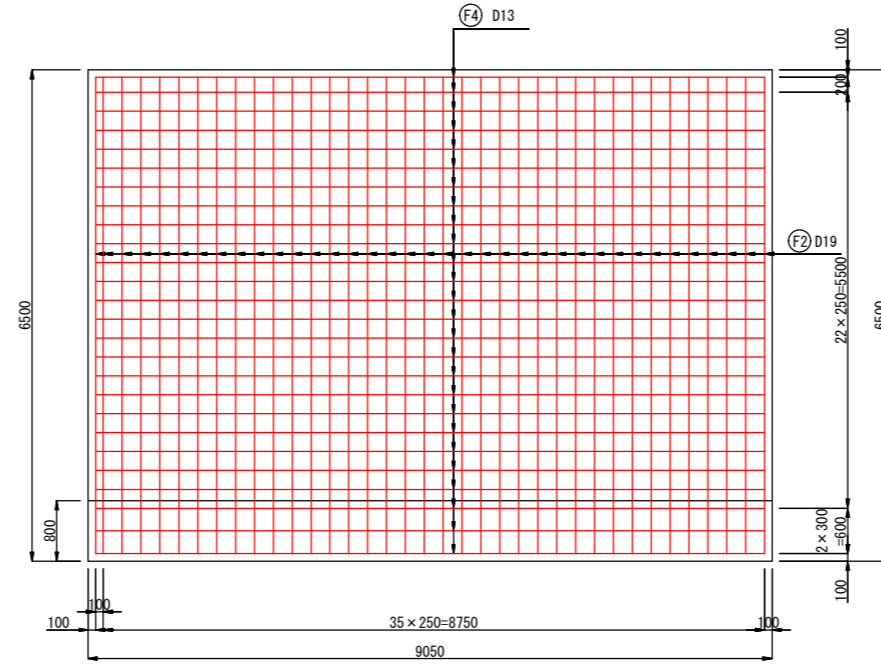
宅地擁壁構造図(4B-3) (5) S=1/50 (A1)
 【現打ち擁壁】 S=1/100 (A3)

L型擁壁 H-8500 (4B-3) 配筋図②

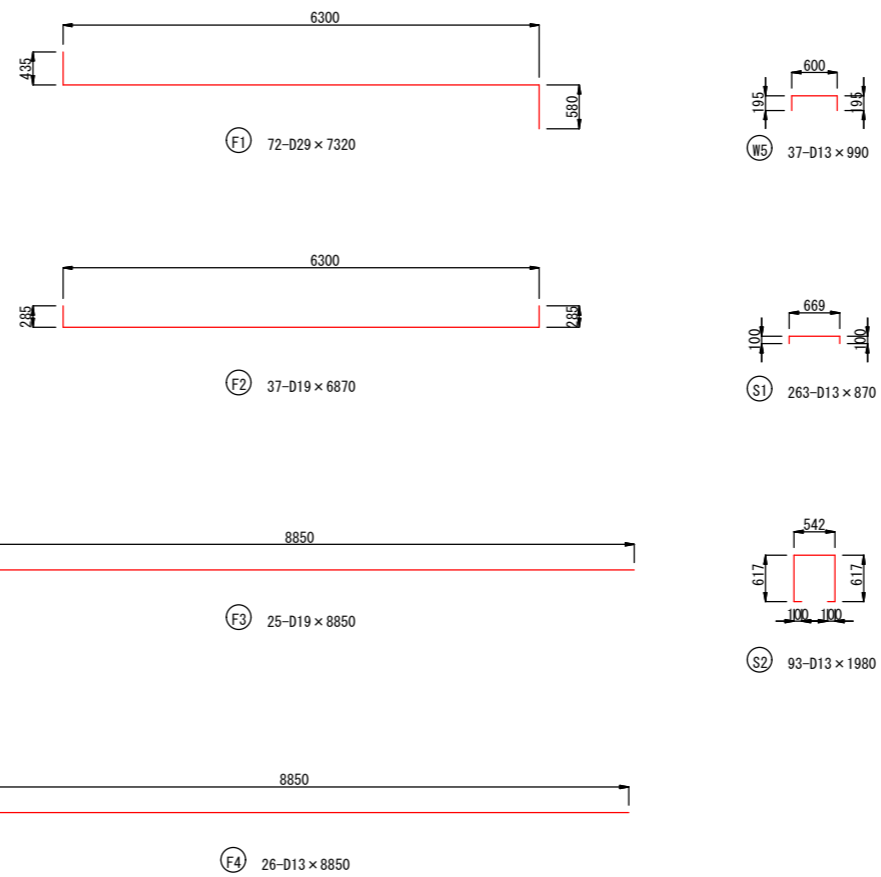
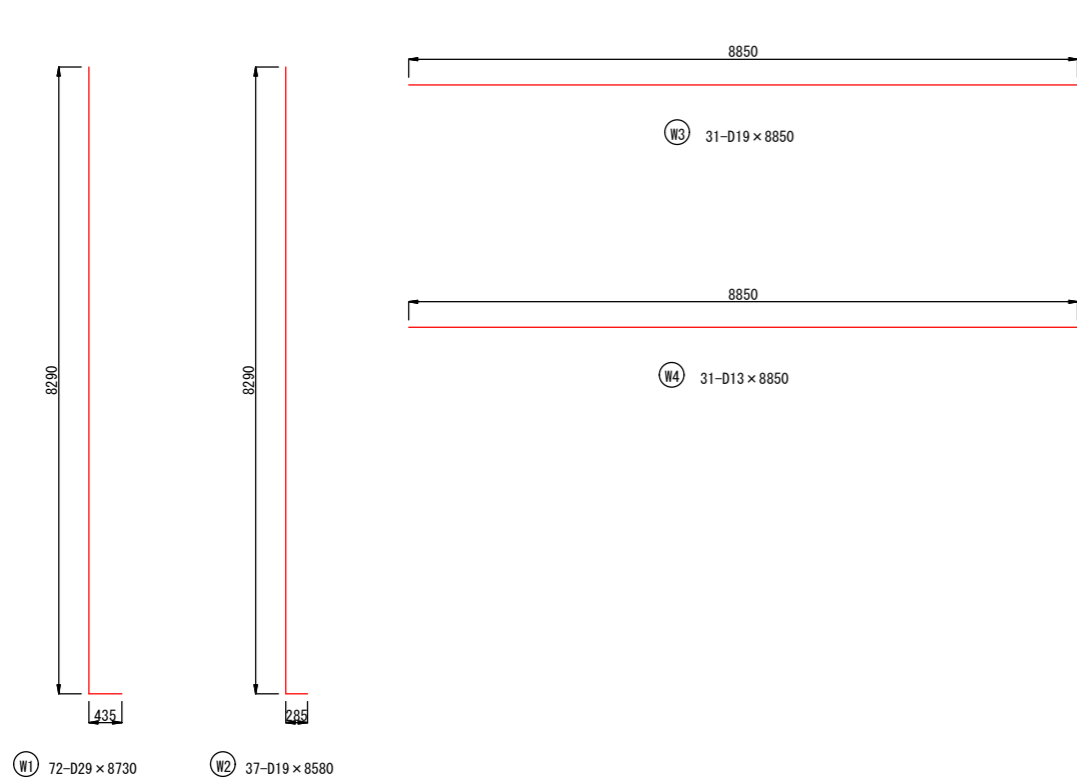
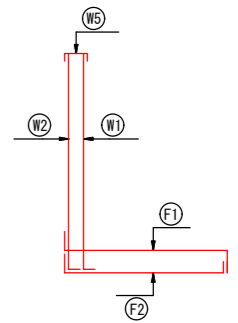
底板上面



底板下面



鉄筋組立図



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要	
W1	D29	8730	72	5.04	43.999	3167.9	└	
W2	D19	8580	37	2.25	19.305	714.3	└	
W3	D19	8850	31	2.25	19.913	617.3	—	
W4	D13	8850	31	0.995	8.806	273.0	—	
W5	D13	990	37	0.995	0.985	36.4	└	
S1	D13	870	263	0.995	0.866	227.8	└	
							5036.7 kg	
F1	D29	7320	72	5.04	36.893	2656.3	└	
F2	D19	6870	37	2.25	15.458	571.9	└	
F3	D19	8850	25	2.25	19.913	497.8	—	
F4	D13	8850	26	0.995	8.806	229.0	—	
S2	D13	1980	93	0.995	1.970	183.2	└	
							4138.2 kg	
						D29	5824.2 kg	
						D19	2401.3 kg	
						D13	949.4 kg	
						合計	9174.9 kg	

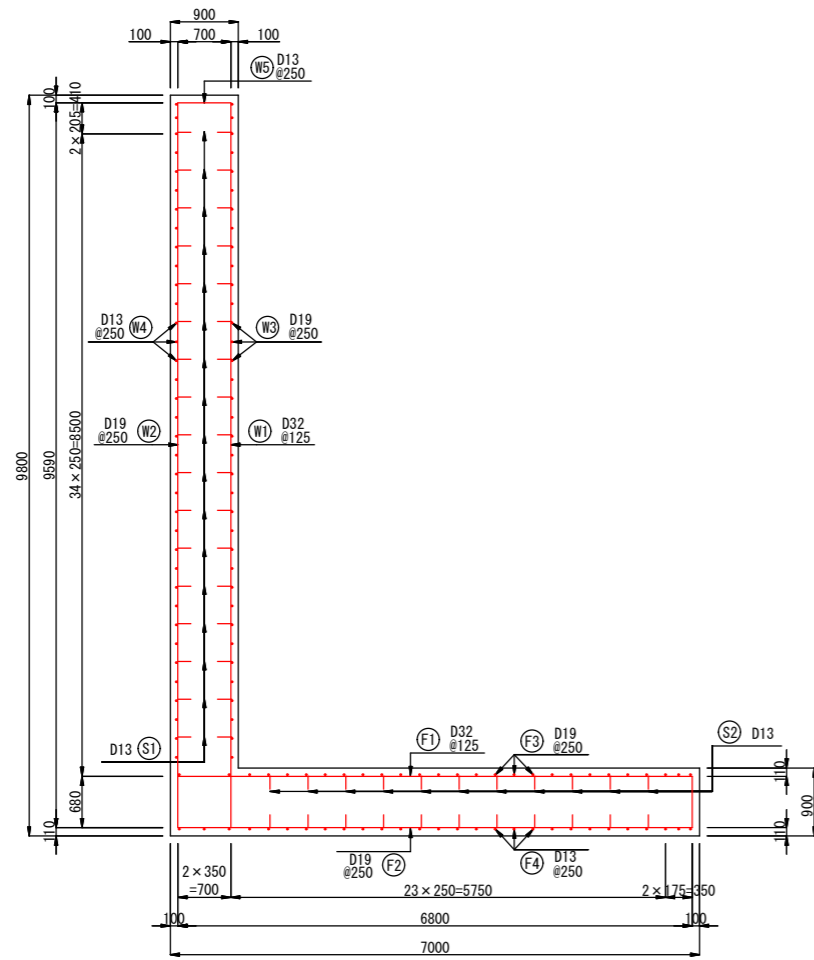
L型擁壁 H-8500 (4B-3) 配筋図②

図面番号	2-6	縮尺	S=1/50 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	宅地擁壁構造図(4B-3) (5)	番号	
路線 河川名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

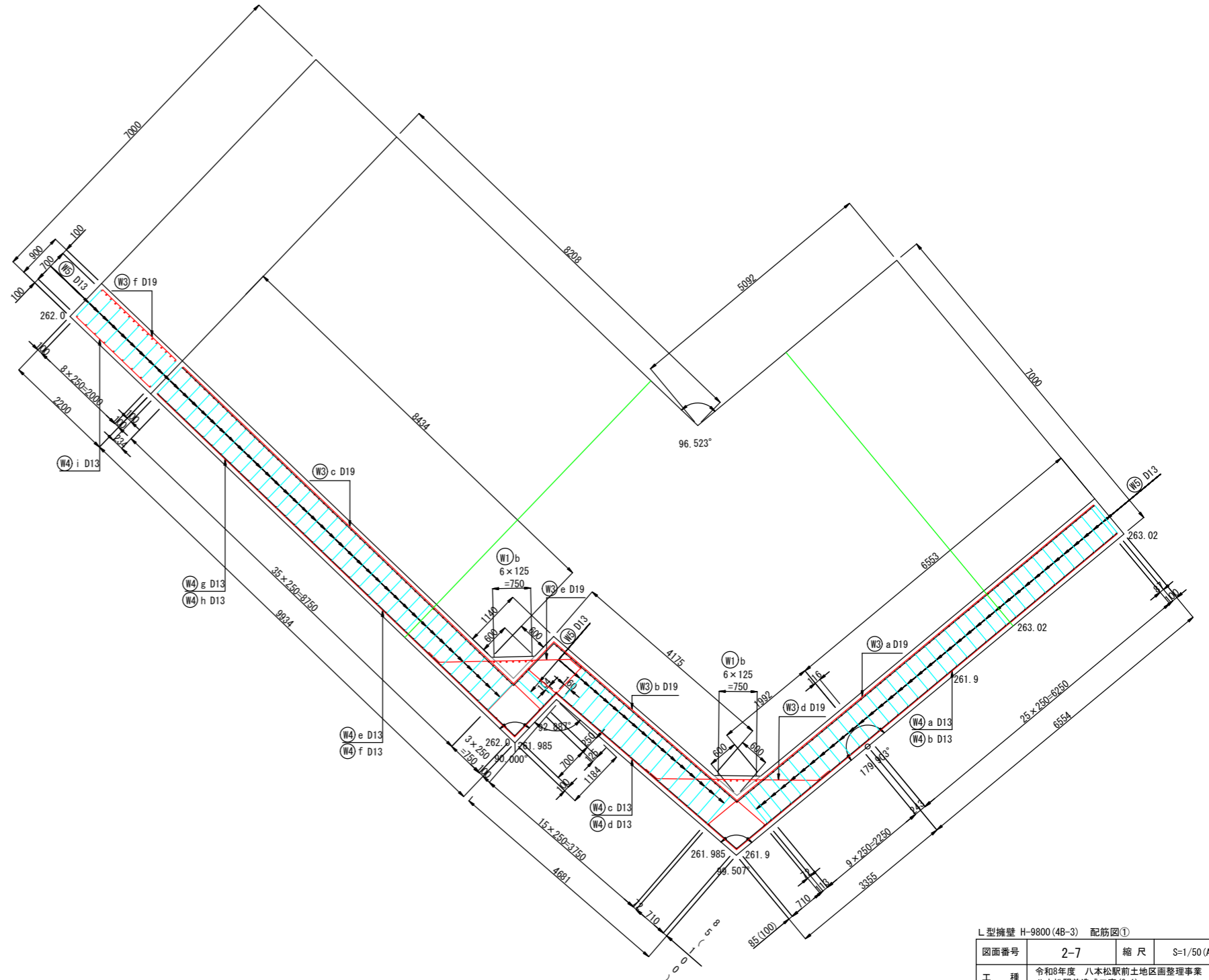
宅地擁壁構造図(4B-3) (6) S=1/50(A1)
 【現打ち擁壁】 S=1/100(A3)

L型擁壁 H-9800(4B-3) 配筋図①

配筋断面図



平面図



L型擁壁 H-9800(4B-3) 配筋図①

図面番号	2-7	縮尺	S=1/50(A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	宅地擁壁構造図(4B-3) (6)	番 号	
路線 河川名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

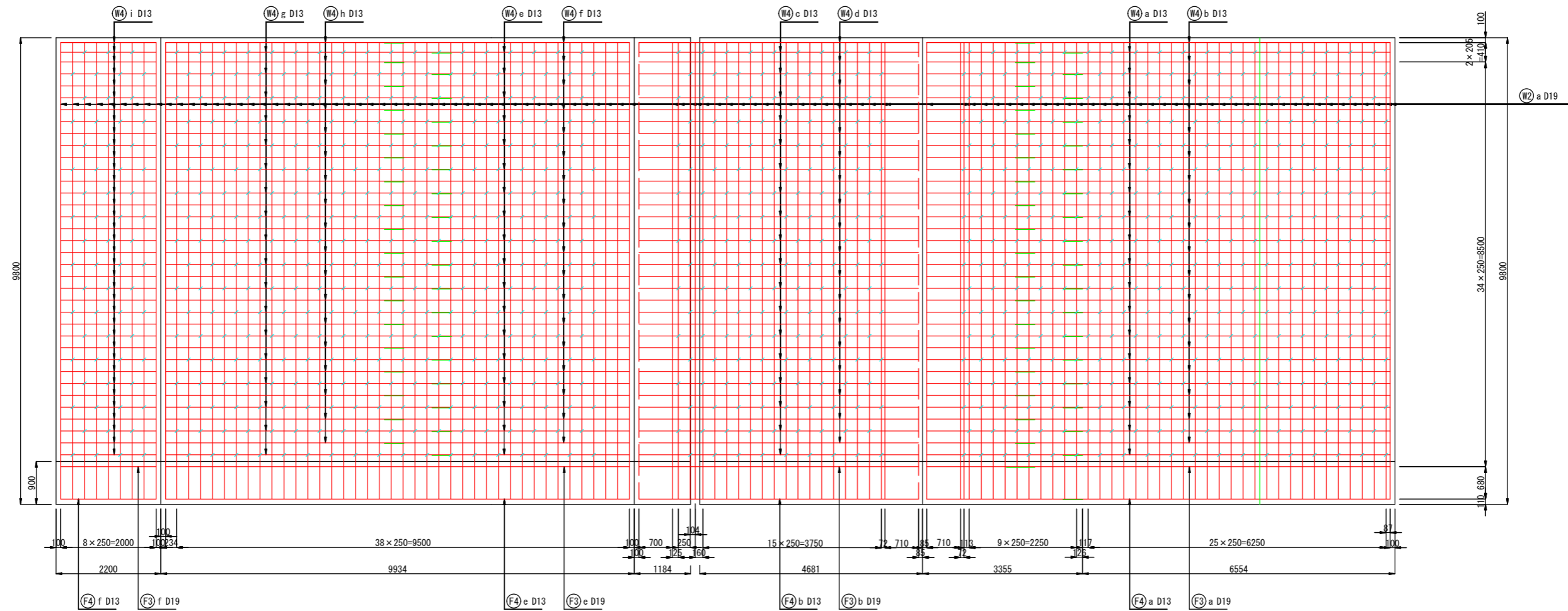
宅地擁壁構造図(4B-3) (7)

【現打ち擁壁】

S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

L型擁壁 H-9800(4B-3) 配筋図②

側壁前面



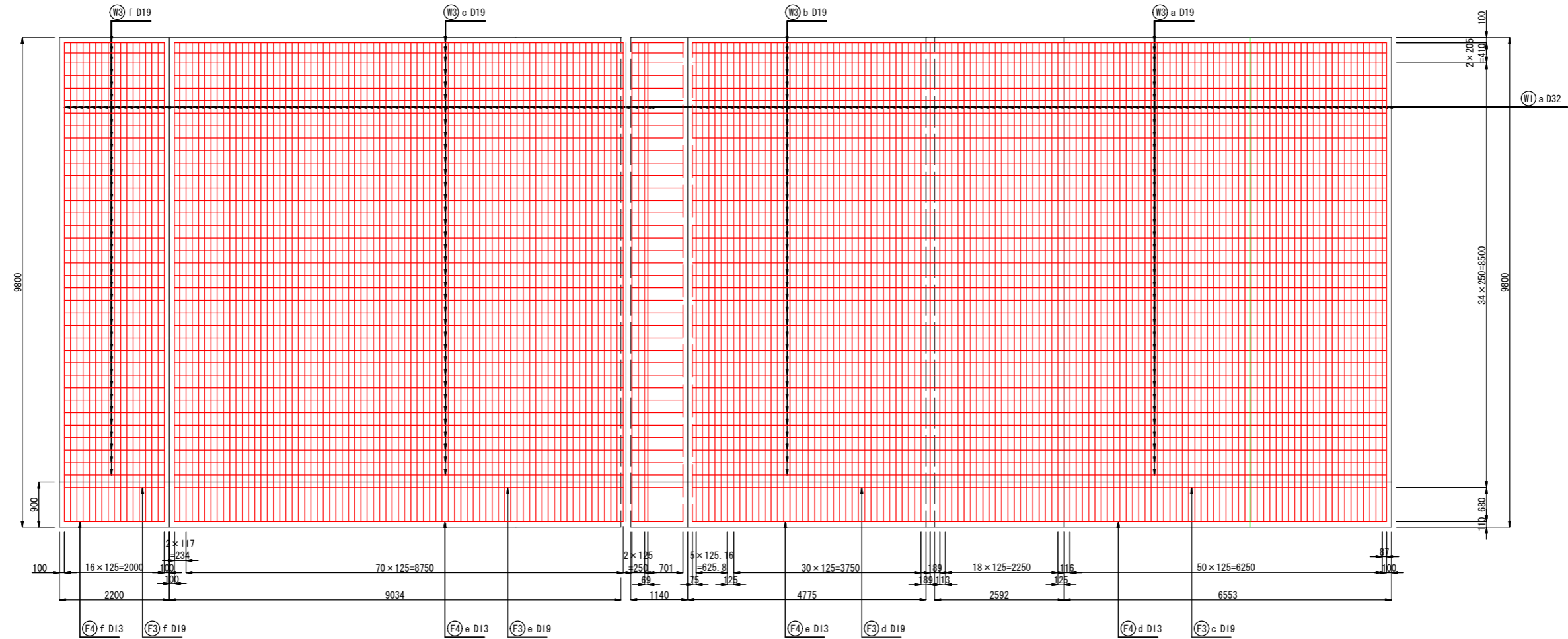
L型擁壁 H-9800(4B-3) 配筋図②

図面番号	2-8	縮尺	S=1/50 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	宅地擁壁構造図(4B-3) (7)	番 号	
路線 河川名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

宅地擁壁構造図(4B-3) (8) S=1/50 (A1)
 【現打ち擁壁】 S=1/100 (A3)

L型擁壁 H-9800(4B-3) 配筋図③

側壁背面



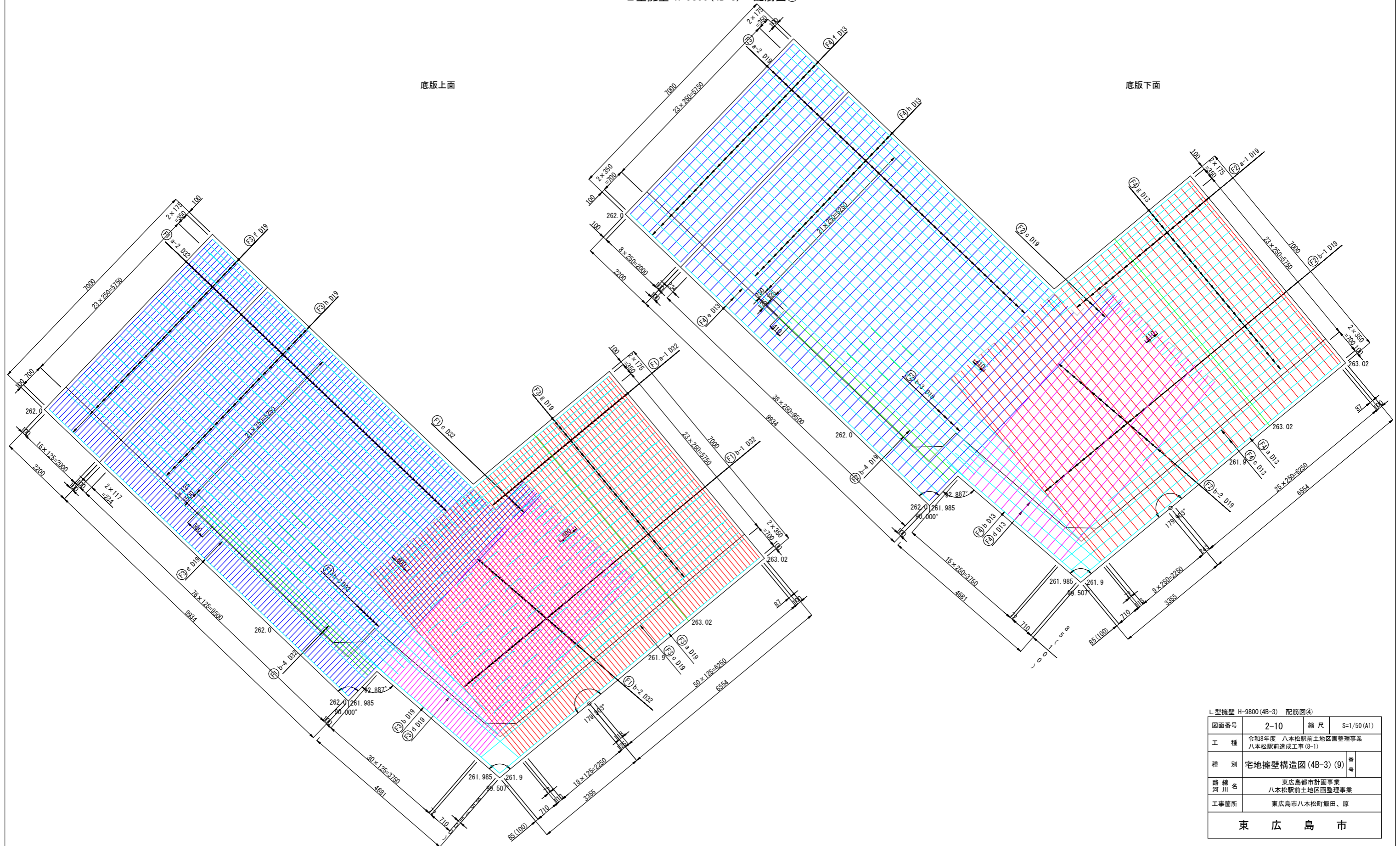
L型擁壁 H-9800(4B-3) 配筋図③			
図面番号	2-9	縮尺	S=1/50 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	宅地擁壁構造図(4B-3) (8)	番号	
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

宅地擁壁構造図(4B-3) (9)

【現打ち擁壁】

S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

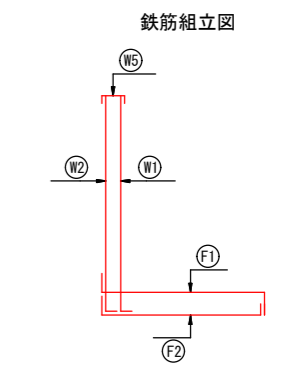
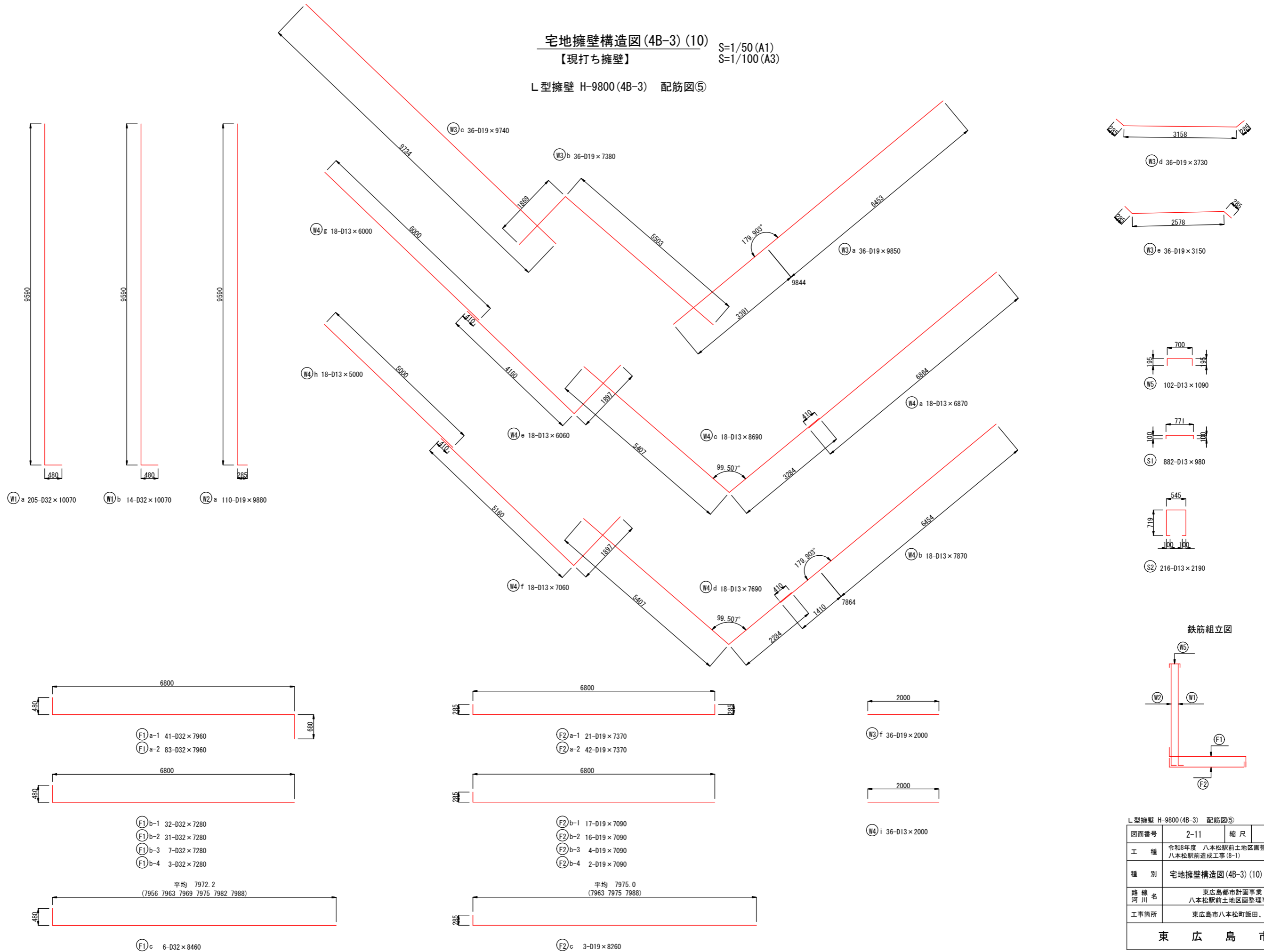
L型擁壁 H-9800(4B-3) 配筋図④



L型擁壁 H-9800(4B-3) 配筋図④			
図面番号	2-10	縮尺	S=1/50 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	宅地擁壁構造図(4B-3) (9)	番	
路線 河川名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

宅地擁壁構造図(4B-3) (10) S=1/50 (A1)
 【現打ち擁壁】 S=1/100 (A3)

L型擁壁 H-9800 (4B-3) 配筋図⑤

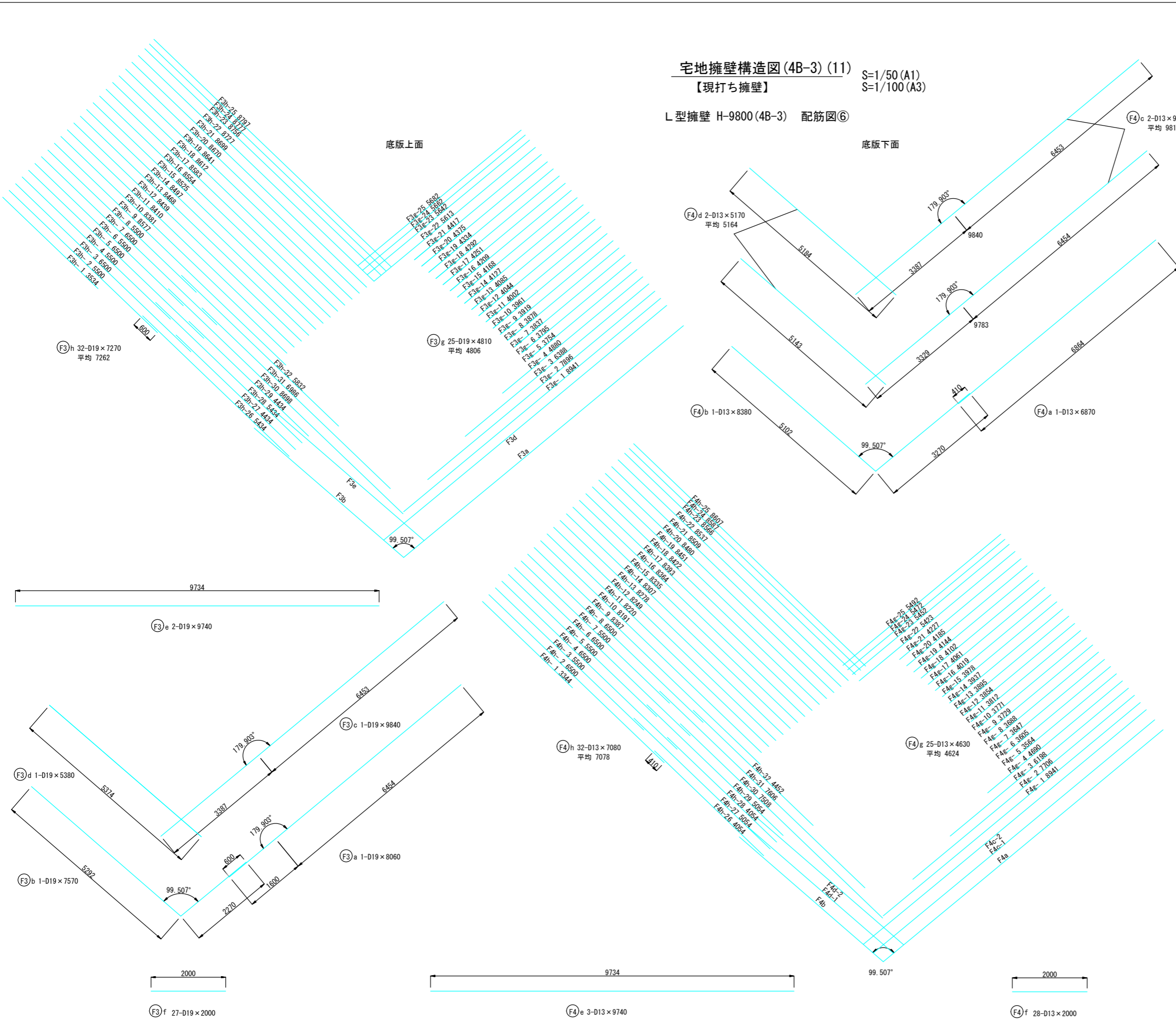


L型擁壁 H-9800 (4B-3) 配筋図⑤

図面番号	2-11	縮尺	S=1/50 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	宅地擁壁構造図(4B-3) (10)	番号	
路線 河川名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

宅地擁壁構造図(4B-3) (11) S=1/50 (A1)
 【現打ち擁壁】 S=1/100 (A3)

L型擁壁 H-9800(4B-3) 配筋図⑥



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
W1a	D32	10070	205	6.23	62.736	12860.9	└
W1b	D32	10070	14	6.23	62.736	878.3	└
W2a	D19	9880	110	2.25	22.230	2445.3	└
W3a	D19	9850	36	2.25	22.163	797.9	└
W3b	D19	7380	36	2.25	16.605	597.8	└
W3c	D19	9740	36	2.25	21.915	788.9	└
W3d	D19	3730	36	2.25	8.393	302.1	└
W3e	D19	3150	36	2.25	7.088	255.2	└
W3f	D19	2000	36	2.25	4.500	162.0	└
W4a	D13	6870	18	0.995	6.836	123.0	└
W4b	D13	7870	18	0.995	7.831	141.0	└
W4c	D13	8690	18	0.995	8.647	155.6	└
W4d	D13	7690	18	0.995	7.652	137.7	└
W4e	D13	6060	18	0.995	6.030	108.5	└
W4f	D13	7060	18	0.995	7.025	126.5	└
W4g	D13	6000	18	0.995	5.970	107.5	└
W4h	D13	5000	18	0.995	4.975	89.6	└
W4i	D13	2000	36	0.995	1.990	71.6	└
W5	D13	1090	102	0.995	1.085	110.7	└
S1	D13	980	882	0.995	0.975	860.0	└
						21120.1	kg

F1a1	D32	7960	41	6.23	49.591	2033.2	└	
F1a2	D32	7960	83	6.23	49.591	4116.1	└	
F1b1	D32	7280	32	6.23	45.354	1451.3	└	
F1b2	D32	7280	31	6.23	45.354	1406.0	└	
F1b3	D32	7280	7	6.23	45.354	317.5	└	
F1b4	D32	7280	3	6.23	45.354	136.1	└	
F1c	D32	8460	6	6.23	52.706	316.2	└	
F2a1	D19	7370	21	2.25	16.583	348.2	└	
F2a2	D19	7370	42	2.25	16.583	696.5	└	
F2b1	D19	7090	17	2.25	15.953	271.2	└	
F2b2	D19	7090	16	2.25	15.953	255.2	└	
F2b3	D19	7090	4	2.25	15.953	63.8	└	
F2b4	D19	7090	2	2.25	15.953	31.9	└	
F2c	D19	8260	3	2.25	18.585	55.8	└	
F3a	D19	8060	1	2.25	18.135	18.1	└	
F3b	D19	7570	1	2.25	17.033	17.0	└	
F3c	D19	9840	1	2.25	22.140	22.1	└	
F3d	D19	5380	1	2.25	12.105	12.1	└	
F3e	D19	9740	2	2.25	21.915	43.8	└	
F3f	D19	2000	27	2.25	4.500	121.5	└	
F3g	D19	4810	25	2.25	10.823	270.6	└	
F3h	D19	7270	32	2.25	16.358	523.5	└	
F4a	D13	6870	1	0.995	6.836	6.8	└	
F4b	D13	8380	1	0.995	8.338	8.3	└	
F4c	D13	9820	2	0.995	9.771	19.5	└	
F4d	D13	5170	2	0.995	5.144	10.3	└	
F4e	D13	9740	3	0.995	9.691	29.1	└	
F4f	D13	2000	28	0.995	1.990	55.7	└	
F4g	D13	4630	25	0.995	4.607	115.2	└	
F4h	D13	7080	32	0.995	7.045	225.4	└	
S2	D13	2190	216	0.995	2.179	470.7	└	
						13468.7	kg	
						D32	23515.6	kg
						D19	8100.5	kg
						D13	2972.7	kg
						合計	34588.8	kg

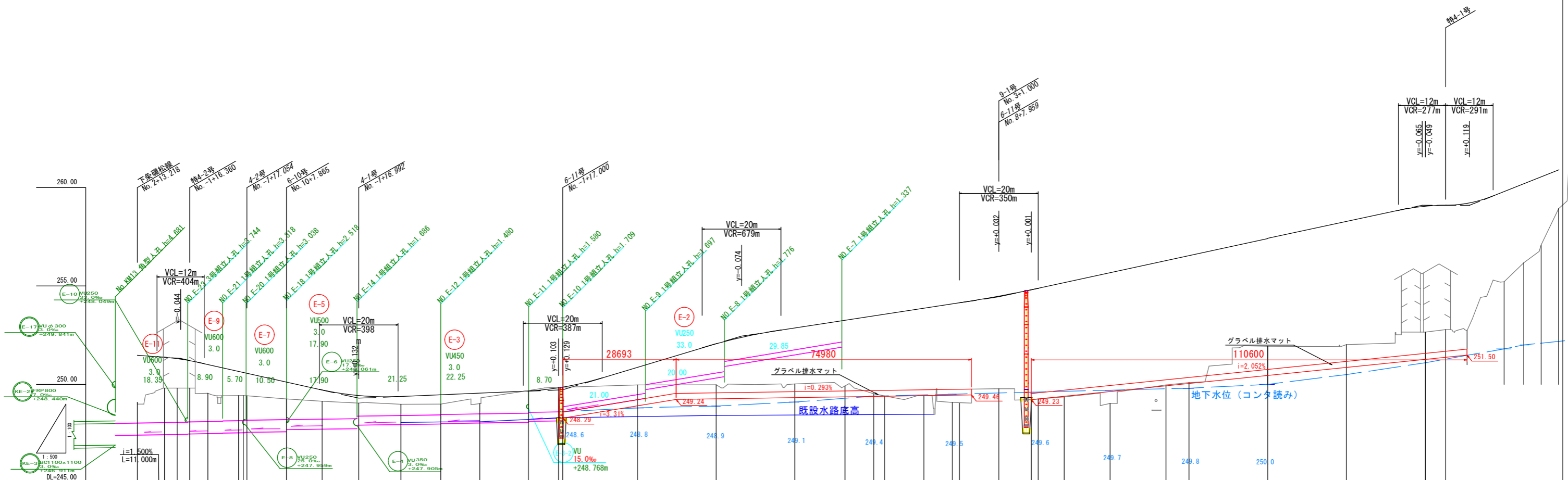
L型擁壁 H-9800(4B-3) 配筋図⑥

図面番号	2-12	縮尺	S=1/50 (A1)
工種	令和8年度 八木松駅前土地区画整理事業 八木松駅前造成工事(8-1)		
種別	宅地擁壁構造図(4B-3) (11)	番	号
路線河川名	東広島都市計画事業 八木松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八木松町飯田、原		
東 広 島 市			

区画道路縦断図(1)

6-9号(1)

V=1:100(A1) V=1:200(A3)
H=1:500(A1) H=1:1000(A3)



計画勾配	251.484		$i=4.467\%$ $L=45.202m$		249.300		$i=0.830\%$ $L=51.777m$		249.720		$i=5.999\%$ $L=45.386m$		252.453		$i=3.057\%$ $L=65.316m$		$i=5.999\%$ $L=45.386m$		254.450		$i=4.329\%$ $L=107.418m$		$i=4.329\%$ $L=107.418m$		259.100		$i=7.933\%$ $L=32.711m$		261.695										
盛土	2.40	1.56	1.49	1.39	1.23	1.15	0.86	0.58	0.38	0.40	0.47	0.54	0.01	0.90	2.08	2.40	2.85	3.96	4.15	5.01	4.70	5.58	5.81	6.64	6.32	6.50	5.46	6.25	6.39	6.37	4.59	4.01	3.47	1.97	0.19	0.51	261.695		
切土	-																																						
計画高	251.484	251.376	251.300	251.196	251.010	250.661	250.608	250.568	250.119	249.716	249.432	249.389	249.473	248.855	250.866	252.057	252.379	253.479	253.562	254.090	254.482	254.807	255.168	255.672	256.285	256.538	257.404	258.270	259.035	259.067	259.799	260.194	260.545	260.895	261.405	261.747	261.695		
地盤高	249.09	249.81	249.81	249.81	249.55	249.43	249.43	249.42	249.26	249.14	249.05	249.09	249.00	248.85	249.97	249.98	249.98	249.52	249.41	249.08	249.78	249.23	249.36	249.03	249.07	250.09	251.94	252.02	252.66	252.66	255.21	256.18	257.08	258.03	261.22	261.24	261.405		
追加距離	-6.912	0.000	3.202	4.088	11.007	18.812	20.902	30.955	40.000	49.290	60.000	70.095	80.000	92.340	100.980	120.000	140.000	182.744	200.000	200.000	211.769	220.000	228.364	240.000	254.159	260.000	280.000	300.000	320.000	325.187	344.974	349.397	353.820	360.000	363.888	366.000	366.000		
区間距離	-6.912	0.000	3.202	3.211	4.594	7.805	8.902	10.053	9.045	9.290	10.710	9.905	12.340	7.669	18.933	20.000	6.453	2.744	17.256	11.769	8.231	8.364	11.636	14.159	5.841	20.000	20.000	5.187	5.187	4.974	4.423	4.423	6.180	3.898	3.898	3.898			
測点	C71	6-9BP	BC-8	4-C68	10-C68	EC-8	C25	No.2	C64	No.3	C24	No.4	C23	No.5	No.6	No.7	+6.453	No.8	No.9	C21	No.10	C7	No.11	C20	No.12	C19	No.13	No.14	No.15	+19.187	C18	+11.187	No.17	BC-9	SP-9	EC-9	No.18	C14	No.19
曲線	<p>6-41P2 R=15.800 IA=59-37-42 IL=8.596 OL=15.811 SL=2.288</p> <p>C24 IA=23-35-46</p> <p>C23 IA=7-58-12</p> <p>C21 IA=11-05-54</p> <p>C20 IA=11-10-39</p> <p>C19 IA=11-10-42</p> <p>C18 IA=9-09-04</p> <p>6-91P1 R=30.000 IA=16-53-47 IL=4.456 OL=8.847 SL=2.229</p>																																						
片勾配補付図																																							
拡幅	-																																						

※道路縦断計画はH29年度成果による

図面番号	3-1-1	縮尺	V=1/100(A1) H=1/500(A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	区画道路縦断図(1) 6-9号(1)		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		

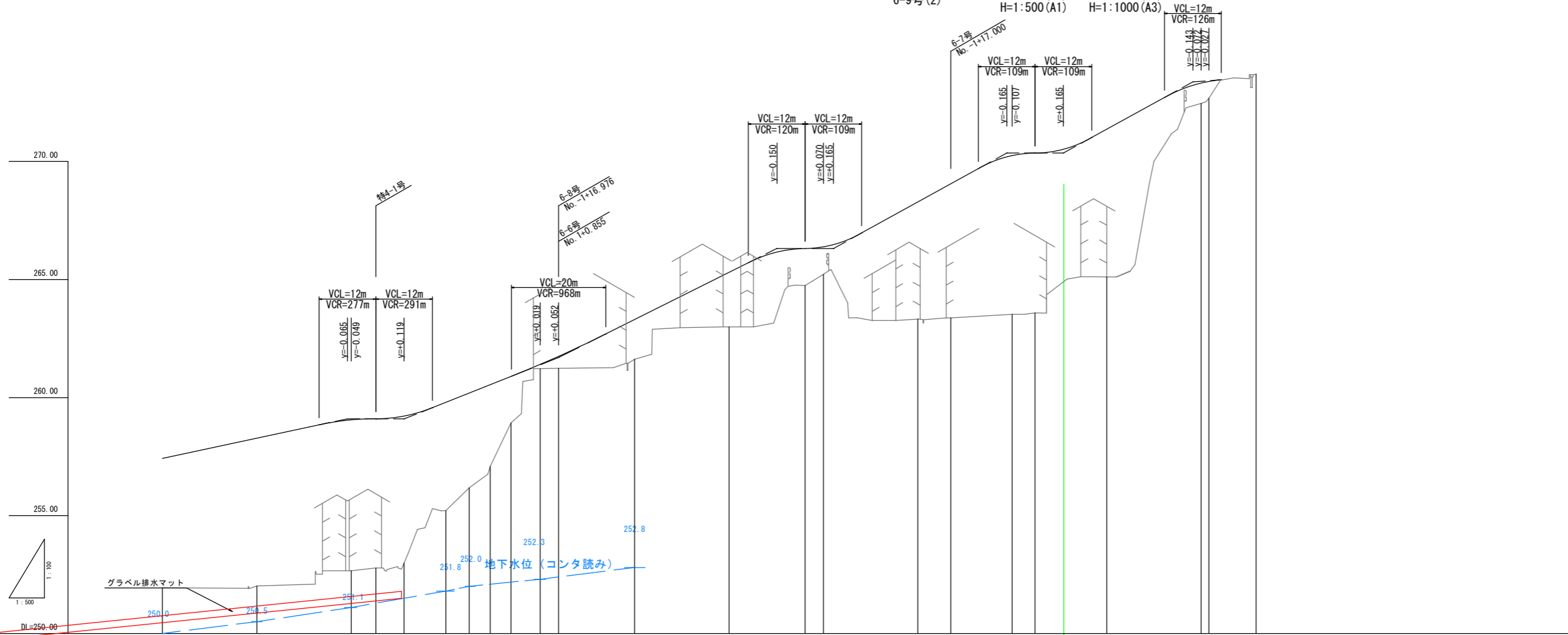
東 広 島 市

区画道路縦断面図(2)

6-9号(2)

V=1:100(A1)
H=1:500(A1)

V=1:200(A3)
H=1:1000(A3)



計画勾配	i=4.329% L=107.418m		i=7.933% L=32.711m		i=10.000% L=46.190m		i=11.000% L=36.746m		i=11.000% L=27.436m																				
盛土	5.46	6.25	6.39	6.37	4.59	4.01	3.47	1.97	0.19	0.51	1.69	2.32	2.59	1.56	1.16	4.96	5.68	6.72	6.77	5.61	6.25	0.87	0.87	0.00					
切土																													
計画高	257.404	258.270	259.095	259.051	259.100	259.219	259.799	260.194	260.545	260.895	261.405	261.747	263.305	265.305	266.164	266.314	266.384	266.479	268.284	269.053	270.191	270.249	270.356	270.521	271.364	273.231	273.328	273.388	273.464
地盤高	251.94	252.02	252.66	252.78	252.78	252.78	255.21	256.18	257.08	258.93	261.22	261.24	261.62	262.99	263.57	264.75	265.22	265.22	263.32	263.37	263.53	263.53	263.59	264.91	265.11	272.37	272.46	272.68	273.464
追加距離	280.000	300.000	320.000	325.187	325.187	331.187	340.000	344.974	349.397	353.820	360.000	363.898	380.000	400.000	410.088	416.088	420.000	420.000	440.000	446.992	458.834	460.000	464.834	470.834	480.000	488.270	500.000	501.649	504.270
区間距離	20.000	20.000	20.000	5.187	5.187	331.187	14.813	4.974	4.423	4.423	6.180	3.898	16.102	20.000	10.088	6.088	3.912	20.000	6.992	18.834	1.166	4.834	6.000	9.166	18.270	1.730	1.649	2.612	
測点	No.14	No.15	+19.187 No.16	0.18	+11.187	No.17	BC-9	SP-9	EC-9	No.18	0.14	No.19	No.20	+10.088	0.13	No.21	+2.088	No.22	0.10	+18.834 No.23	0.9	+10.834	No.24	+18.270 No.25	0.25	+4.270 (EP)	6-9EP		
曲線	C18 IA=90-00-04		C18 IA=90-00-04		C18 IA=90-00-04		6-91P1 R=30.000 IA=16-53-47 TL=4.456 C=6.347 SL=0.329		C13 IA=97-13-56		C13 IA=97-13-56		C13 IA=97-13-56		C9 IA=93-05-41		C9 IA=93-05-41		C9 IA=93-05-41		C9 IA=93-05-41		C9 IA=93-05-41		C9 IA=93-05-41		C9 IA=93-05-41		
片勾配 摺付け図																													
拡幅																													

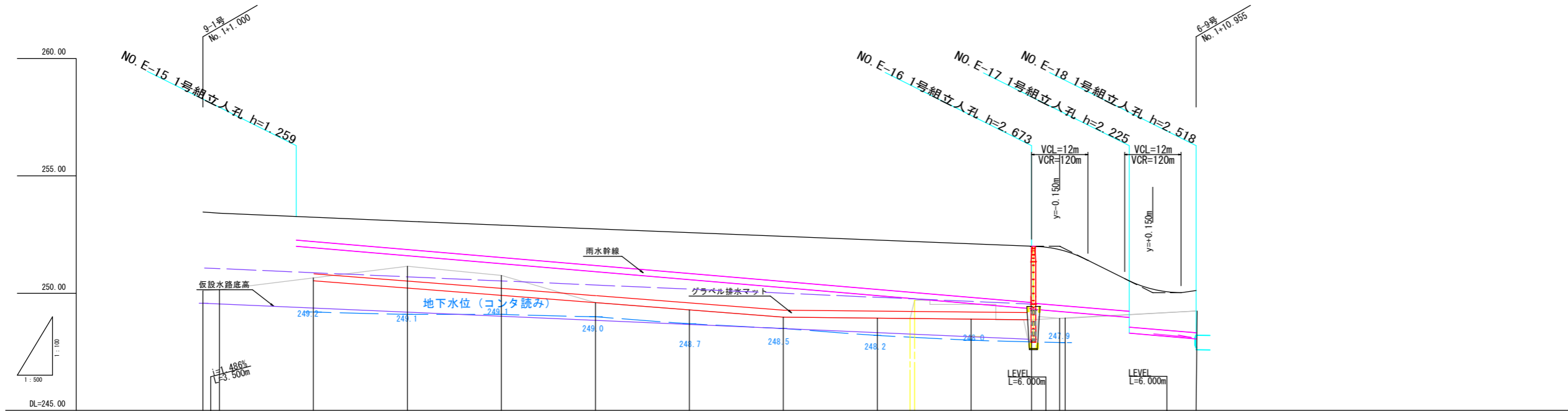
※道路縦断面計画はH29年度成果による

図面番号	3-1-2	縮尺	V=1/100(A1) H=1/500(A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	区画道路縦断面図(2) 6-9号(2)		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

区画道路縦断図(14)

6-10号

V=1:100 (A1) V=1:200 (A3)
H=1:500 (A1) H=1:1000 (A3)



計画勾配																		
盛土	3.35	3.25	2.57	1.91	2.01	2.14	3.14	3.29	3.44	3.32	3.30	3.13	2.92	2.83	1.03	0.95	0.81	0.88
切土																		
計画高	253.468	253.406	253.235	253.064	253.043	252.903	252.743	252.583	252.423	252.263	252.103	252.000	251.850	251.787	250.173	250.113	250.023	250.119
地盤高	250.11	250.16	250.66	251.15	251.50	250.76	249.60	249.29	248.98	248.94	248.90	248.87	248.93	248.95	249.14	249.16	249.21	249.24
追加距離	-3.500	0.000	20.000	40.000	42.475	60.000	80.000	100.000	120.000	140.000	160.000	172.850	178.850	180.000	198.655	200.000	204.655	207.866
区間距離	-3.500	0.000	20.000	20.000	2.475	17.525	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	12.850	6.000	1.150	18.655	1.345	4.655	3.211
測点	C6	6-10BP	No.1	No.2	-2.475	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	(C26) +12.850	+18.850	No.9	+18.655	No.10	6-10EP	+7.866
曲線																		
片勾配 措付図																		
拡幅																		

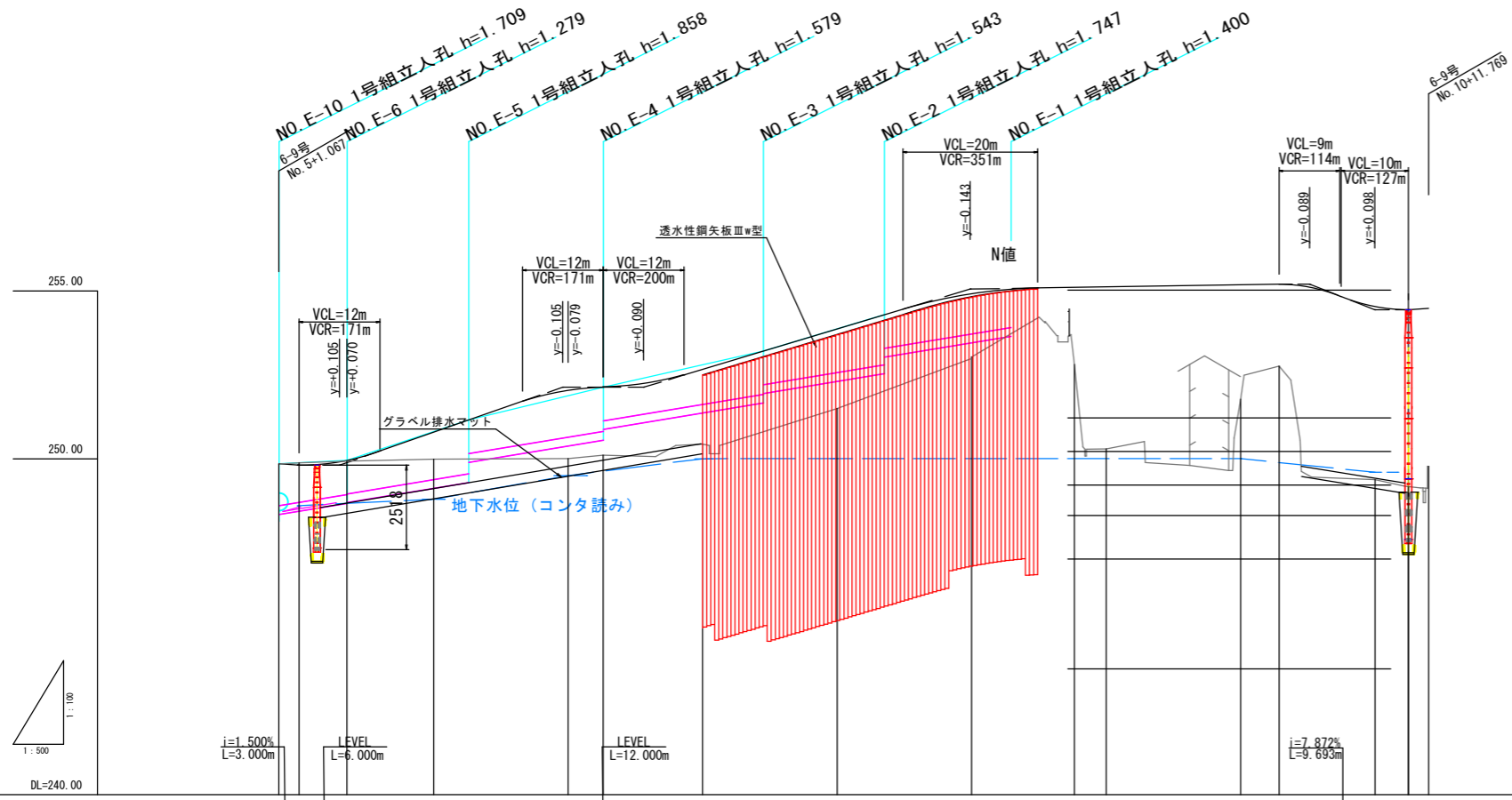
※道路縦断計画はH29年度成果による

図面番号	3-2	縮尺	V=1/100 (A1) H=1/500 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	区画道路縦断図(14) 6-10号		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

区画道路縦断面図(15)

6-11号

V=1:100 (A1) V=1:200 (A3)
H=1:500 (A1) H=1:1000 (A3)



計画勾配																	
盛土			0.03	0.80	2.02	2.03	1.83	2.23	2.37	1.95	2.30	3.40	2.44	5.62	5.15	5.26	4.70
切土	0.10	0.18	0.01														
計画高	249.859	249.814	249.919	250.794	252.034	252.060	252.139	252.229	252.667	254.915	255.106	255.182	255.200	255.111	254.535	254.437	254.482
地盤高	249.85	249.88	249.93	249.99	250.01	250.01	250.11	250.40	250.44	252.67	252.81	251.78	252.76	249.61	249.39	249.18	249.78
追加距離	-3.000	0.000	6.000	20.000	38.215	40.000	45.215	51.215	60.000	69.701	115.275	140.000	145.766	150.266	159.959	164.959	167.959
区間距離	-3.000	0.000	6.000	12.891	19.215	25.215	31.215	37.215	43.215	53.916	69.191	89.191	104.957	120.223	136.182	152.141	168.100
測点	C22	6-11EP	6-11EP	No. 1	+19.215	+19.215	C30	+11.215	No. 3	C29	C28	No. 7	C27	+10.266	+19.959	6-11EP	C7
曲線																	

※道路縦断面計画はH29年度成果による

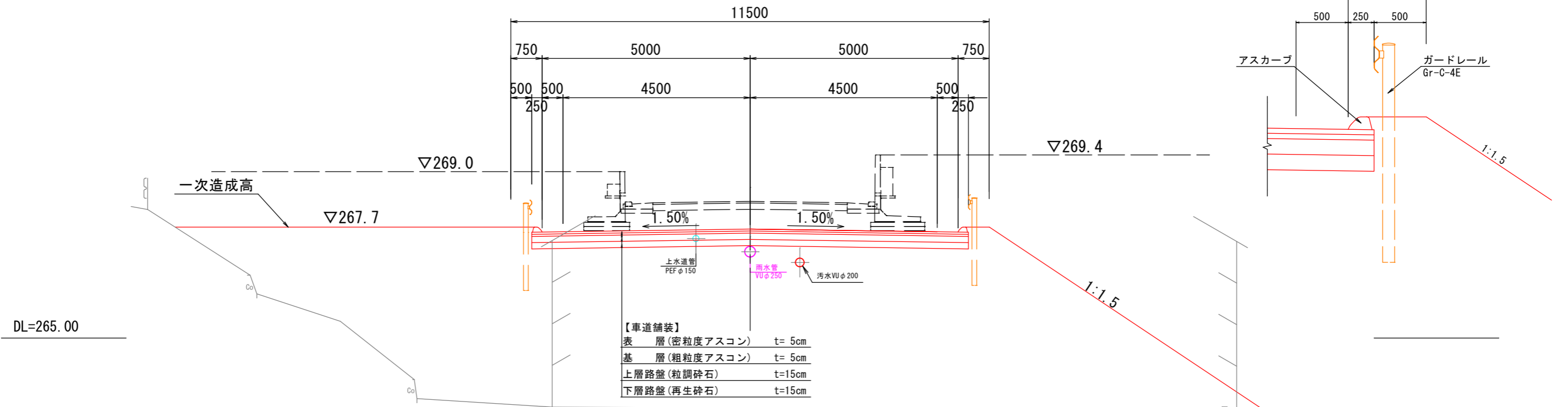
図面番号	3-3	縮尺	V=1/100 (A1) H=1/500 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	区画道路縦断面図(15) 6-11号		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		

東 広 島 市

仮設道路 標準断面図

S=1: 50 (A1)
S=1: 100 (A3)

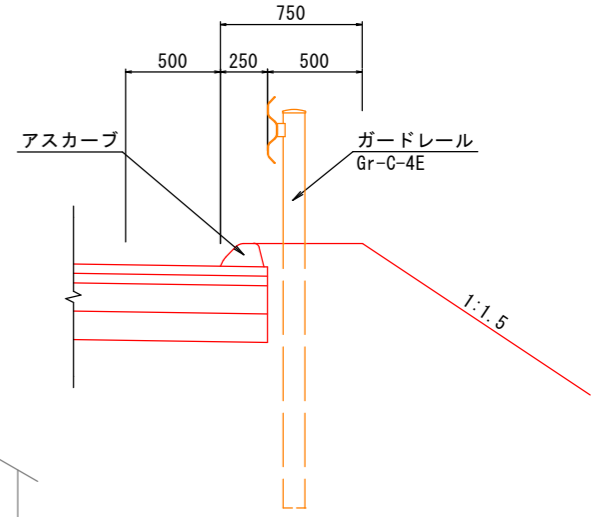
6-9号 No. 22付近



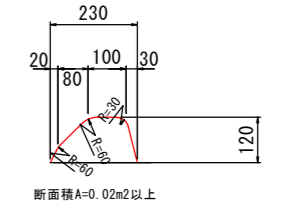
【車道舗装】

表層 (密粒度アスコン)	t= 5cm
基層 (粗粒度アスコン)	t= 5cm
上層路盤 (粒調碎石)	t=15cm
下層路盤 (再生碎石)	t=15cm

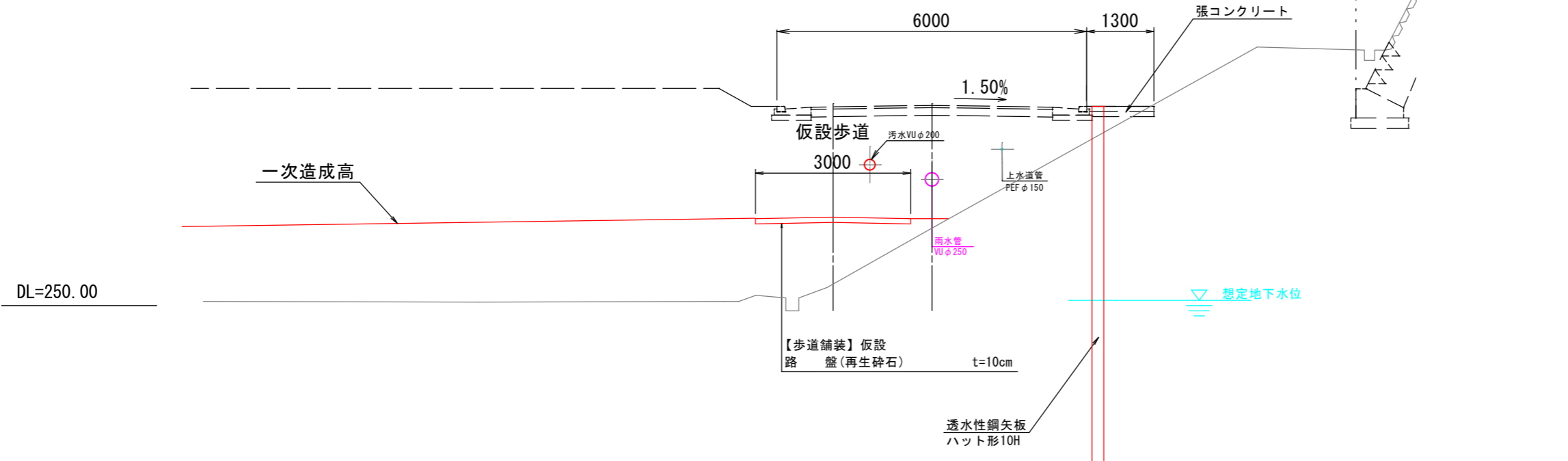
路肩形状詳細図



アスカープ詳細図



6-11号 No. 4付近 (歩行者専用仮設通路)



【歩道舗装】仮設

路盤 (再生砕石)	t=10cm
-----------	--------

図面番号	3-4-1	縮尺	S=1: 50 (A1) S=1: 100 (A3)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	仮設道路 標準断面図	番号	
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

区画道路横断図 (26)

6-9号 (6)

S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

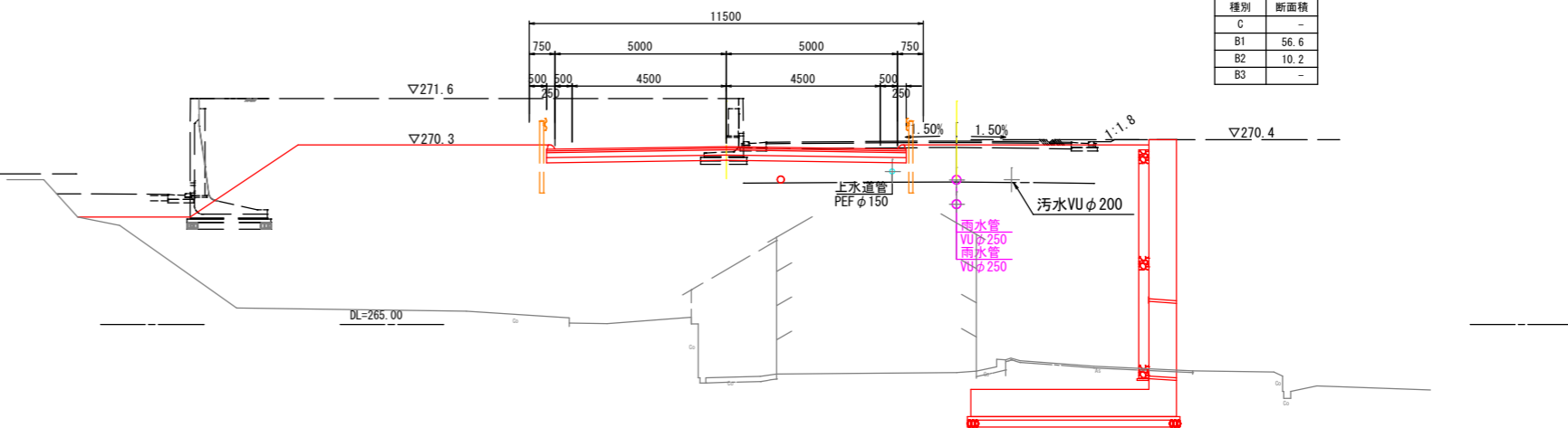
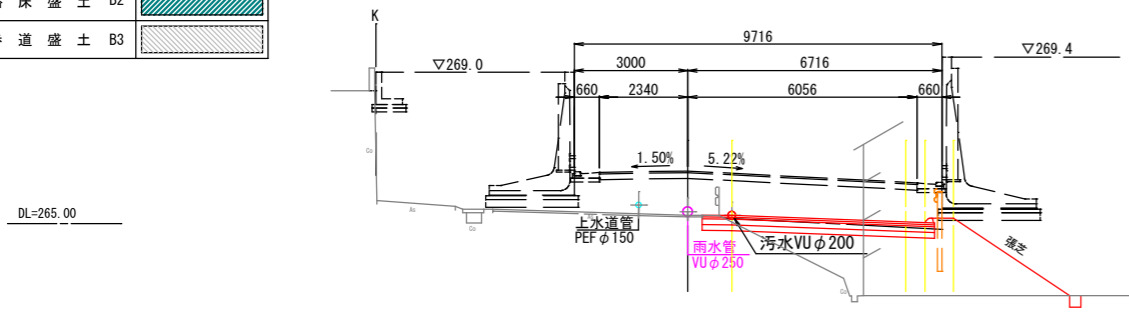
D=15.166
C9
GH=263.59
FH=270.356

凡	例
掘削(土砂) C	
路体盛土 B1	
路床盛土 B2	
歩道盛土 B3	

D=20.000
No. 21
GH=265.22
FH=266.384

種別	断面積
C	-
B1	7.0
B2	9.5
B3	-
L1	3.7

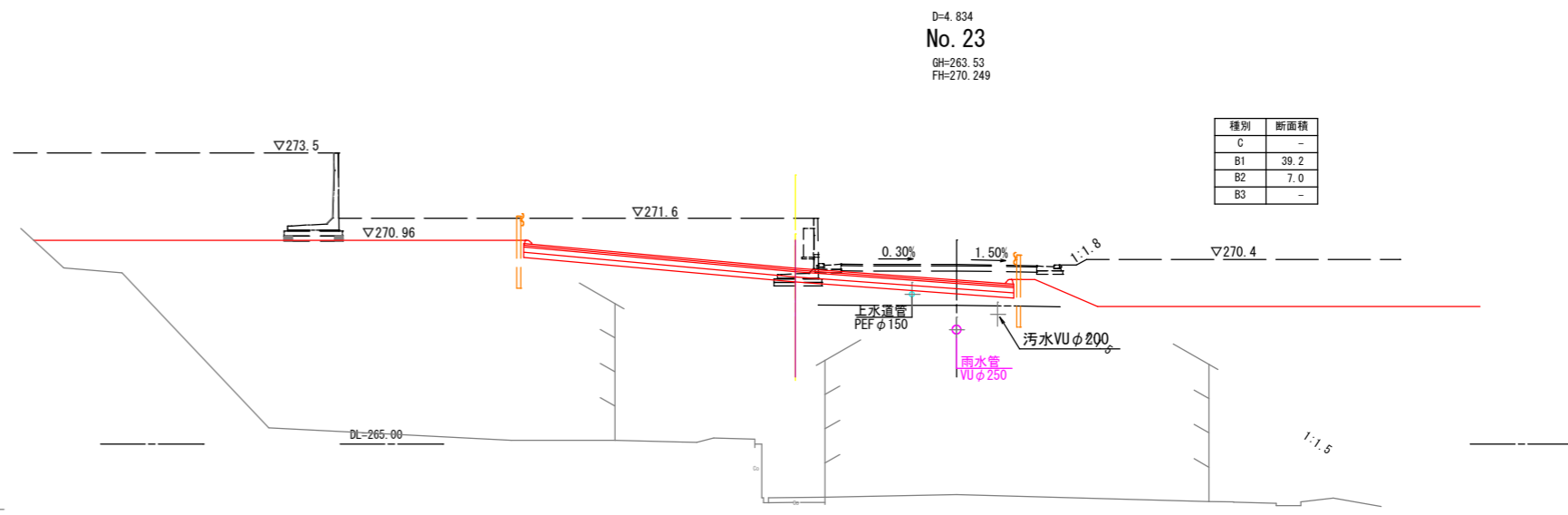
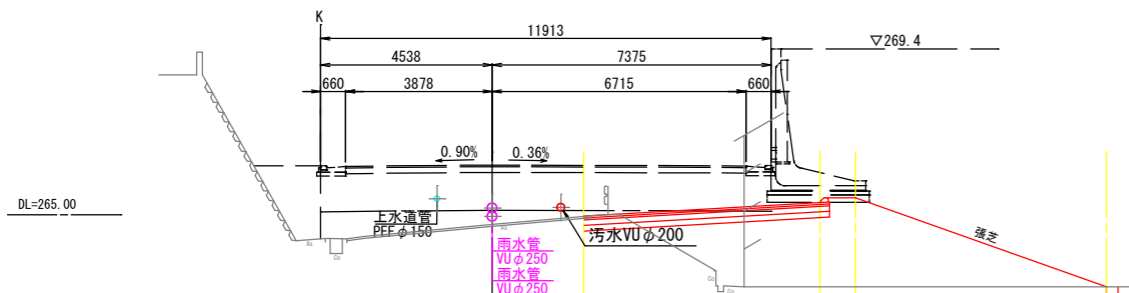
種別	断面積
C	-
B1	56.6
B2	10.2
B3	-



D=3.912
C13
GH=264.75
FH=266.314

種別	断面積
C	-
B1	-
B2	-
B3	-

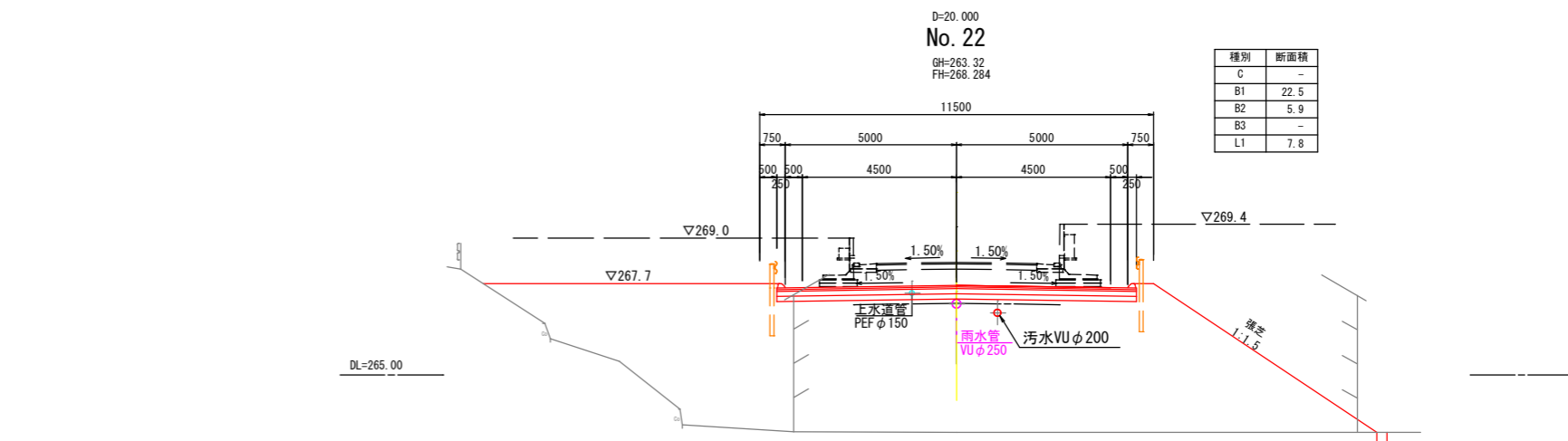
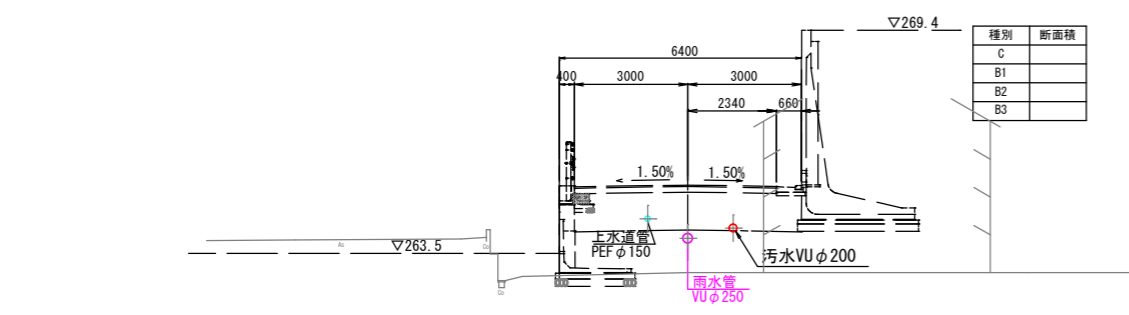
種別	断面積
C	-
B1	39.2
B2	7.0
B3	-



D=16.088
No. 20
GH=262.99
FH=265.305

種別	断面積
C	-
B1	-
B2	-
B3	-

種別	断面積
C	-
B1	22.5
B2	5.9
B3	-
L1	7.8



図面番号	3-4-2	縮尺	S=1/100 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅造成工事 (8-1)		
種別	区画道路横断図 (26)		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

区画道路横断図(27)

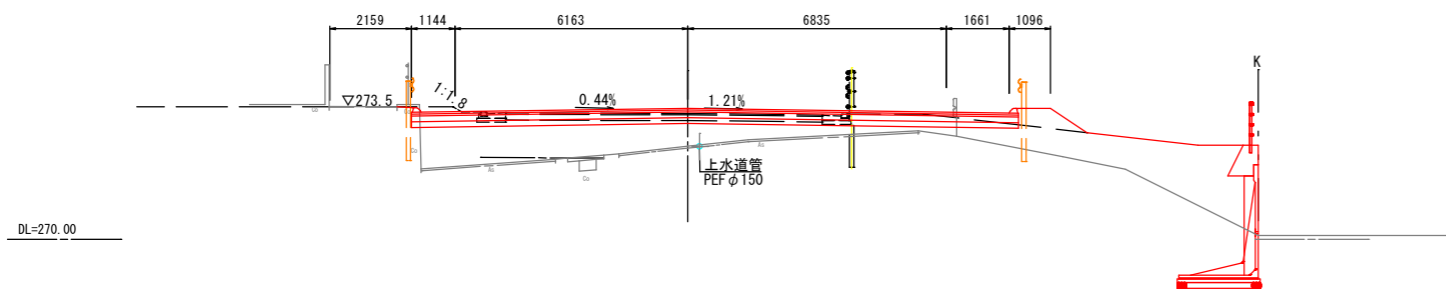
6-9号(7)

S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

凡	例
掘削(土砂) C	
路体盛土 B1	
路床盛土 B2	
歩道盛土 B3	

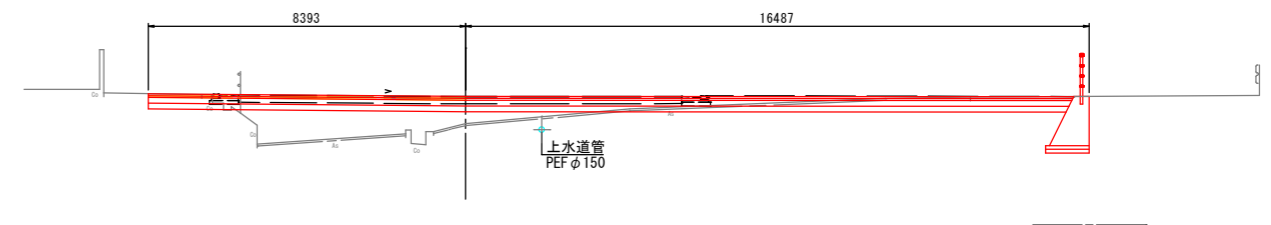
D=1.649
No. 25
GH=272.46
FH=273.328

種別	断面積
C	-
B1	0.5
B2	16.6
B3	0.6



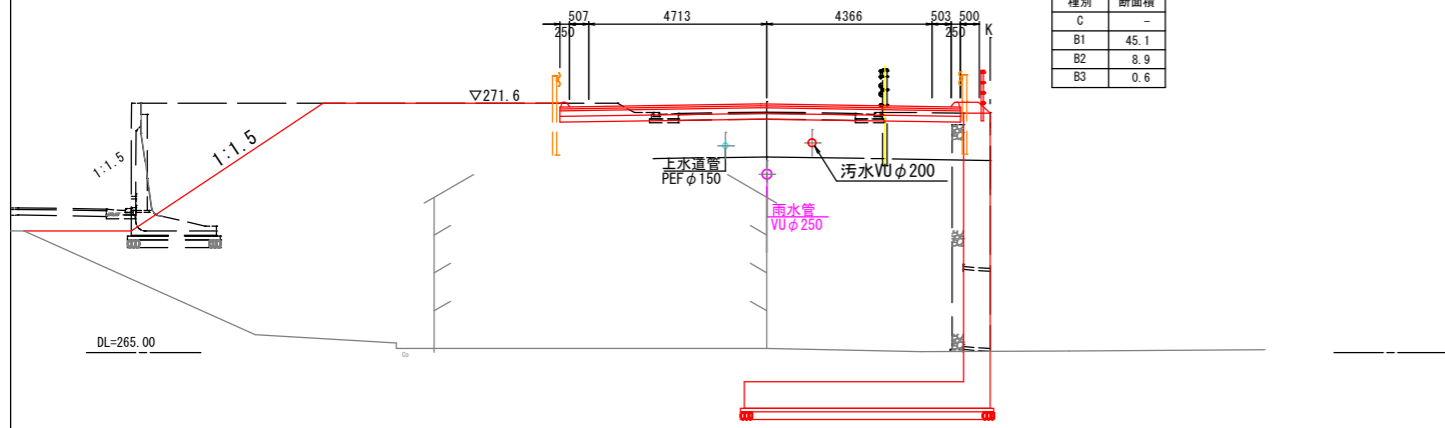
C8
GH=272.68
FH=273.398

種別	断面積
C	-
B1	-
B2	7.6
B3	-



D=20.000
No. 24
GH=265.11
FH=271.364

種別	断面積
C	-
B1	45.1
B2	8.9
B3	0.6



図面番号	3-4-3	縮尺	S=1/100 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	区画道路横断図(27)	番号	
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

区画道路横断図

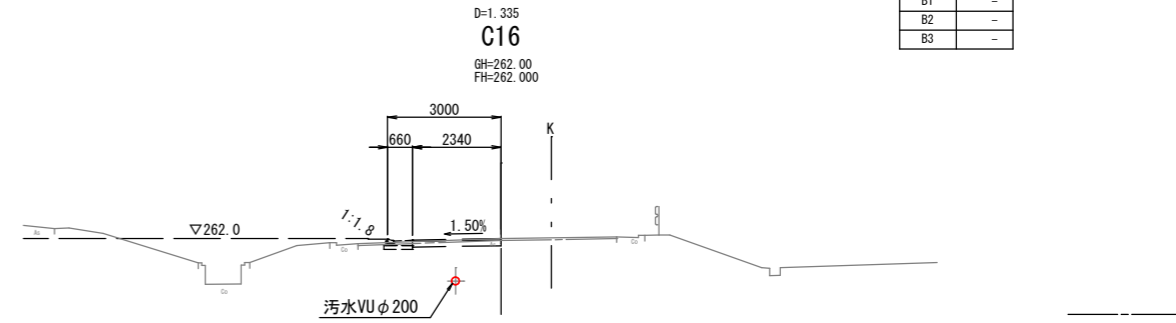
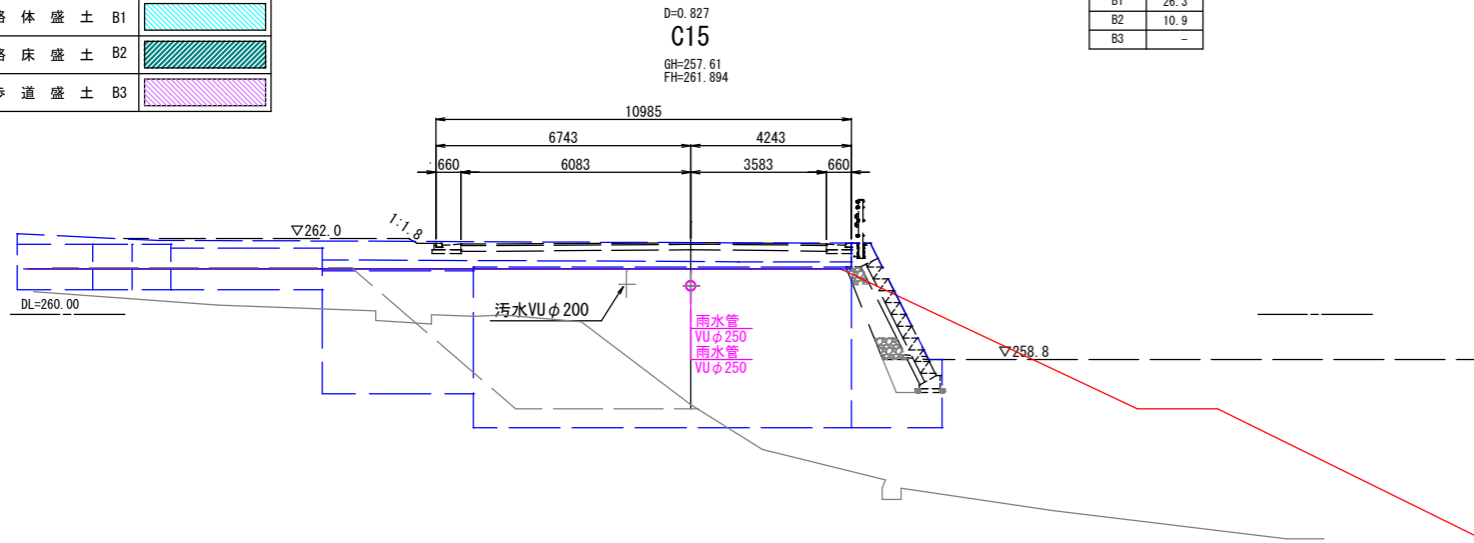
6-8号

S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

凡	例
掘削(土砂) C	
路体盛土 B1	
路床盛土 B2	
歩道盛土 B3	

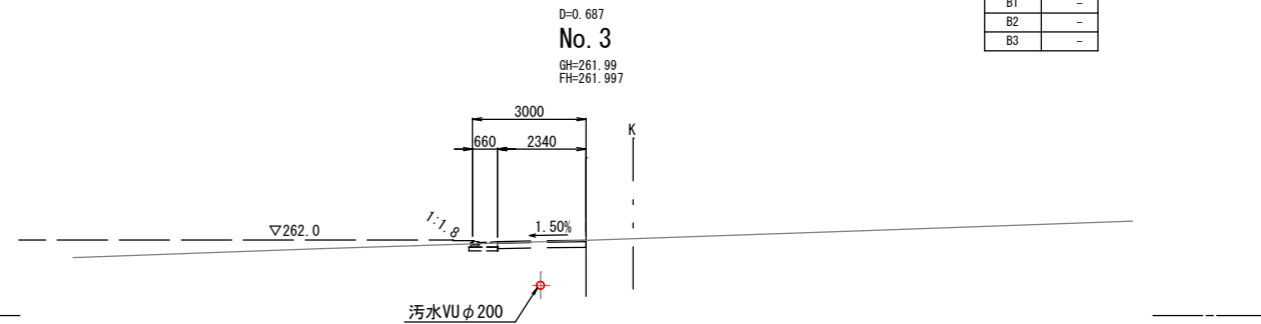
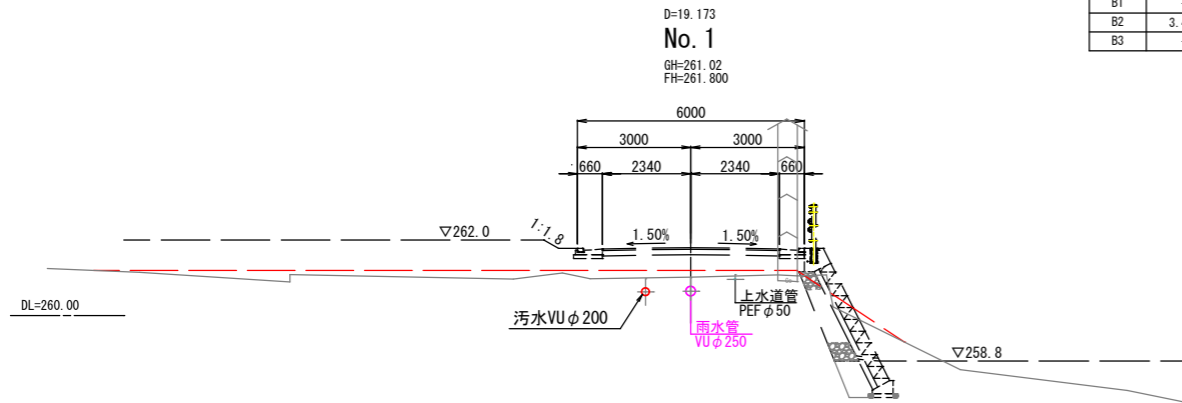
種別	断面積
C	-
B1	26.3
B2	10.9
B3	-

種別	断面積
C	0.4
B1	-
B2	-
B3	-



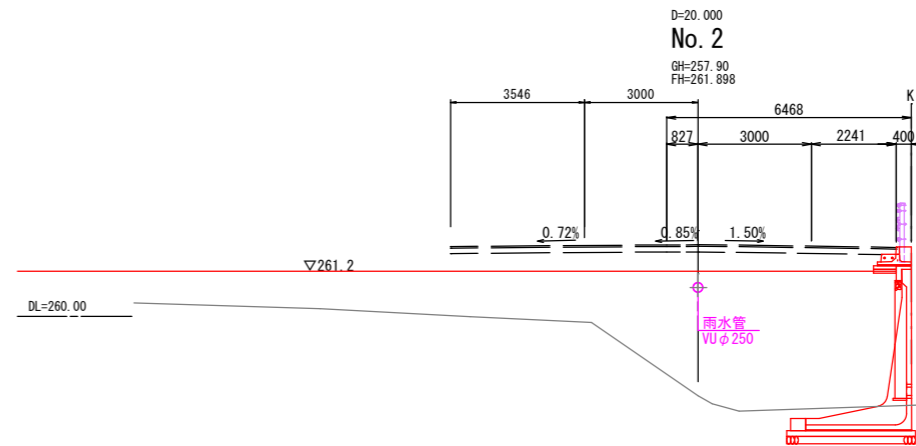
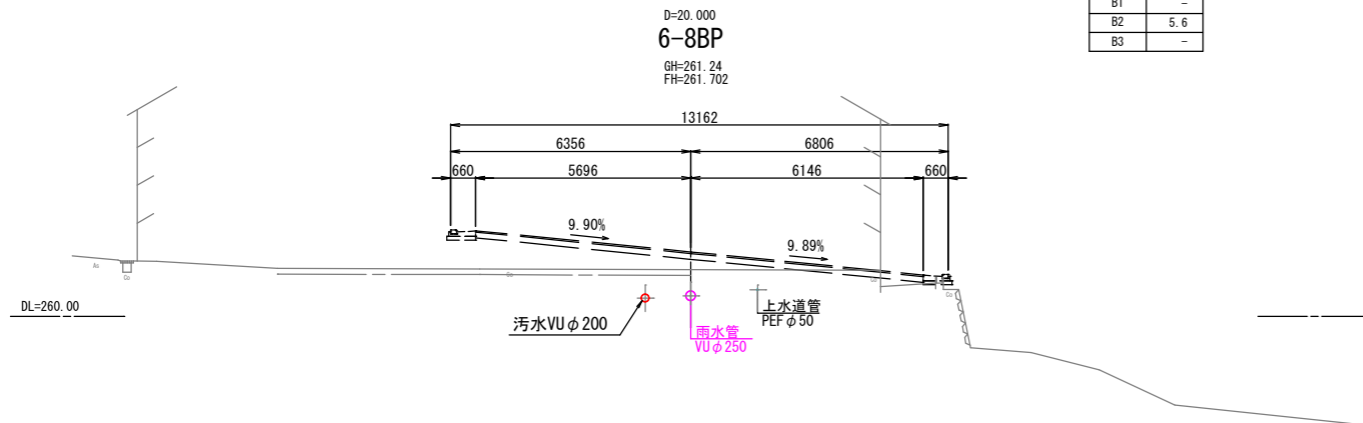
種別	断面積
C	-
B1	-
B2	3.4
B3	-

種別	断面積
C	0.5
B1	-
B2	-
B3	-



種別	断面積
C	-
B1	-
B2	5.6
B3	-

種別	断面積
C	-
B1	17.9
B2	5.9
B3	-

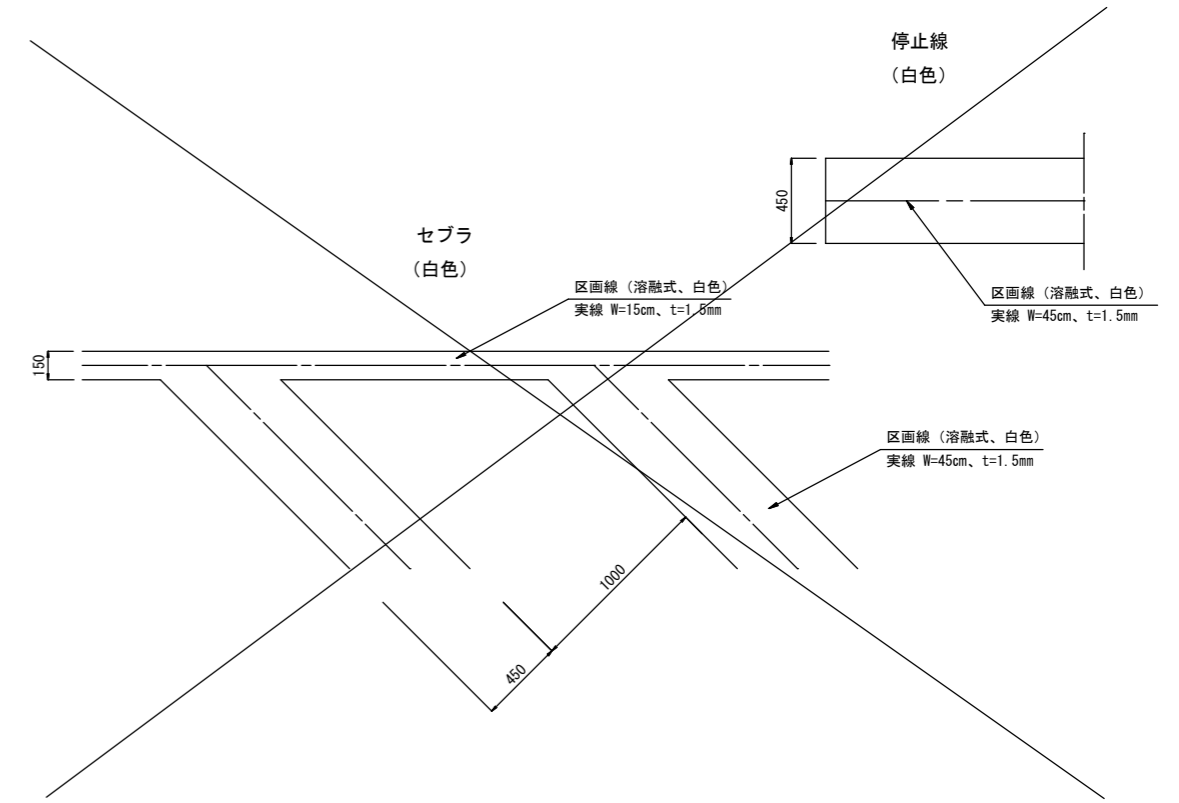
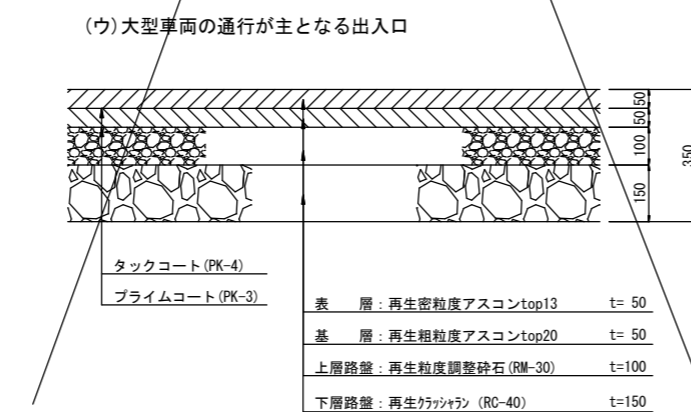
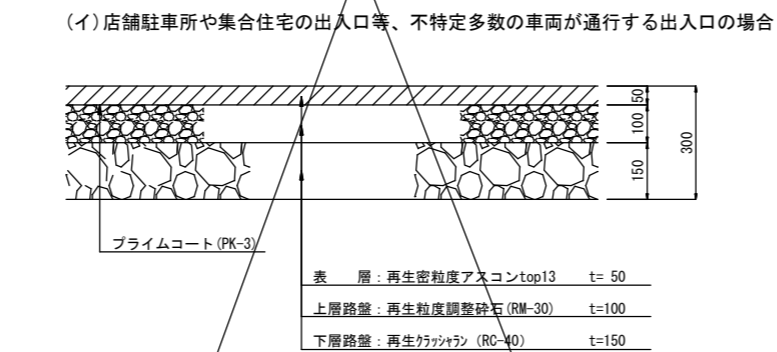
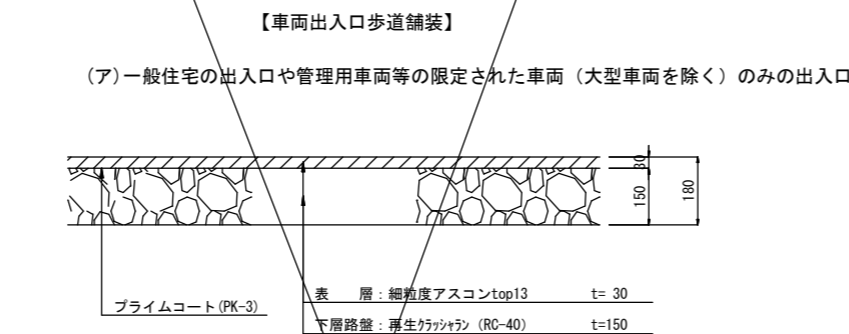
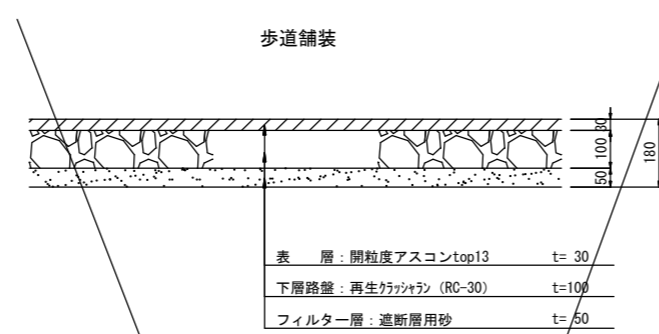
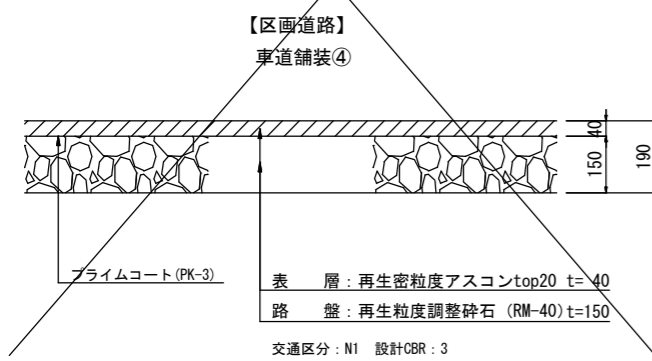
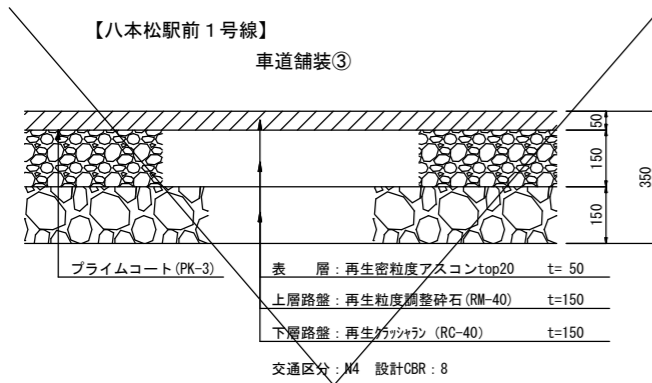
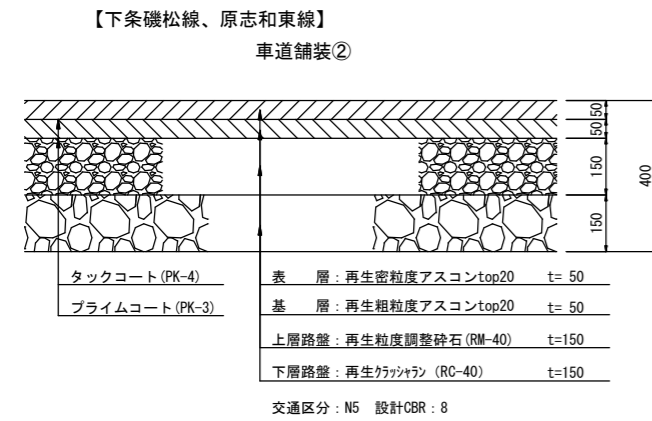
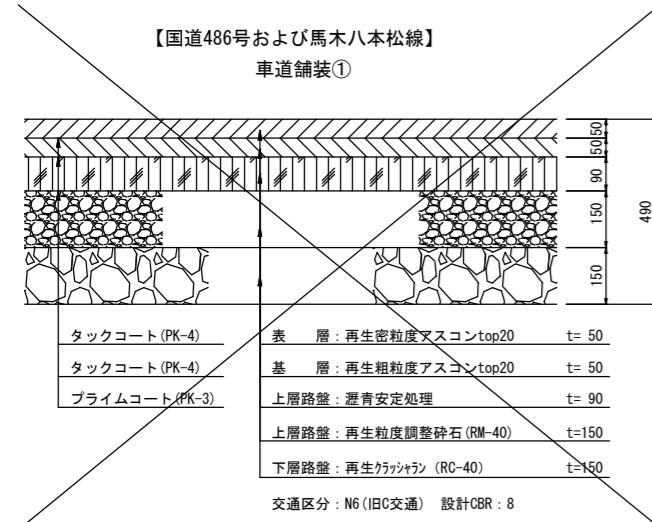


図面番号	3-4-4	縮尺	S=1/100 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前土地区画造成工事 (8-1)		
種別	区画道路横断図	番号	
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

道路施設構造図(6)

舗装構成 S=1/10(A1)
S=1/20(A3)

区画線 S=1/20(A1)
S=1/40(A3)



図面番号	3-4-5	縮尺	図示
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	道路施設構造図(6)		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

区画道路横断図(28)

6-10号(1)

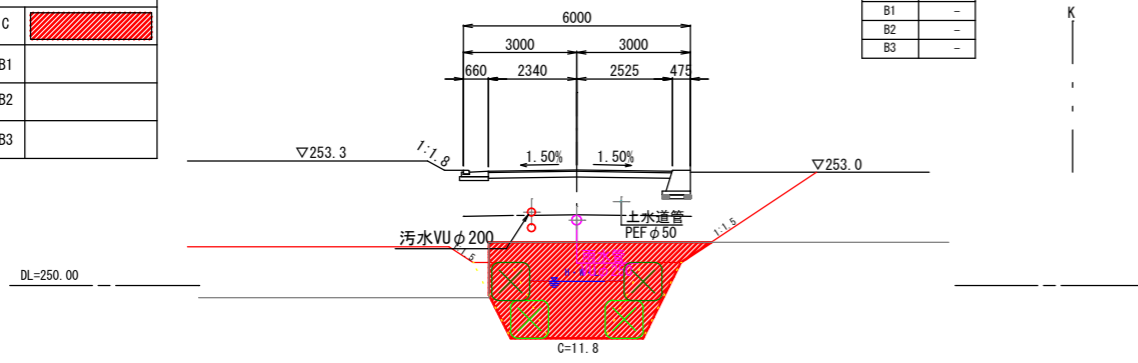
S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

凡	例
掘削(土砂)	C
路体盛土	B1
路床盛土	B2
歩道盛土	B3

D=20.000
NO. 2

⑧=251.15
⑨=253.09

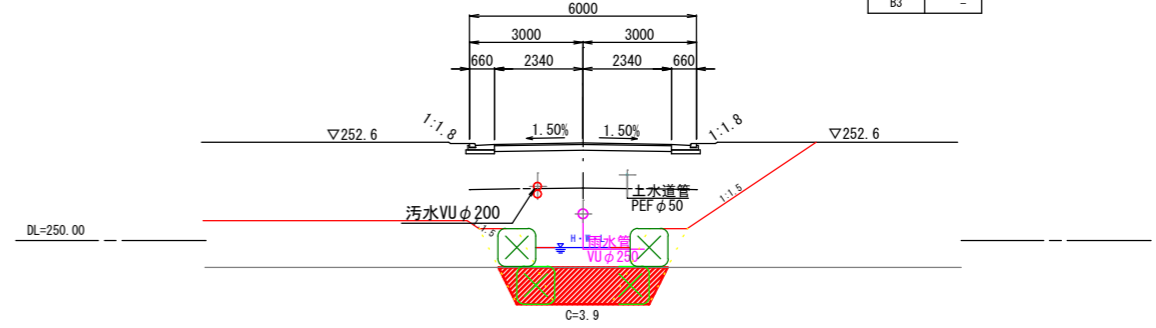
種別	断面積
C	11.8
B1	-
B2	-
B3	-



D=20.000
NO. 5

⑧=249.32
⑨=252.38

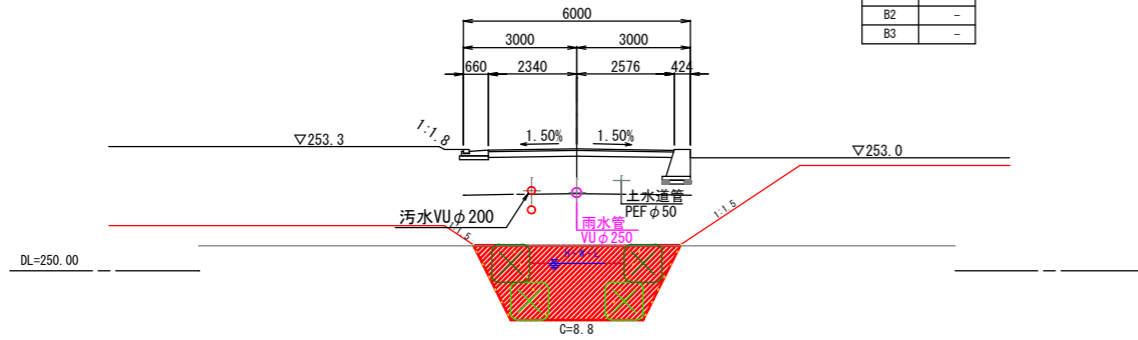
種別	断面積
C	3.9
B1	-
B2	-
B3	-



D=20.000
NO. 1

⑧=250.66
⑨=253.23

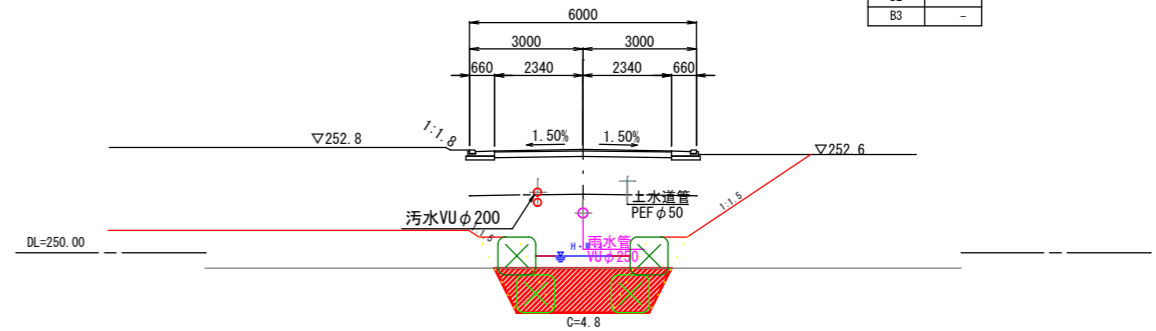
種別	断面積
C	8.8
B1	-
B2	-
B3	-



D=20.000
NO. 4

⑧=249.80
⑨=252.14

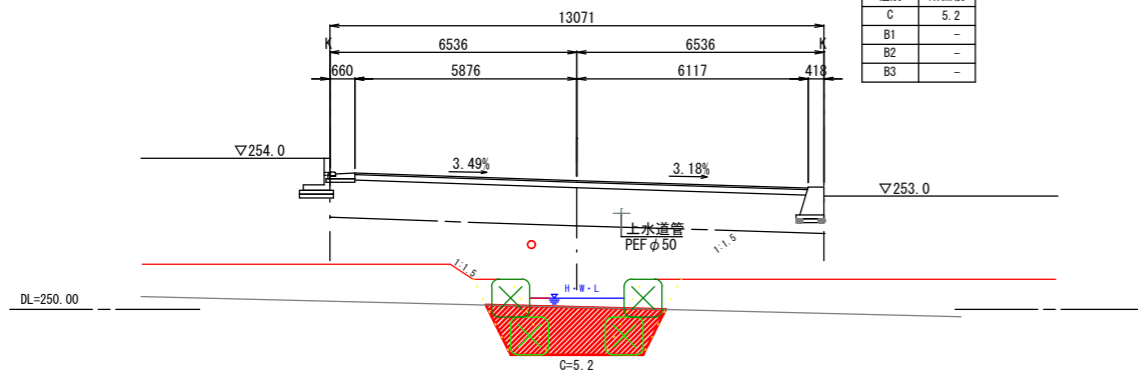
種別	断面積
C	4.8
B1	-
B2	-
B3	-



D=20.000
6-10BP

⑧=250.14
⑨=253.40

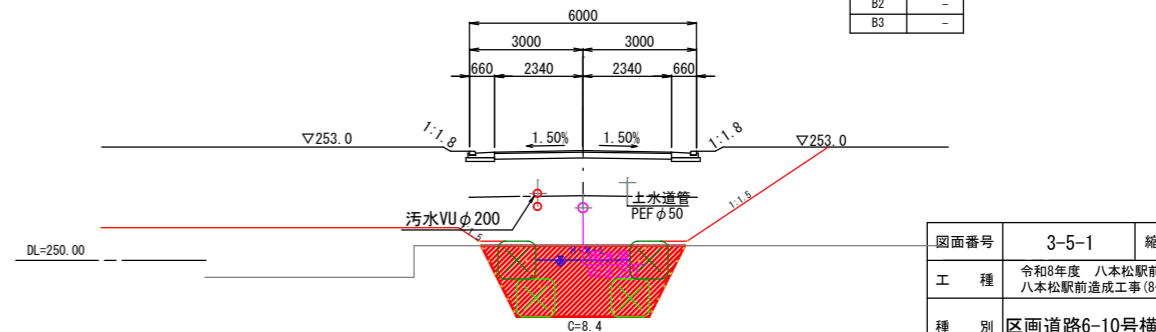
種別	断面積
C	5.2
B1	-
B2	-
B3	-



D=20.000
NO. 3

⑧=250.31
⑨=252.90

種別	断面積
C	8.4
B1	-
B2	-
B3	-



図面番号	3-5-1	縮尺	S=1/100(A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	区画道路6-10号横断図(1)		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

区画道路横断図(29)

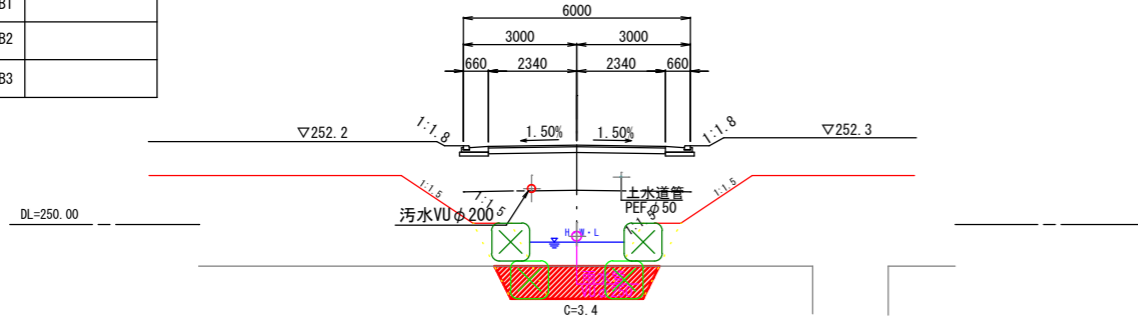
6-10号(2)

S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

凡 例	
掘削(土砂) C	
路体盛土 B1	
路床盛土 B2	
歩道盛土 B3	

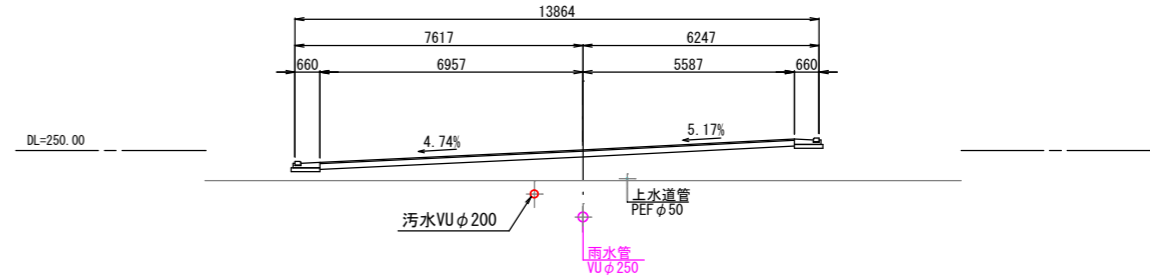
D=20.000
NO. 8
⑧=248.90
⑨=252.100

種別	断面積
C	3.4
B1	-
B2	-
B3	-



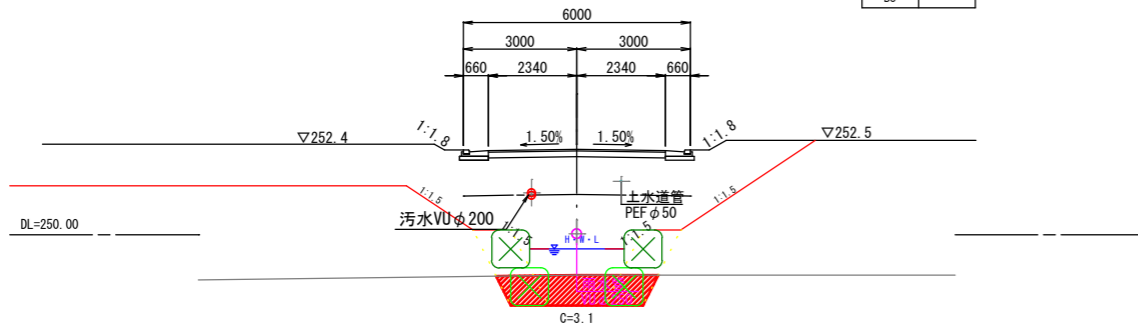
6-10EP
⑧=249.21
⑨=250.023

種別	断面積
C	-
B1	-
B2	8.2
B3	-



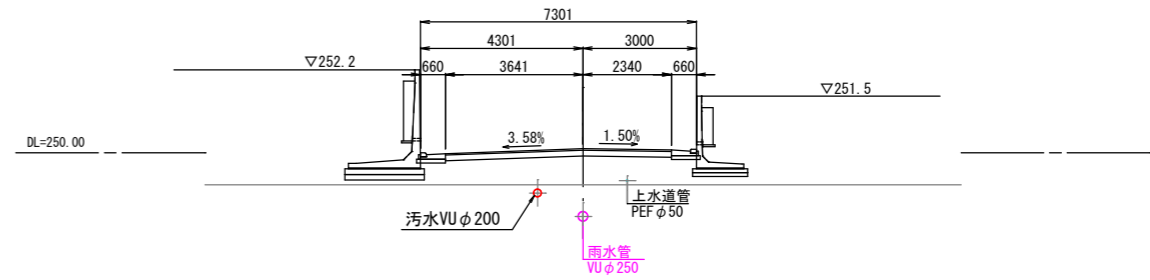
D=20.000
NO. 7
⑧=248.94
⑨=252.250

種別	断面積
C	3.1
B1	-
B2	-
B3	-



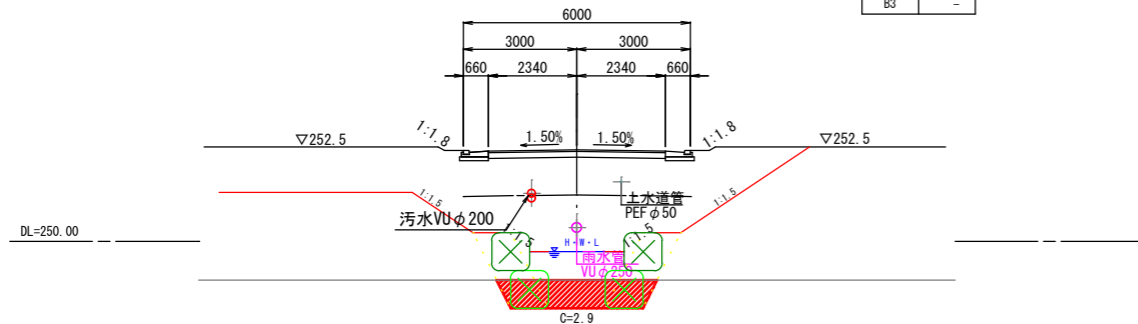
D=4.655
NO. 10
⑧=249.16
⑨=250.113

種別	断面積
C	-
B1	-
B2	5.4
B3	-



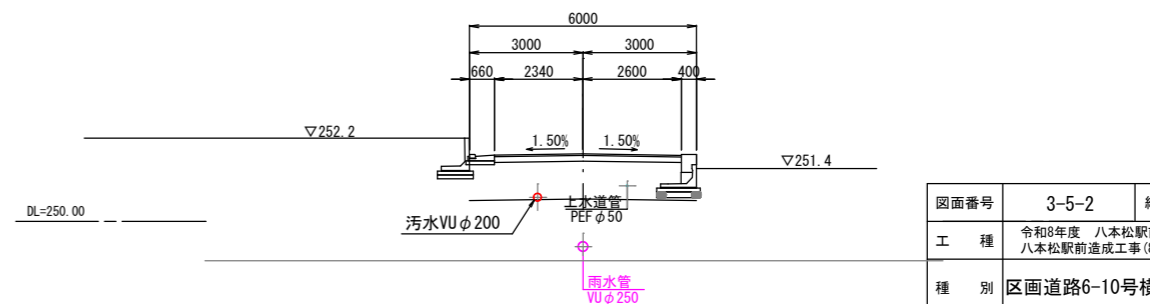
D=20.000
No. 6
⑧=248.98
⑨=252.420

種別	断面積
C	2.9
B1	-
B2	-
B3	-



D=20.000
NO. 9
⑧=248.95
⑨=251.370

種別	断面積
C	-
B1	9.7
B2	6.0
B3	-

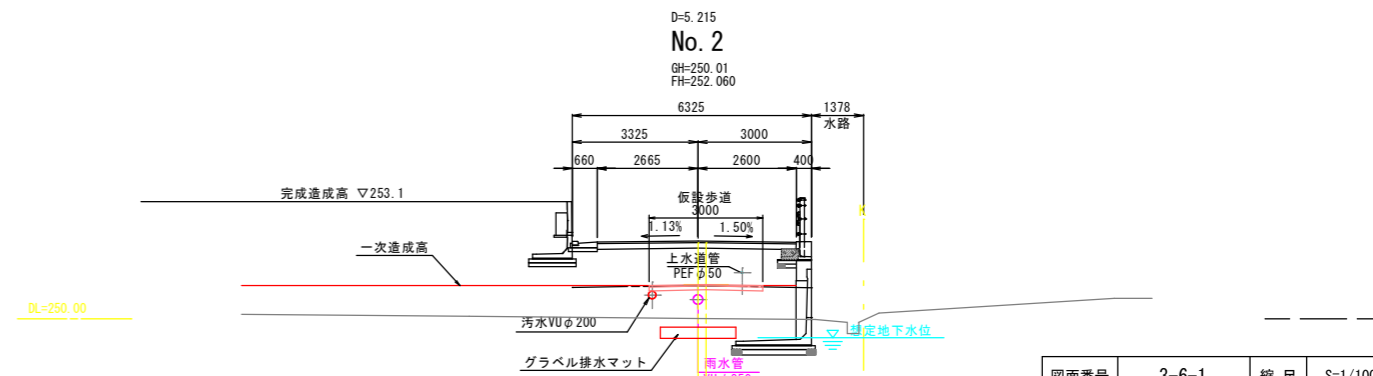
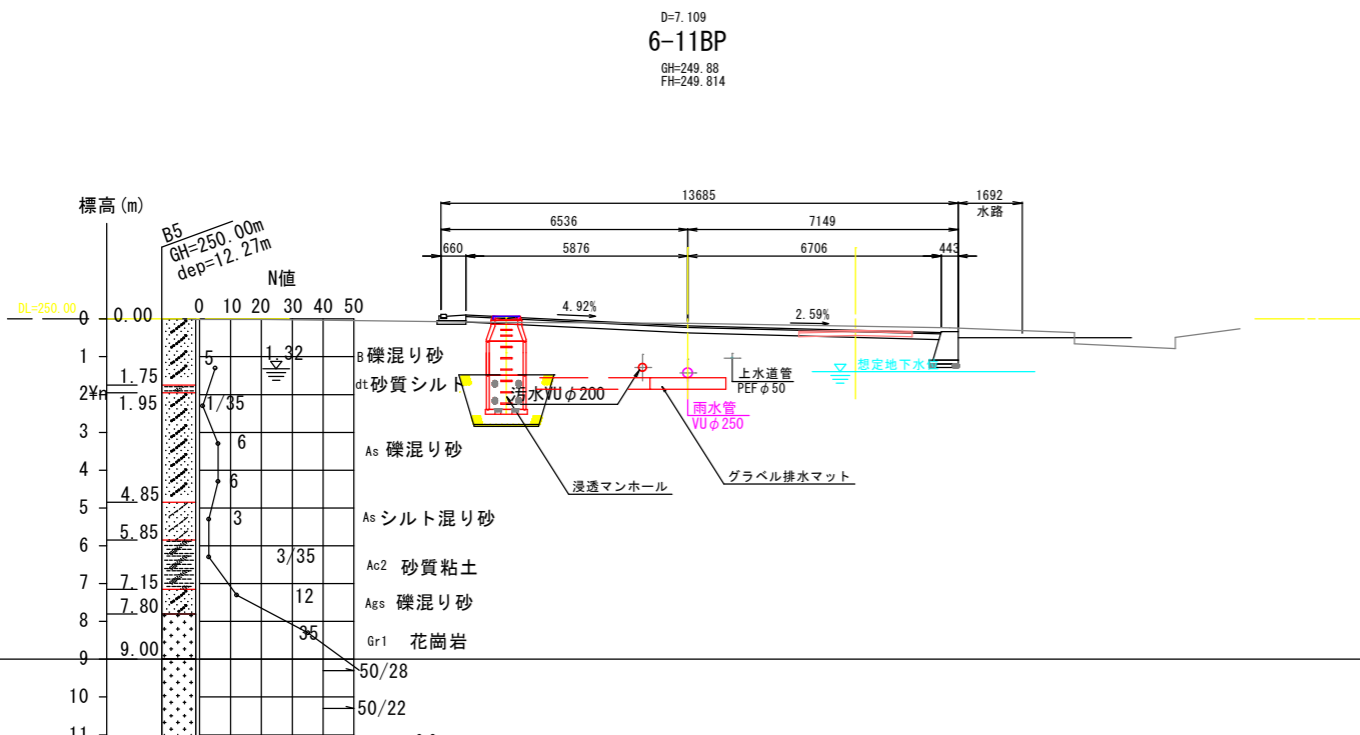
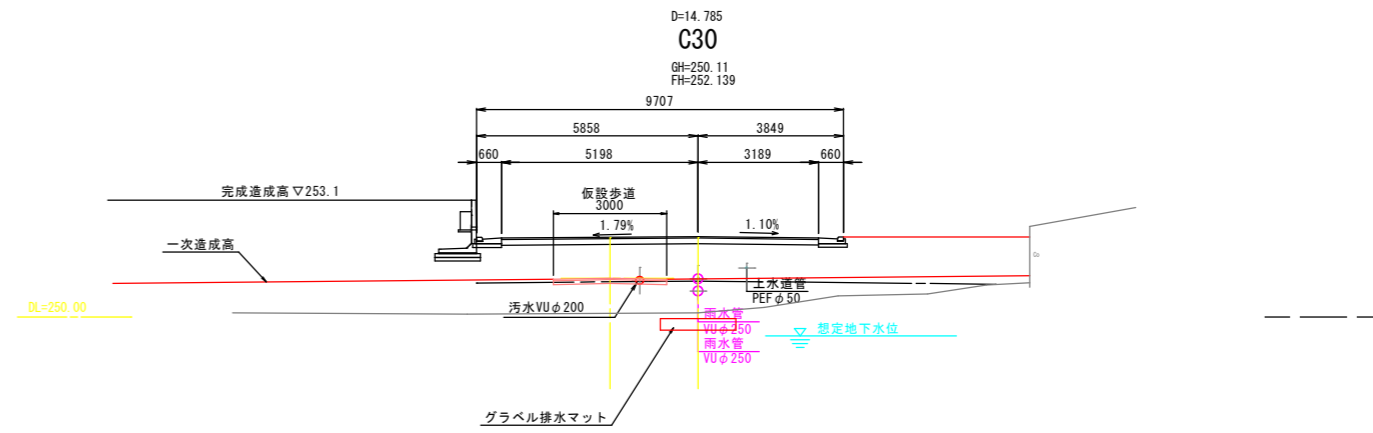
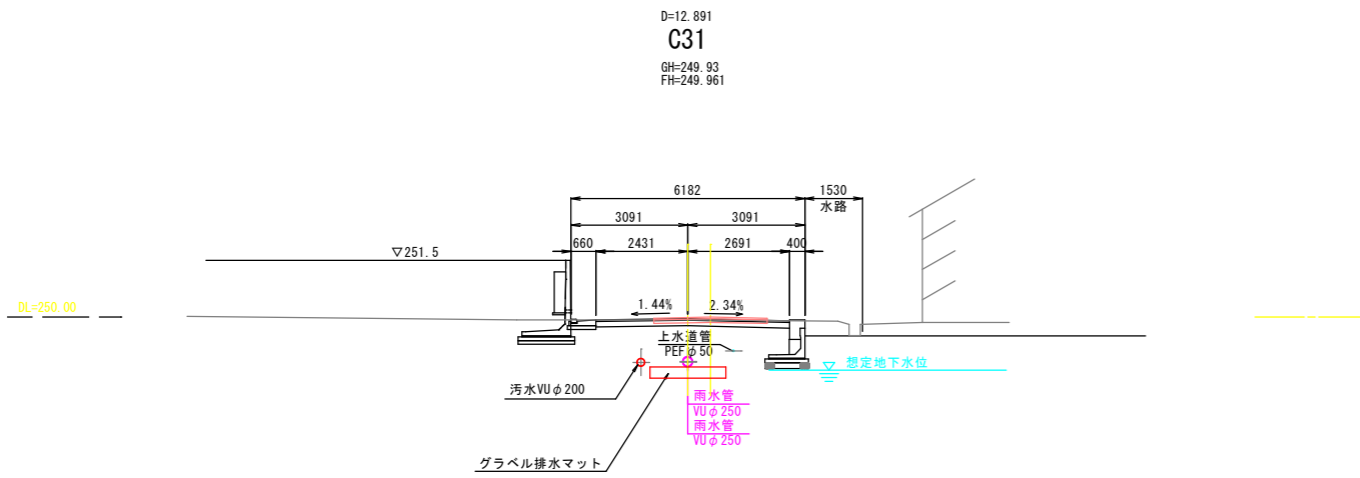
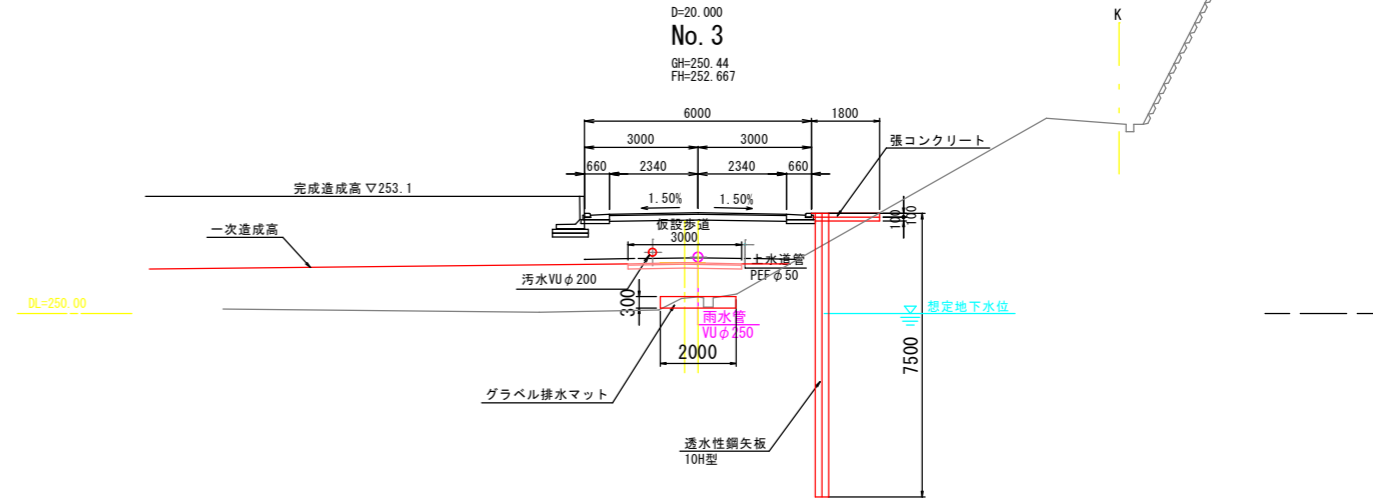
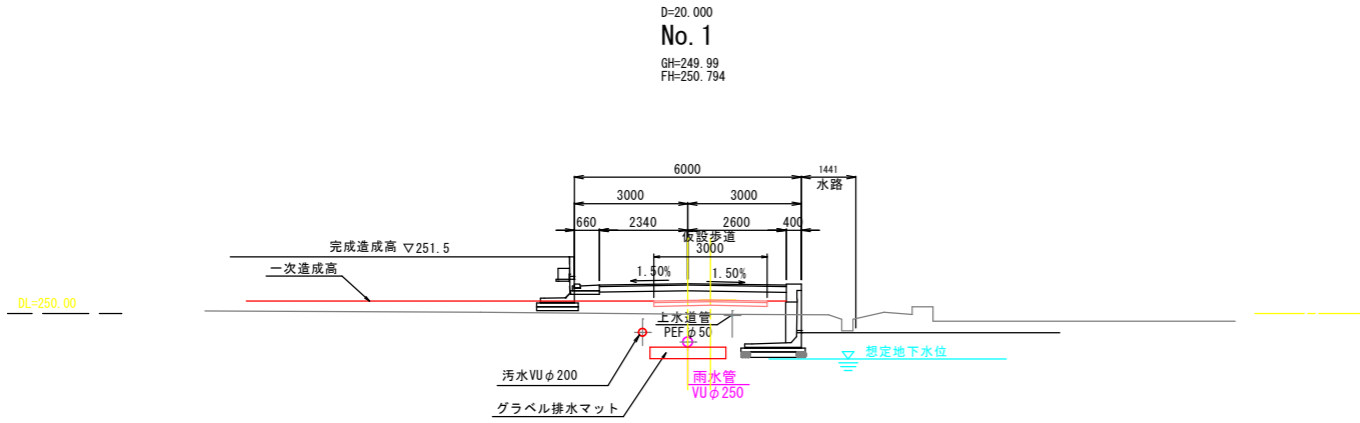


図面番号	3-5-2	縮尺	S=1/100 (A1)
工 種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種 別	区画道路6-10号横断図(1) 第1号		
路 線 名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

区画道路横断図(30)

6-11号(1)

S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

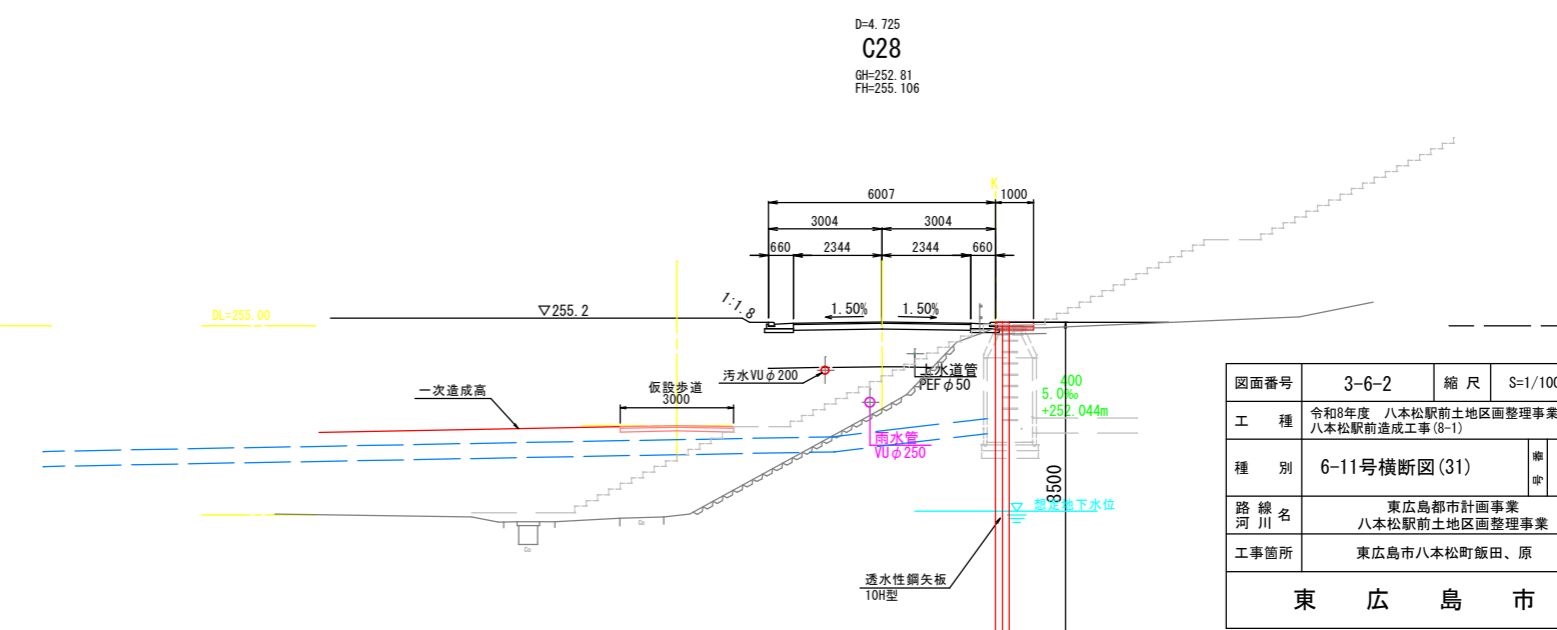
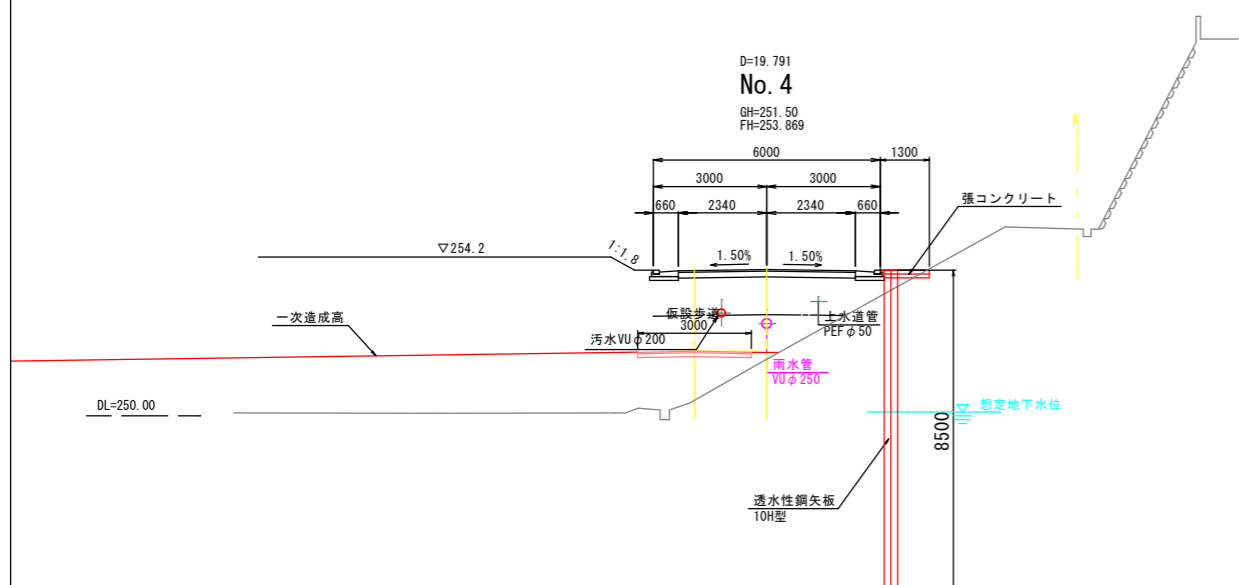
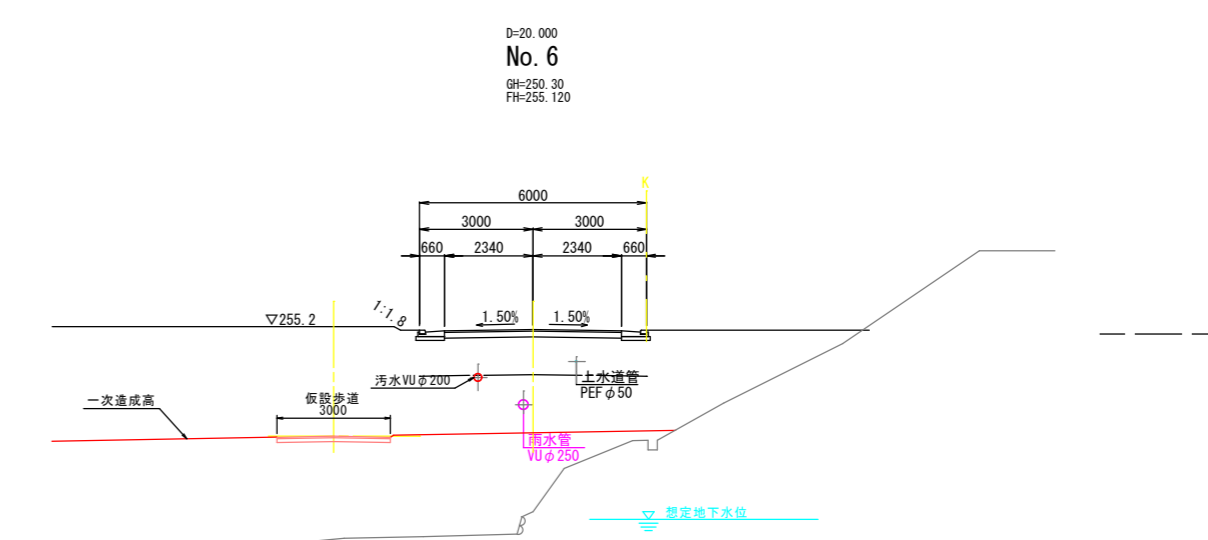
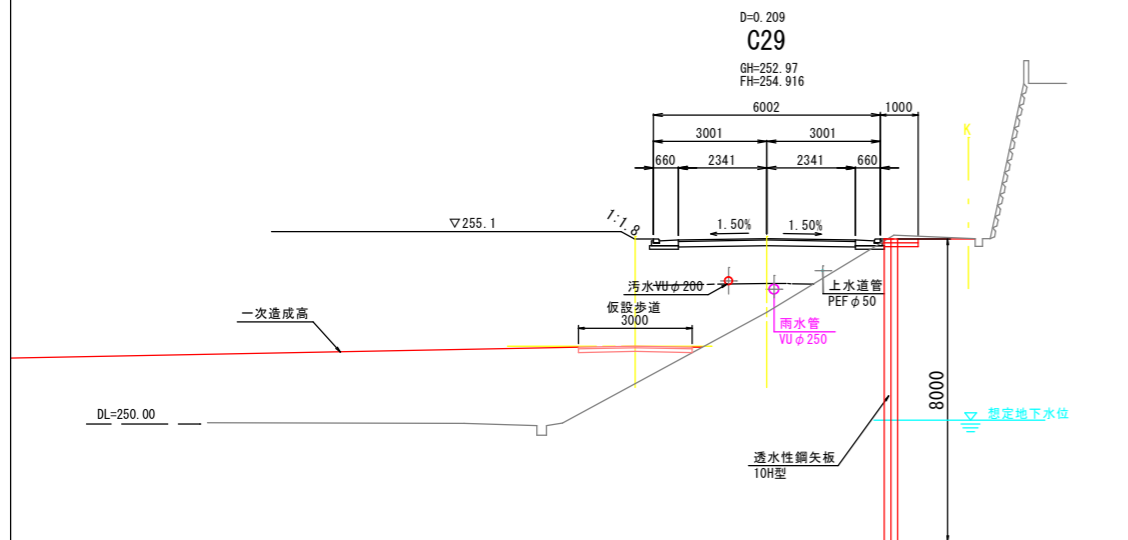
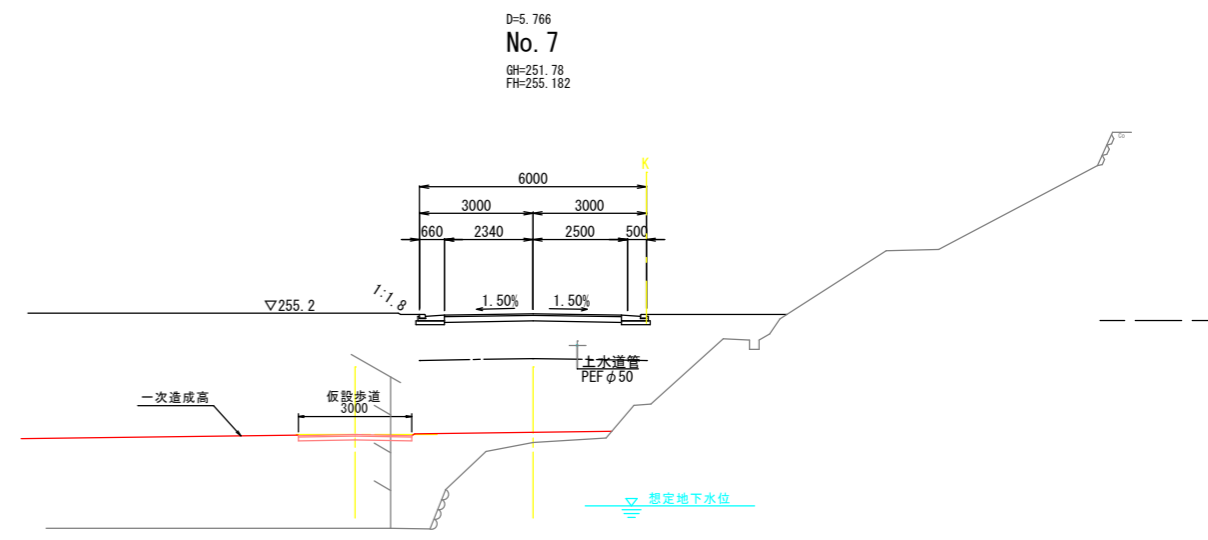
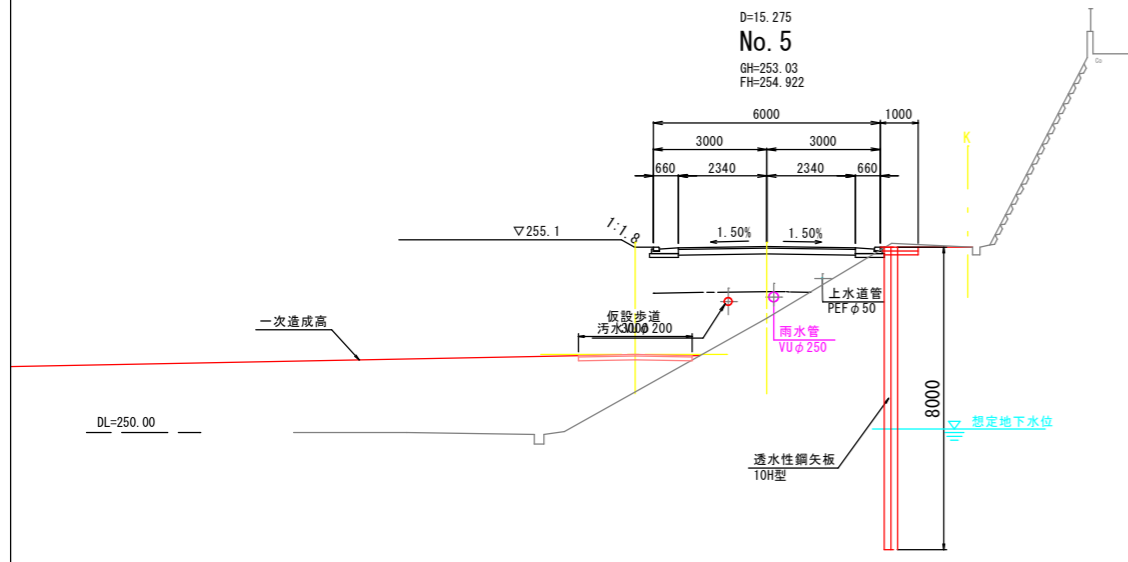


図面番号	3-6-1	縮尺	S=1/100 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	6-11号横断図(30)		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

区画道路横断図(31)

6-11号(2)

S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)

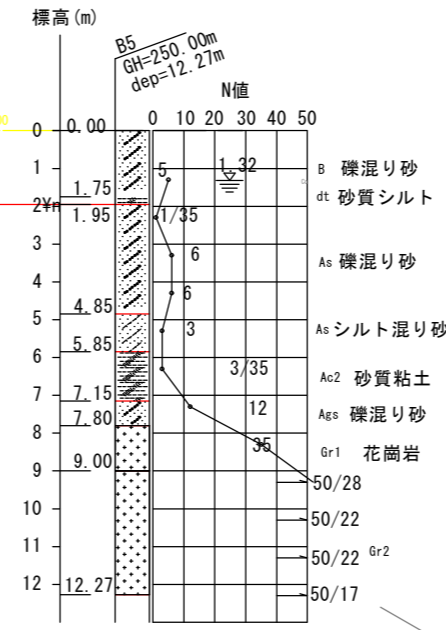
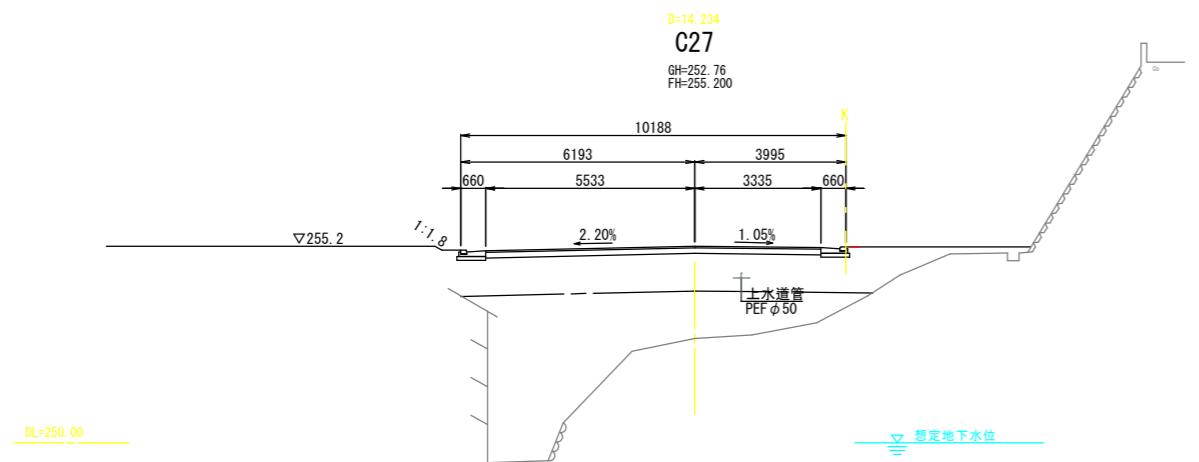
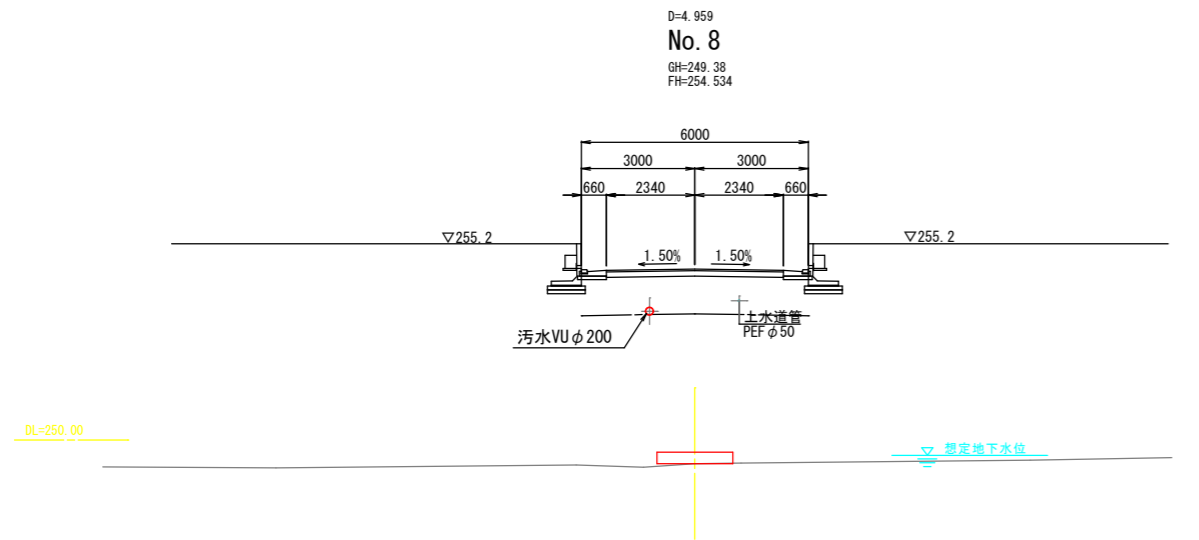
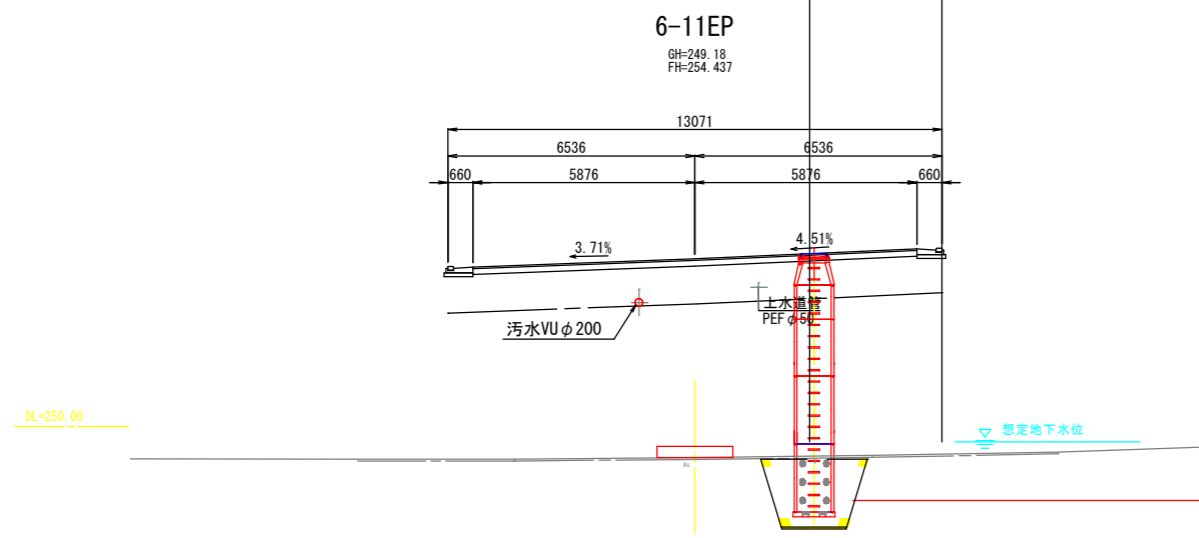


図面番号	3-6-2	縮尺	S=1/100 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	6-11号横断図(31)		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

区画道路横断図(32)

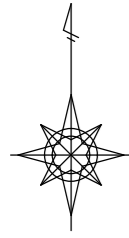
6-11号(3)

S=1/100(A1)
S=1/200(A3)

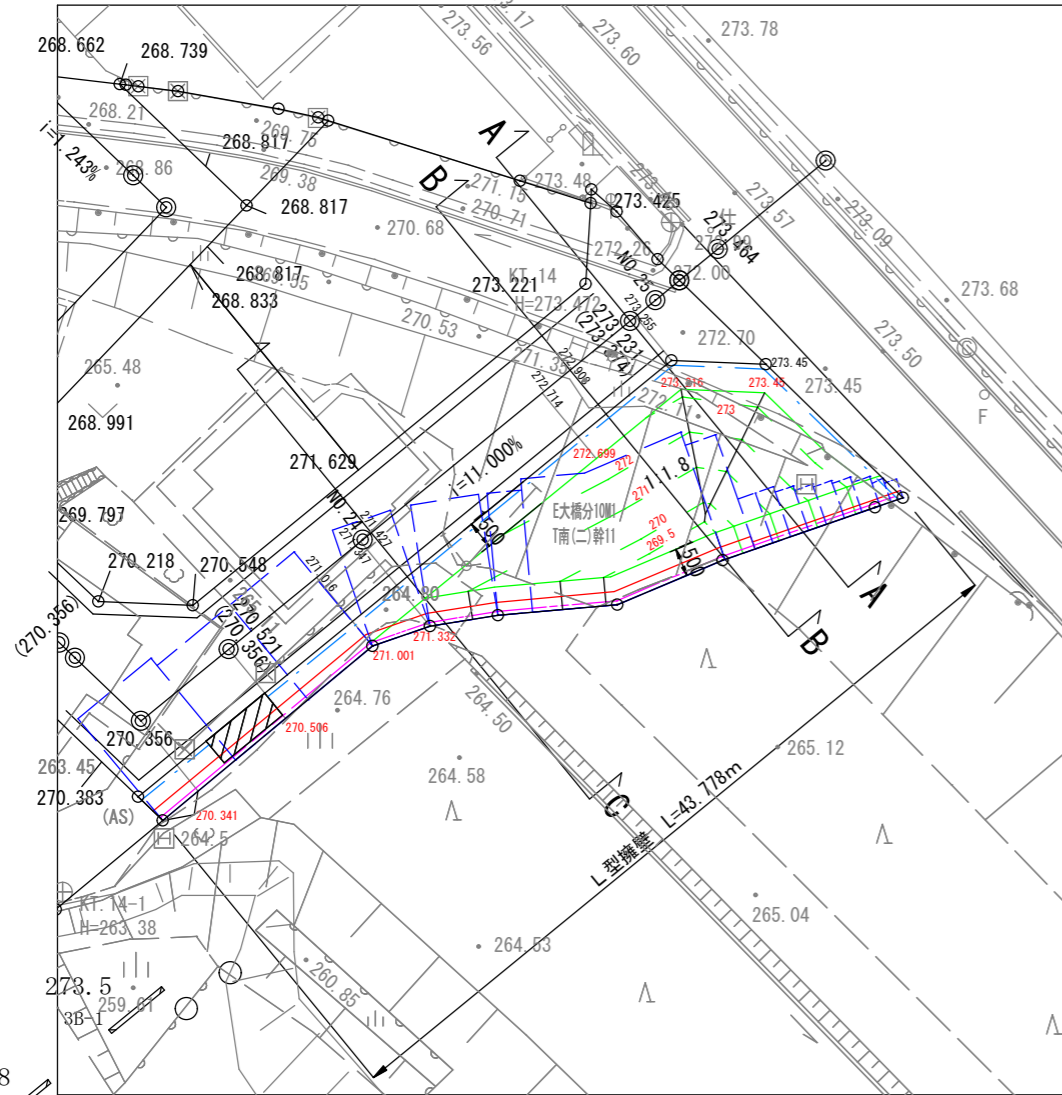


図面番号	3-6-3	縮尺	S=1/100(A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	6-11号横断図(32)	備考	
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

道路擁壁詳細図

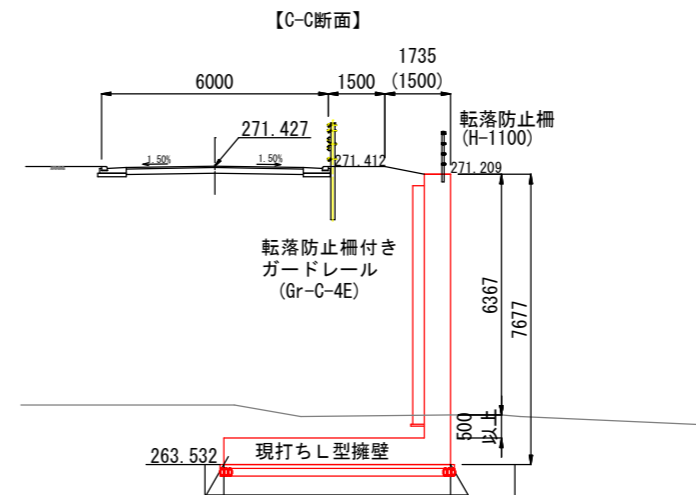
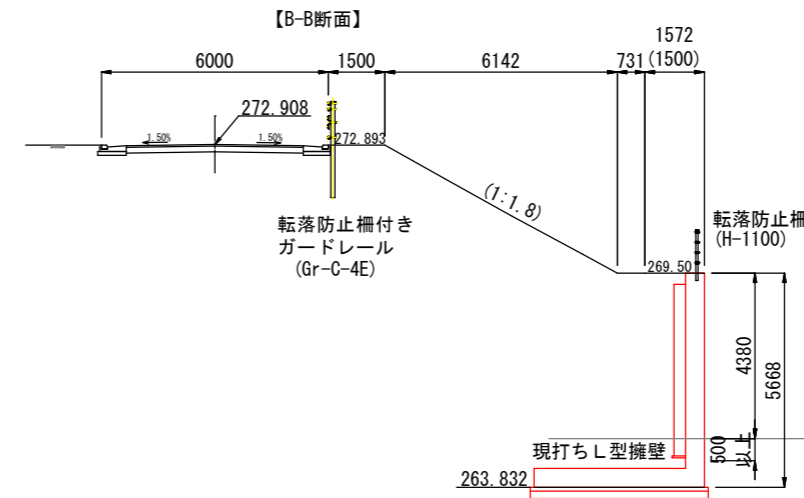
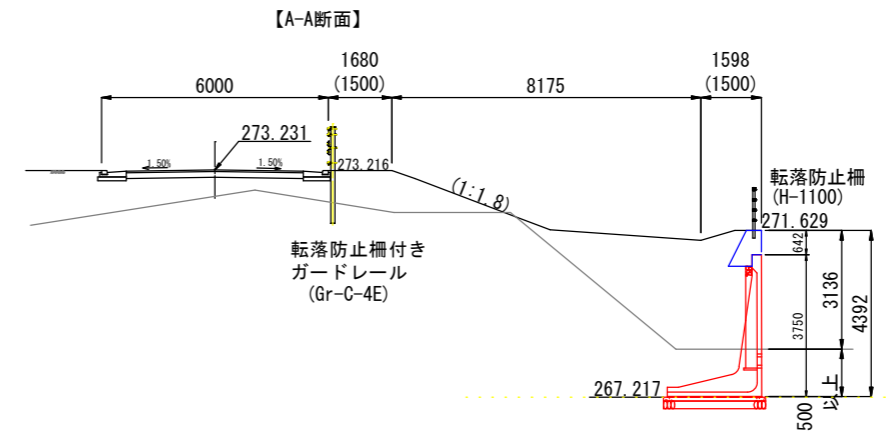


平面図 S=1/200 (A1)
S=1/400 (A3)

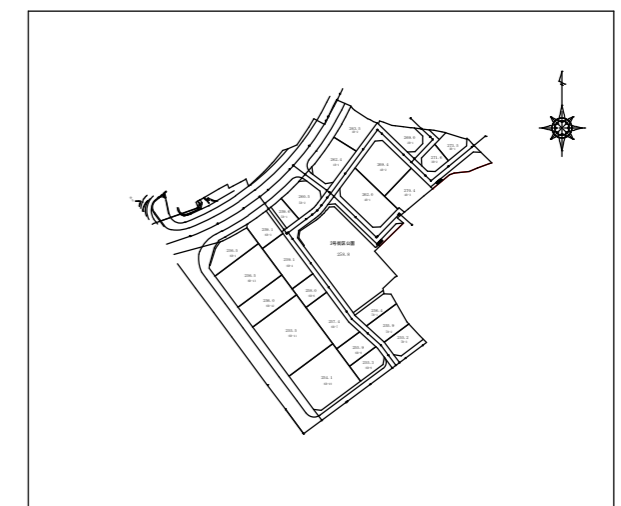
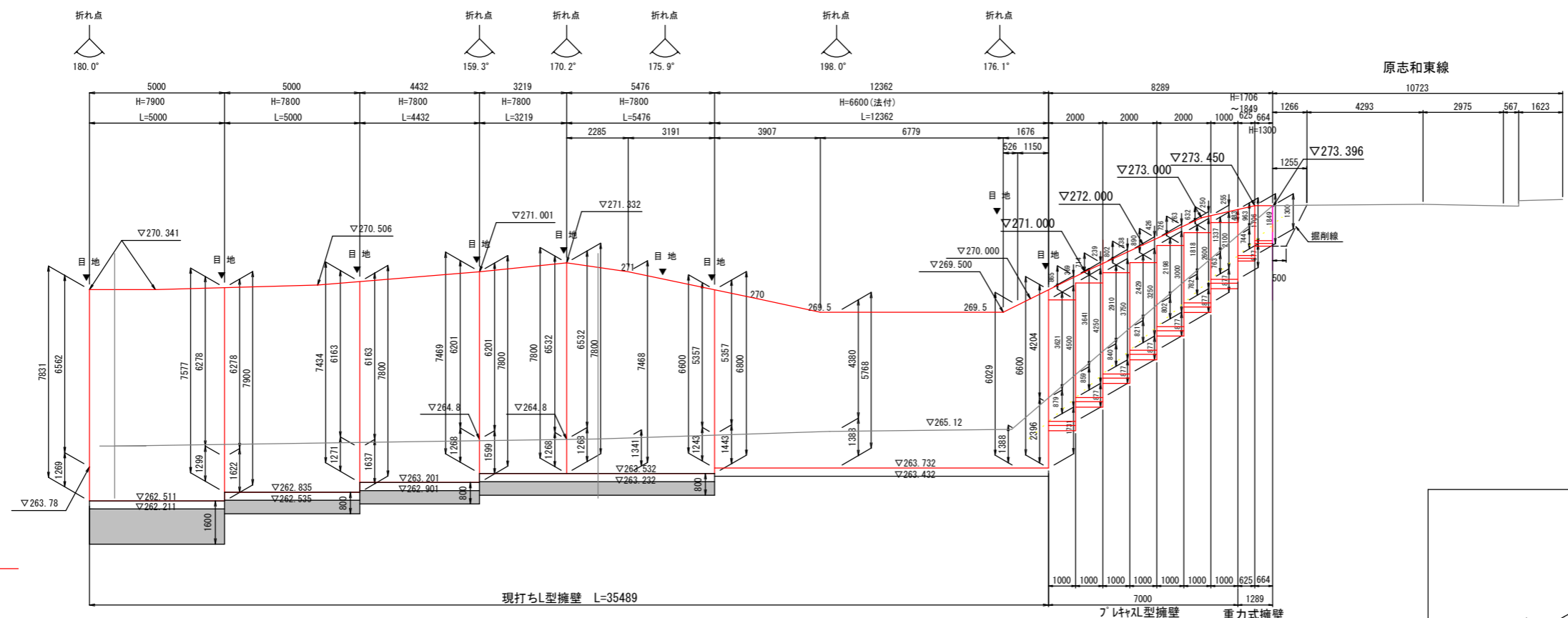


271.8
3B-2

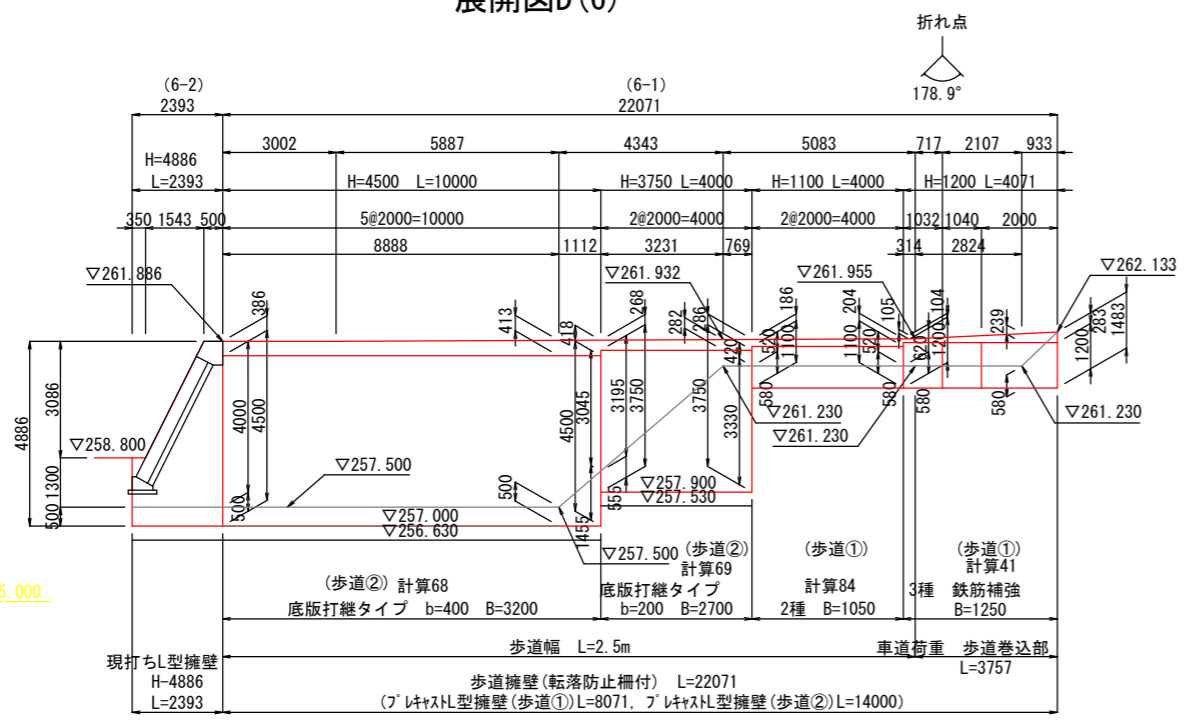
断面図 S=1/100 (A1)
S=1/200 (A3)



図面番号	3-7	縮尺	図示
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	6-9号EP付近道路擁壁 詳細図		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			



展開図D(6)



B(盛土)
N=1.3
DL=260.0
259.29
Gr2(岩)
DL~DM
N=14
256.19
Gr2(岩)
DM
N=29

Bor. B-5 (H30)

B(盛土)
N=1.3
DL=255.000
257.85
Gr2(岩)
DL~DM
N=14
251.65
Gr2(岩)
DM
N=29

※伸縮継目は、擁壁長さ10m以内ごとに1箇所設けること。

図面番号	3-8	縮尺	S=1/100(A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	道路擁壁展開図(4)	番号	
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

Df 地盤改良

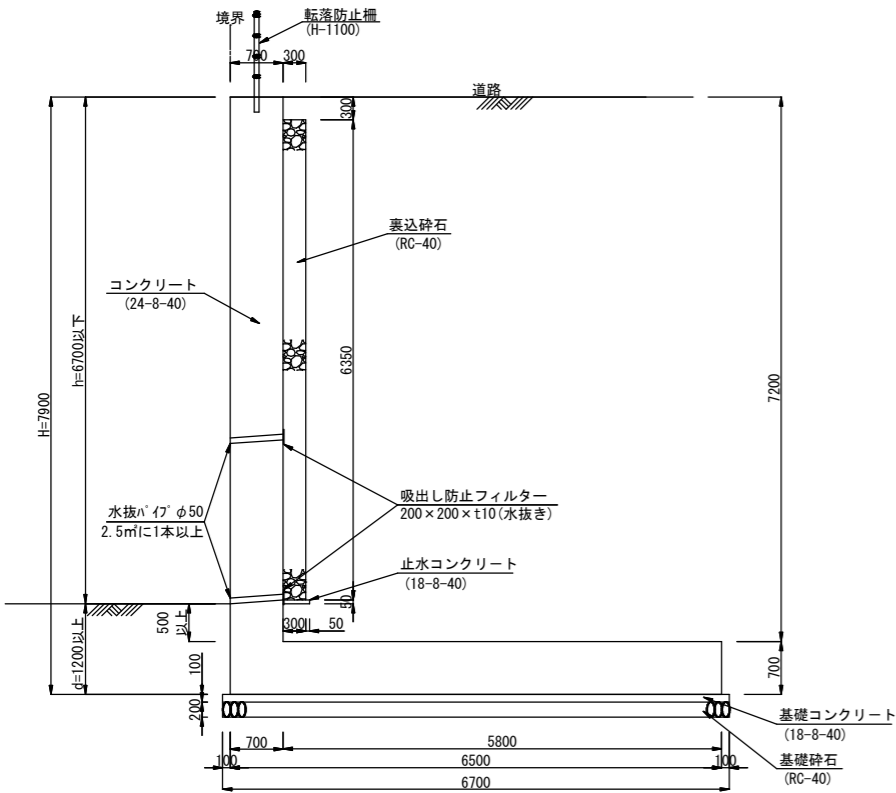
道路擁壁構造図(5)

【現打ちL型擁壁】

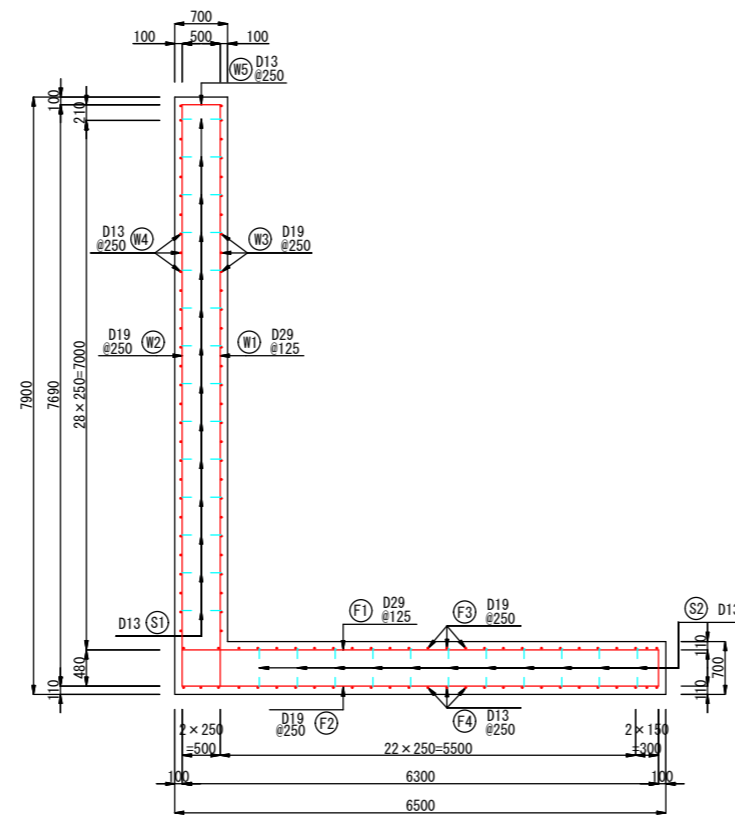
L型擁壁 H-7900①

S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

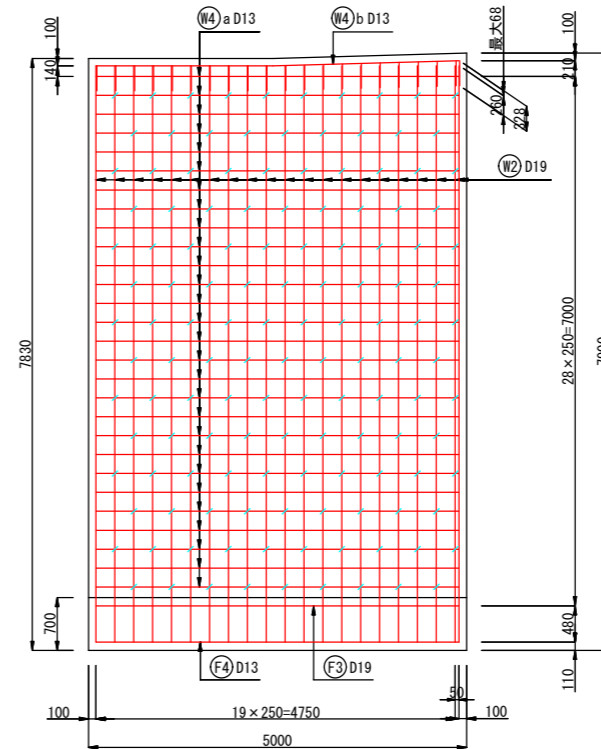
断面図



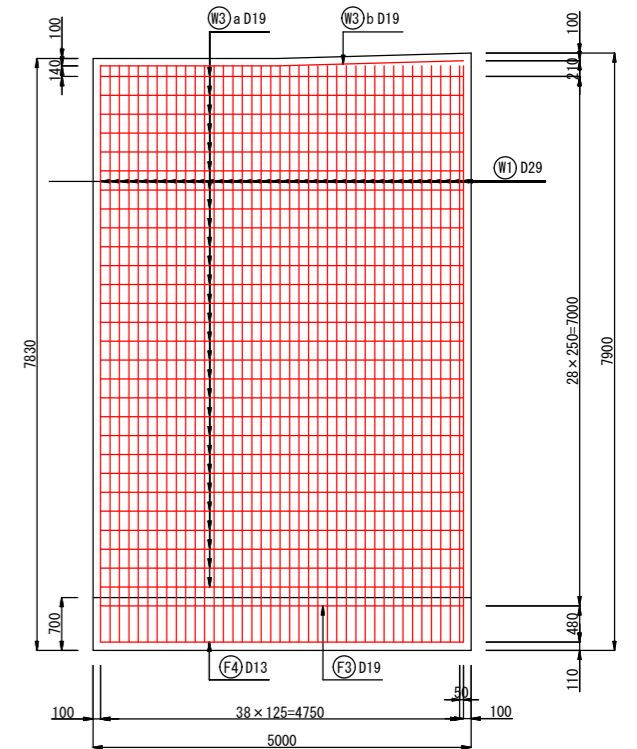
配筋断面図



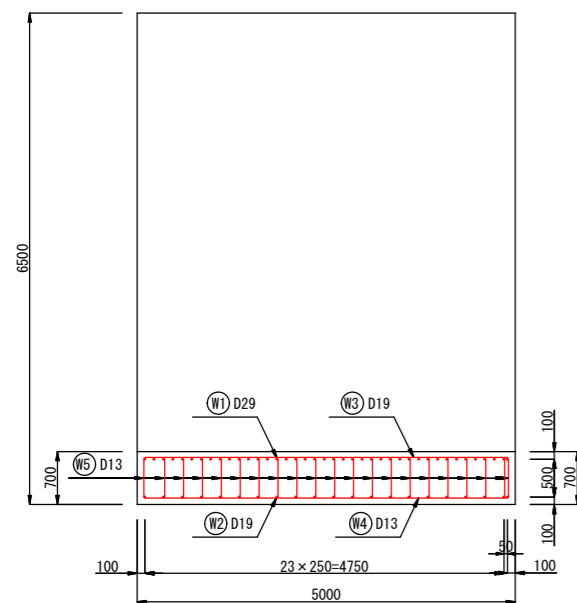
側壁前面



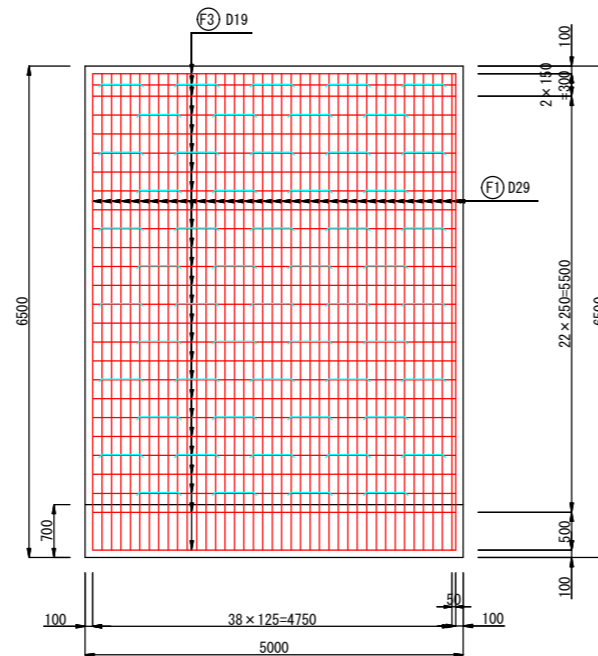
側壁背面



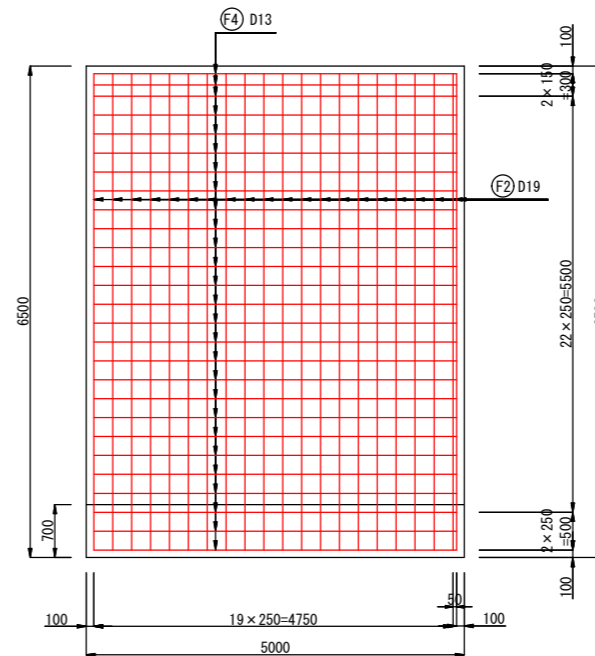
平面図



底板上面



底板下面



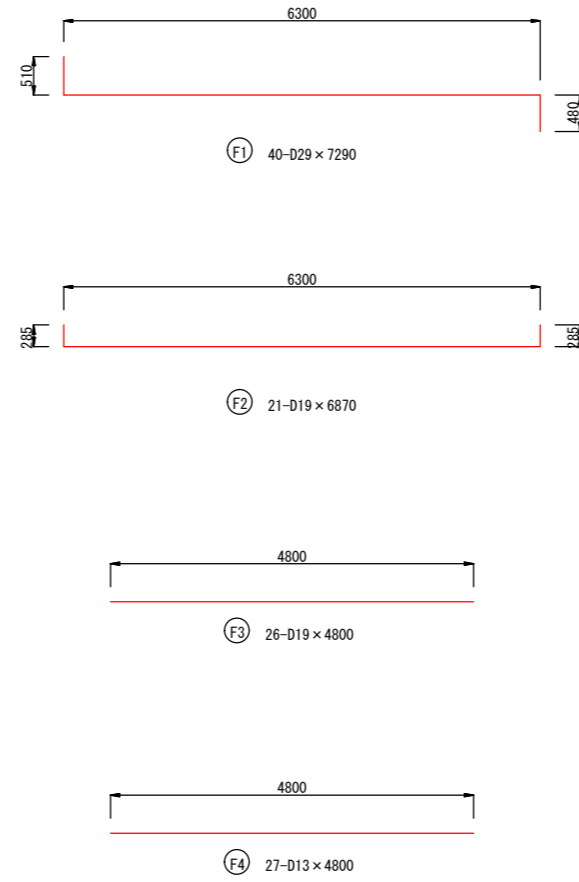
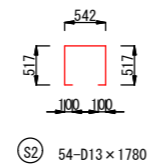
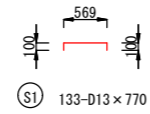
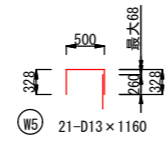
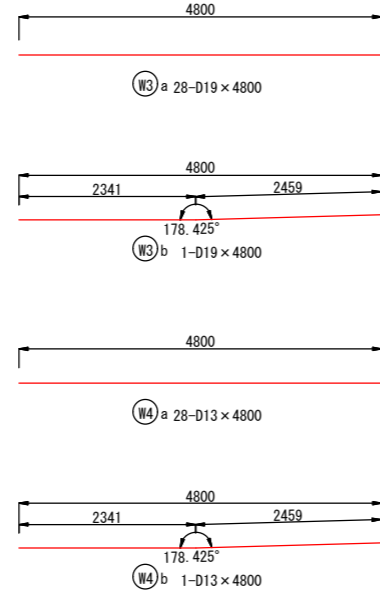
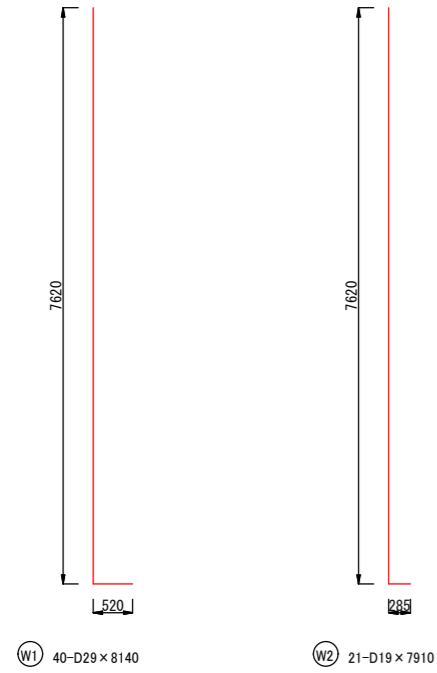
図面番号	3-9-1	縮尺	S=1/50 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	道路擁壁構造図(5)	備考	
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

道路擁壁構造図(6)

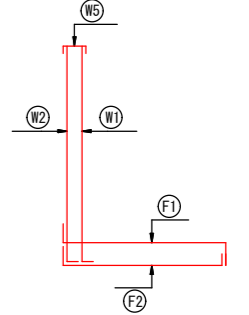
【現打ちL型擁壁】

L型擁壁 H-7900②

S=1/50(A1)
S=1/100(A3)



鉄筋組立図



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
W1	D29	8140	40	5.04	41.026	1641.0	└┘
W2	D19	7910	21	2.25	17.798	373.8	└┘
W3a	D19	4800	28	2.25	10.800	302.4	└┘
W3b	D19	4800	1	2.25	10.800	10.8	└┘
W4a	D13	4800	28	0.995	4.776	133.7	└┘
W4b	D13	4800	1	0.995	4.776	4.8	└┘
W5	D13	1160	21	0.995	1.154	24.2	└┘
S1	D13	770	133	0.995	0.766	101.9	└┘
						2592.6	kg
F1	D29	7290	40	5.04	36.742	1469.7	└┘
F2	D19	6870	21	2.25	15.458	324.6	└┘
F3	D19	4800	26	2.25	10.800	280.8	└┘
F4	D13	4800	27	0.995	4.776	129.0	└┘
S2	D13	1780	54	0.995	1.771	95.6	└┘
						2299.7	kg
						D29	3110.7 kg
						D16	1292.4 kg
						D13	489.2 kg
						合計	4892.3 kg

図面番号	3-9-2	縮尺	S=1/50(A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅造成工事(8-1)		
種別	道路擁壁構造図(6)	備考	
路線 河川名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

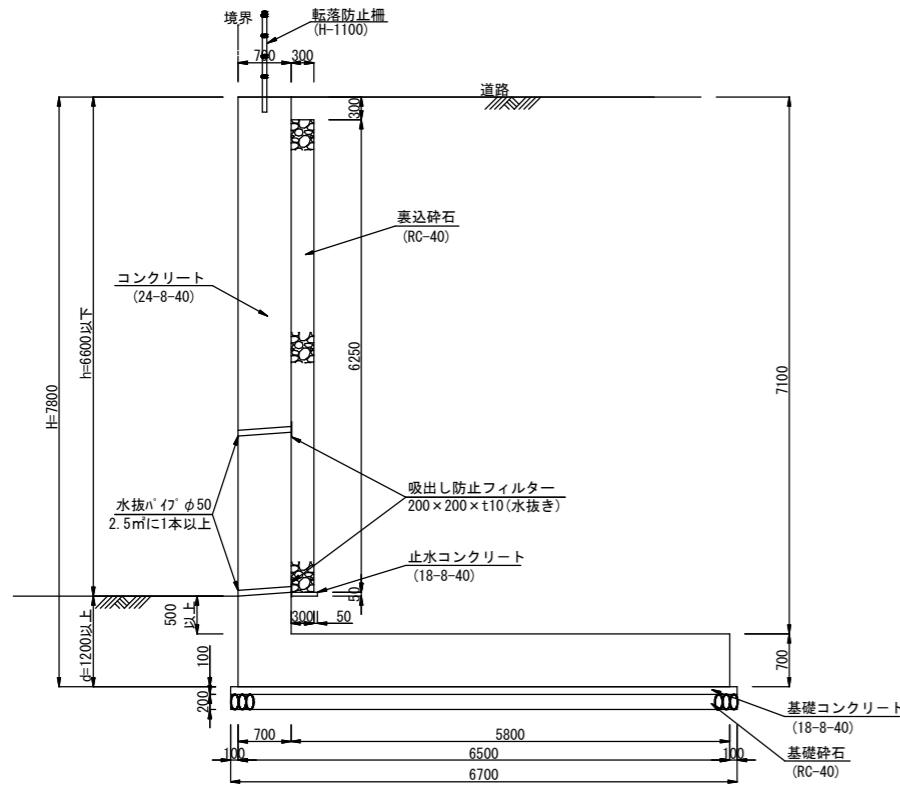
道路擁壁構造図(7)

【現打ちL型擁壁】

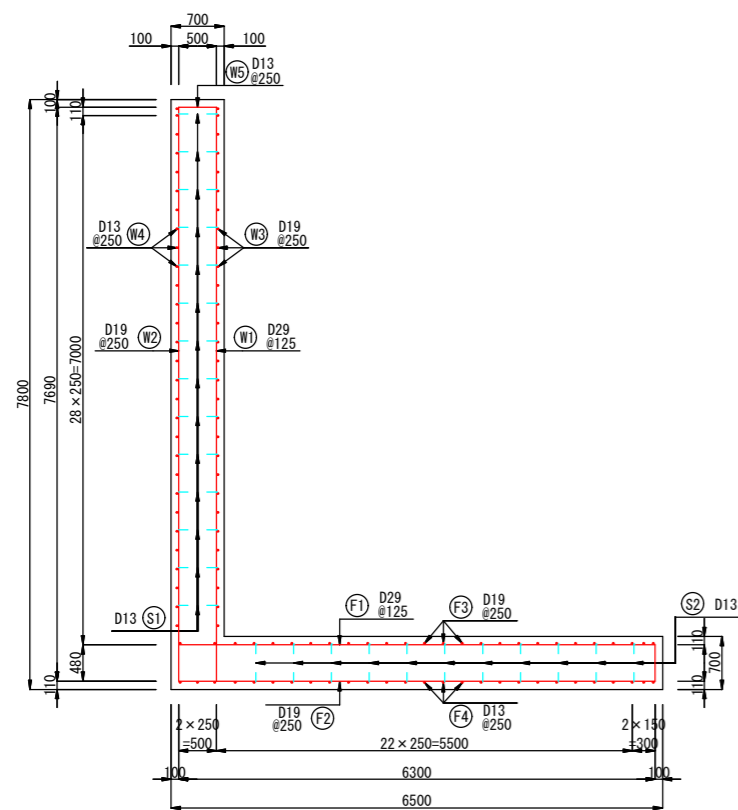
L型擁壁 H-7800①

S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)

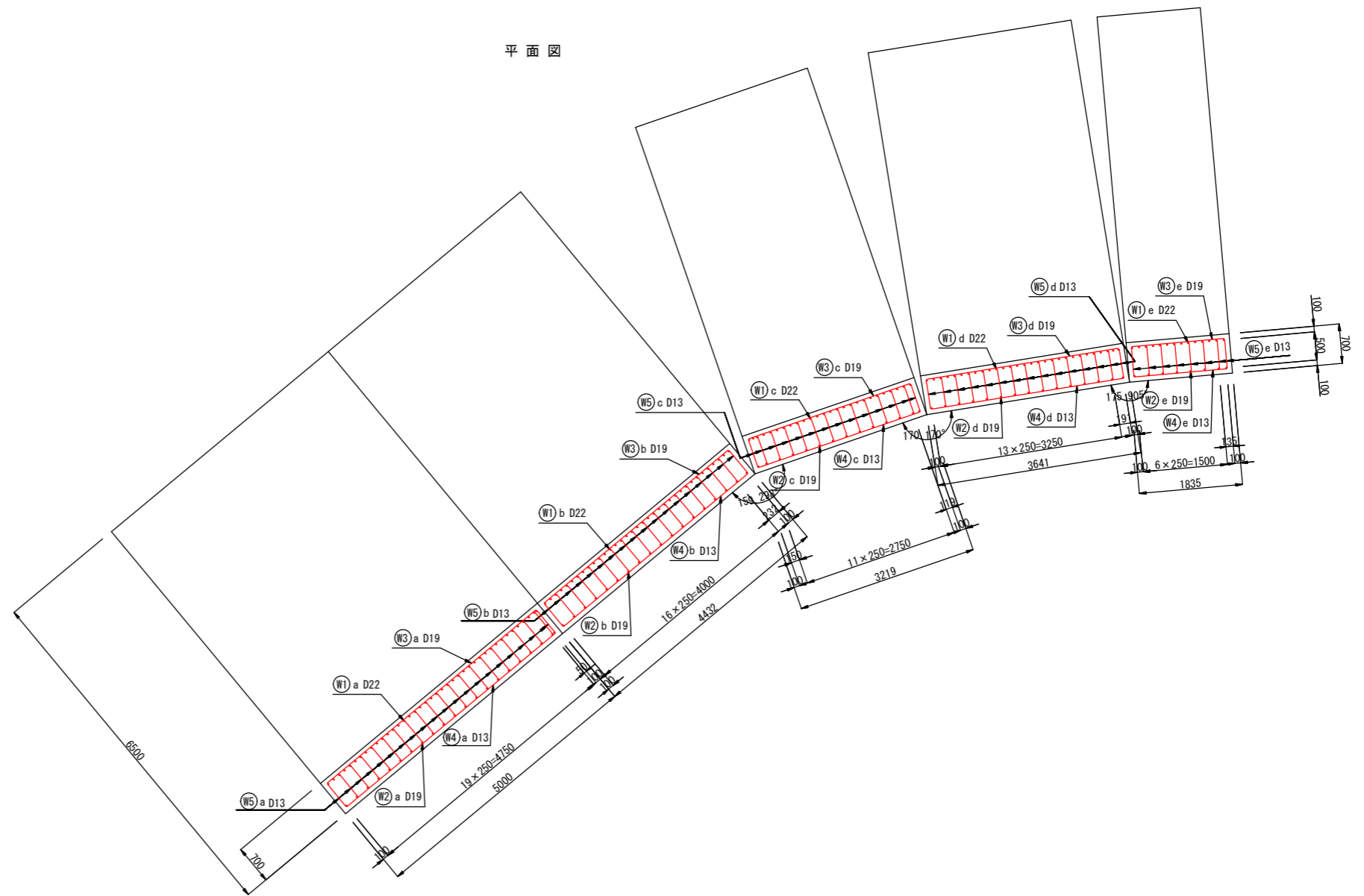
断面図



配筋断面図



平面図



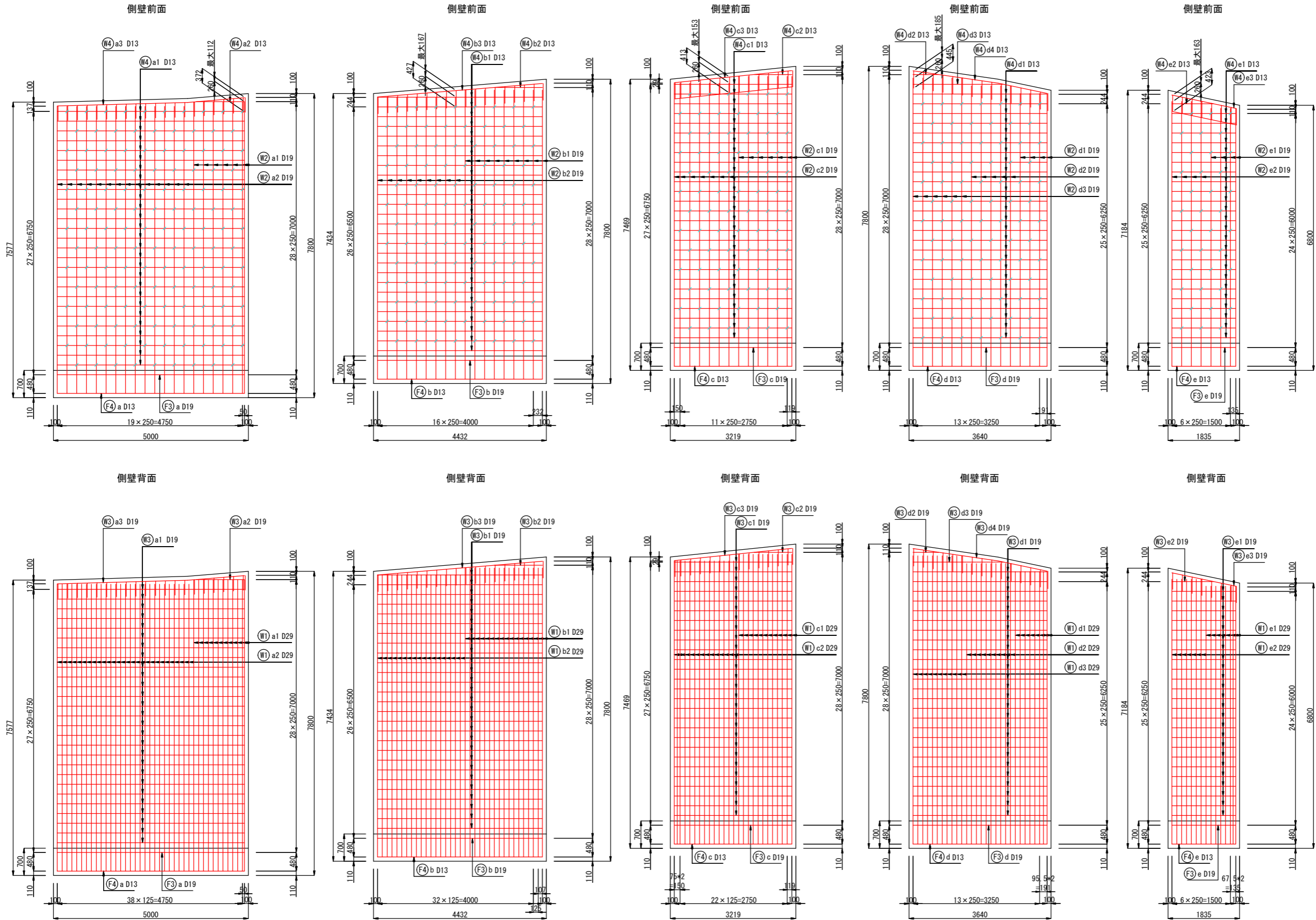
図面番号	3-9-3	縮尺	S=1/50 (A1)
工種	令和8年度、八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	道路擁壁構造図(7)	編者	
路線 河川名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

道路擁壁構造図(8)

【現打ちL型擁壁】

L型擁壁 H=7800②

S=1/50(A1)
S=1/100(A3)



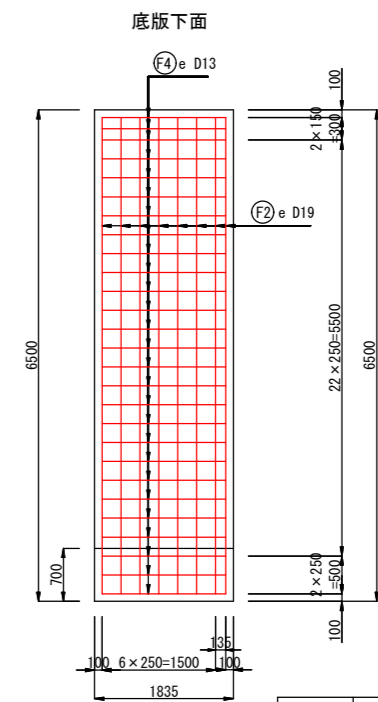
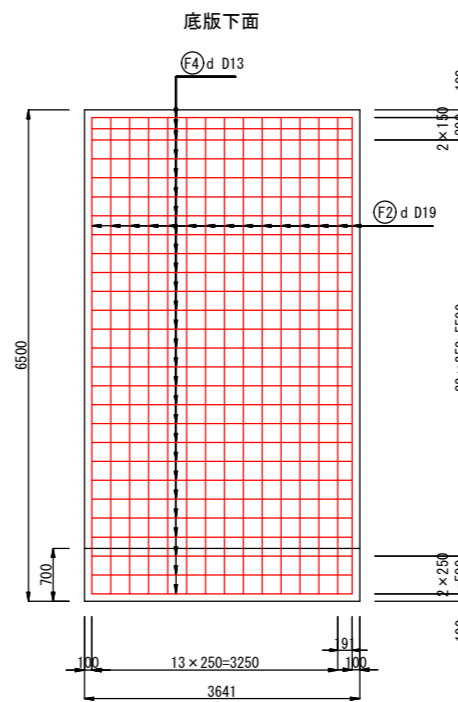
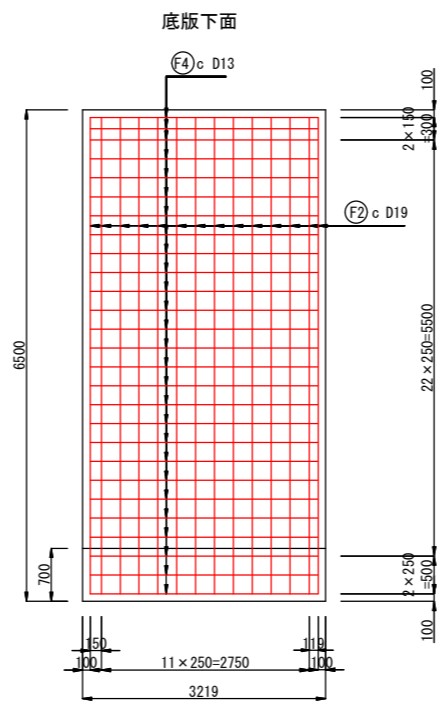
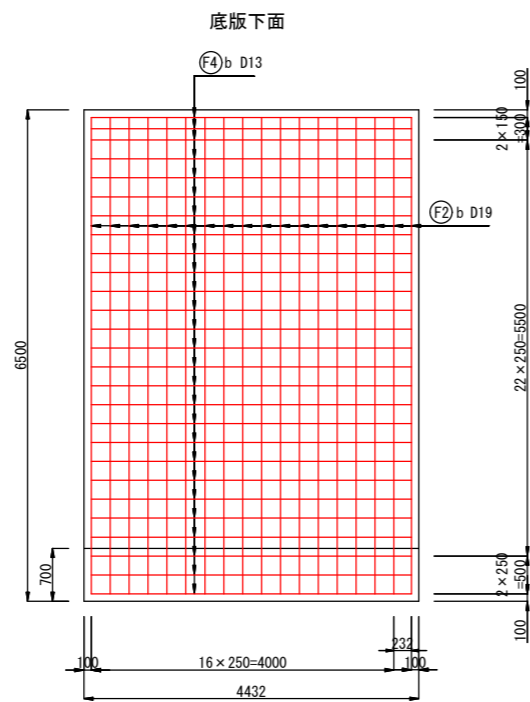
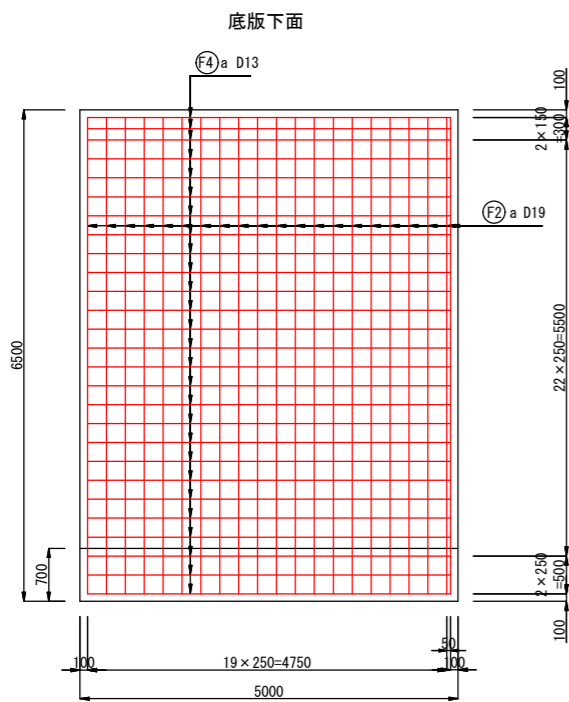
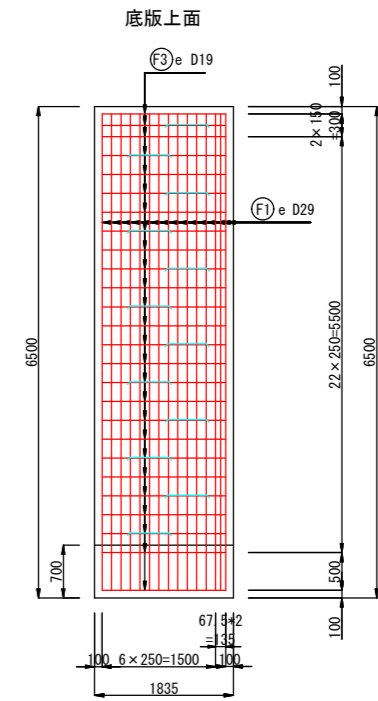
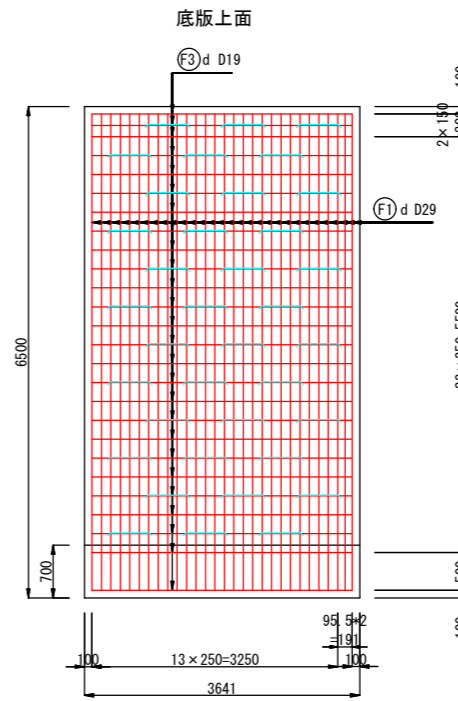
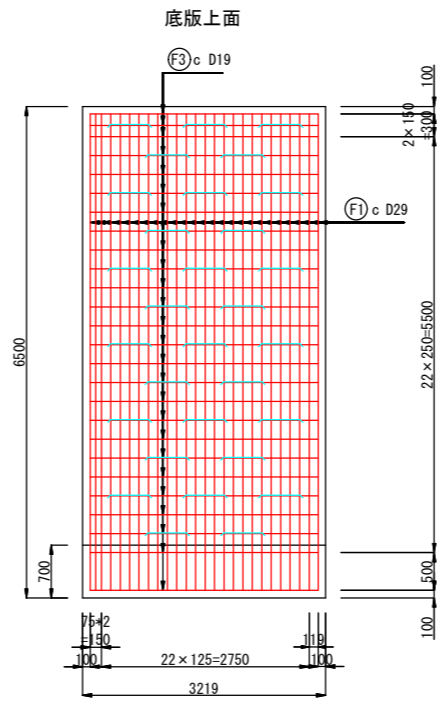
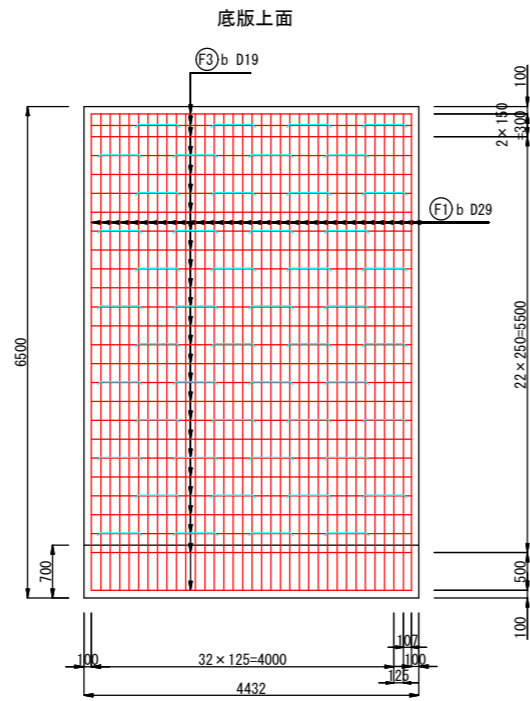
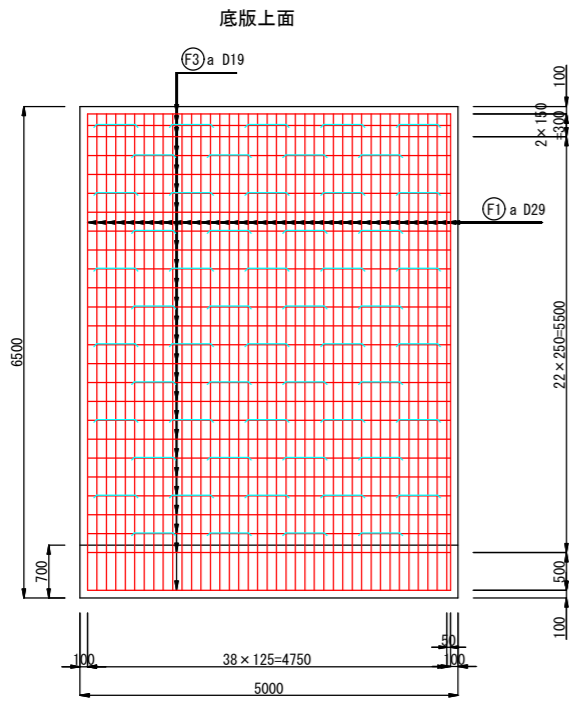
図面番号	3-9-4	縮尺	S=1/50(A1)
工種	令和8年度、八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	道路擁壁構造図(8)	編者	
路線 河川名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

道路擁壁構造図(9)

【現打ちL型擁壁】

L型擁壁 H-7800③

S=1/50(A1)
S=1/100(A3)



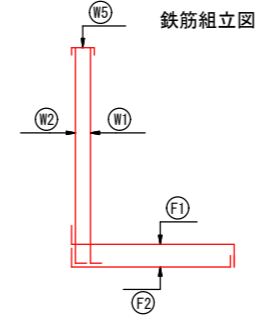
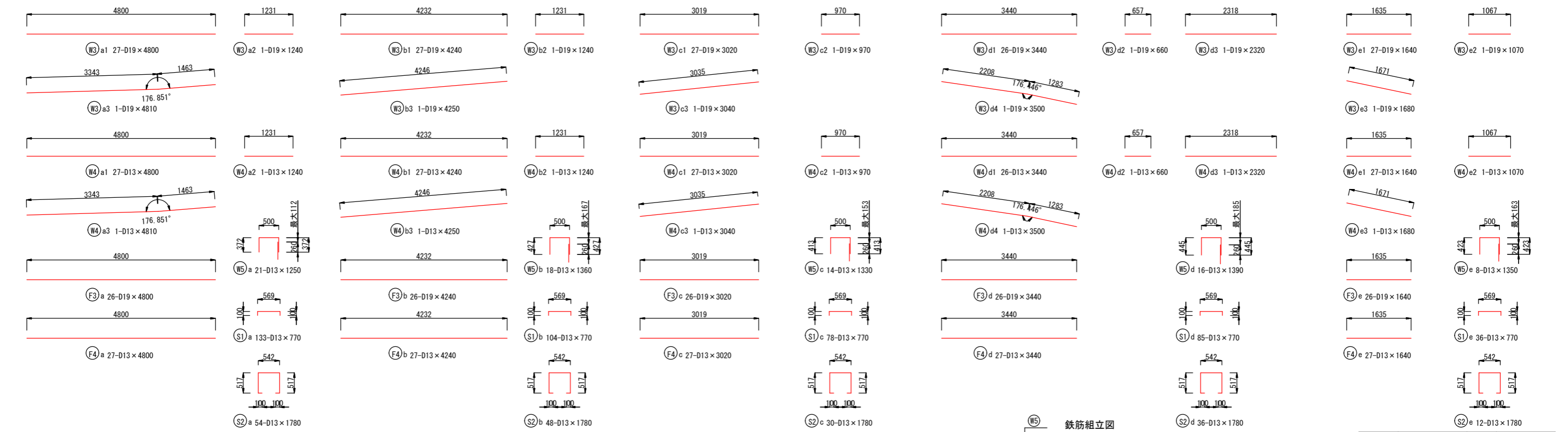
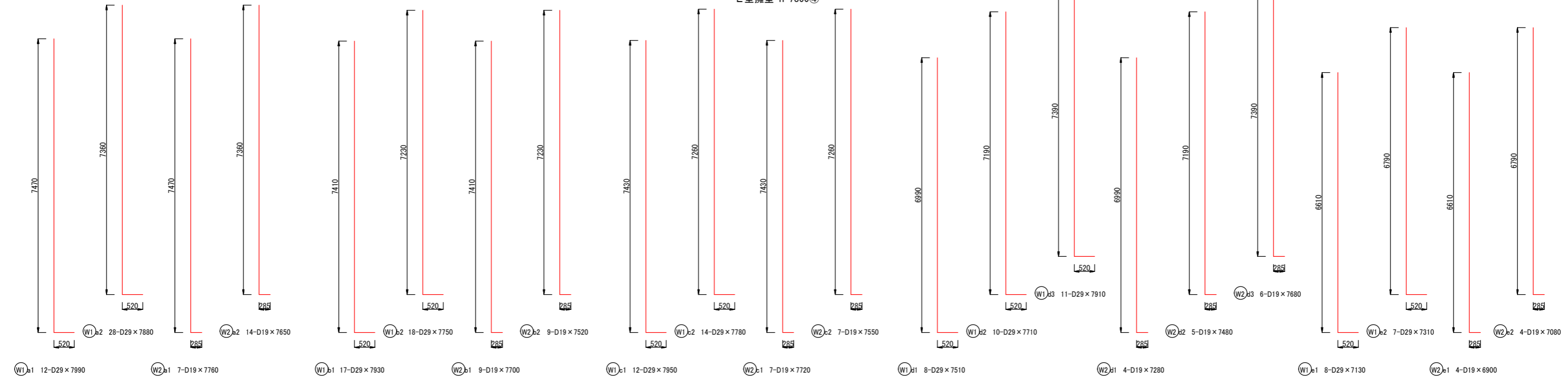
図面番号	3-9-5	縮尺	S=1/50(A1)
工種	令和8年度、八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	道路擁壁構造図(9)	備考	
路線 河川名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

道路擁壁構造図(10)

【現打ちL型擁壁】

L型擁壁 H=7800④

S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)



図面番号	3-9-6	縮尺	S=1/50 (A1)
工種	令和8年度、八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	道路擁壁構造図(10)		備考
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			



道路擁壁構造図(11)

【現打ちL型擁壁】

L型擁壁 H-7800⑤

S=1/50(A1)
S=1/100(A3)

鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
W1a1	D29	7990	12	5.04	40.270	483.2	L
W1a2	D29	7880	28	5.04	39.715	1112.0	L
W1b1	D29	7930	17	5.04	39.967	679.4	L
W1b2	D29	7750	18	5.04	39.060	703.1	L
W1c1	D29	7950	12	5.04	40.068	480.4	L
W1c2	D29	7780	14	5.04	39.211	549.0	L
W1d1	D29	7510	8	5.04	37.850	302.8	L
W1d2	D29	7710	10	5.04	38.858	388.6	L
W1d3	D29	7910	11	5.04	39.866	438.5	L
W1e1	D29	7130	8	5.04	35.935	287.5	L
W1e2	D29	7310	7	5.04	36.842	257.9	L
W2a1	D19	7760	7	2.25	17.460	122.2	L
W2a2	D19	7650	14	2.25	17.213	241.0	L
W2b1	D19	7700	9	2.25	17.325	155.9	L
W2b2	D19	7520	9	2.25	16.920	152.3	L
W2c1	D19	7720	7	2.25	17.370	121.6	L
W2c2	D19	7550	7	2.25	16.988	118.9	L
W2d1	D19	7280	4	2.25	16.380	65.5	L
W2d2	D19	7480	5	2.25	16.830	84.2	L
W2d3	D19	7680	6	2.25	17.280	103.7	L
W2e1	D19	6900	4	2.25	15.525	62.1	L
W2e2	D19	7080	4	2.25	15.930	63.7	L
W3a1	D19	4800	27	2.25	10.800	291.6	—
W3a2	D19	1240	1	2.25	2.790	2.8	—
W3a3	D19	4810	1	2.25	10.823	10.8	—
W3b1	D19	4240	27	2.25	9.540	257.6	—
W3b2	D19	1240	1	2.25	2.790	2.8	—
W3b3	D19	4250	1	2.25	9.563	9.6	—
W3c1	D19	3020	27	2.25	6.795	183.5	—
W3c2	D19	970	1	2.25	2.183	2.2	—
W3c3	D19	3040	1	2.25	6.840	6.8	—
W3d1	D19	3440	26	2.25	7.740	201.2	—
W3d2	D19	660	1	2.25	1.485	1.5	—
W3d3	D19	2320	1	2.25	5.220	5.2	—
W3d4	D19	3500	1	2.25	7.875	7.9	—
W3e1	D19	1640	27	2.25	3.690	99.6	—
W3e2	D19	1070	1	2.25	2.408	2.4	—
W3e3	D19	1680	1	2.25	3.780	3.8	—
W4a1	D13	4800	27	0.995	4.776	129.0	—
W4a2	D13	1240	1	0.995	1.234	1.2	—
W4a3	D13	4810	1	0.995	4.786	4.8	—
W4b1	D13	4240	27	0.995	4.219	113.9	—
W4b2	D13	1240	1	0.995	1.234	1.2	—
W4b3	D13	4250	1	0.995	4.229	4.2	—
W4c1	D13	3020	27	0.995	3.005	81.1	—
W4c2	D13	970	1	0.995	0.965	1.0	—
W4c3	D13	3040	1	0.995	3.025	3.0	—
W4d1	D13	3440	26	0.995	3.423	89.0	—
W4d2	D13	660	1	0.995	0.657	0.7	—
W4d3	D13	2320	1	0.995	2.308	2.3	—
W4d4	D13	3500	1	0.995	3.483	3.5	—
W4e1	D13	1640	27	0.995	1.632	44.1	—
W4e2	D13	1070	1	0.995	1.065	1.1	—
W4e3	D13	1680	1	0.995	1.672	1.7	—
W5a	D13	1250	21	0.995	1.244	26.1	□
W5b	D13	1360	18	0.995	1.353	24.4	□
W5c	D13	1330	14	0.995	1.323	18.5	□
W5d	D13	1390	16	0.995	1.383	22.1	□
W5e	D13	1350	8	0.995	1.343	10.7	□
S1a	D13	770	133	0.995	0.766	101.9	□
S1b	D13	770	104	0.995	0.766	79.7	□
S1c	D13	770	78	0.995	0.766	59.7	□
S1d	D13	770	85	0.995	0.766	65.1	□
S1e	D13	770	36	0.995	0.766	27.6	□
						8980.8	kg

鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
F1a	D29	7290	40	5.04	36.742	1469.7	L
F1b	D29	7290	35	5.04	36.742	1286.0	L
F1c	D29	7290	26	5.04	36.742	955.3	L
F1d	D29	7290	29	5.04	36.742	1065.5	L
F1e	D29	7290	15	5.04	36.742	551.1	L
F2a	D19	6870	21	2.25	15.458	324.6	L
F2b	D19	6870	18	2.25	15.458	278.2	L
F2c	D19	6870	14	2.25	15.458	216.4	L
F2d	D19	6870	15	2.25	15.458	231.9	L
F2e	D19	6870	8	2.25	15.458	123.7	L
F3a	D19	4800	26	2.25	10.800	280.8	—
F3b	D19	4240	26	2.25	9.540	248.0	—
F3c	D19	3020	26	2.25	6.795	176.7	—
F3d	D19	3440	26	2.25	7.740	201.2	—
F3e	D19	1640	26	2.25	3.690	95.9	—
F4a	D13	4800	27	0.995	4.776	129.0	—
F4b	D13	4240	27	0.995	4.219	113.9	—
F4c	D13	3020	27	0.995	3.005	81.1	—
F4d	D13	3440	27	0.995	3.423	92.4	—
F4e	D13	1640	27	0.995	1.632	44.1	—
S2a	D13	1780	54	0.995	1.771	95.6	□
S2b	D13	1780	48	0.995	1.771	85.0	□
S2c	D13	1780	30	0.995	1.771	53.1	□
S2d	D13	1780	36	0.995	1.771	63.8	□
S2e	D13	1780	12	0.995	1.771	21.3	□
						8284.3	kg
					D29	11010.4	kg
					D19	4557.8	kg
					D13	1696.9	kg
					合計	17265.1	kg

図面番号	3-9-7	縮尺	S=1/50(A1)
工種	令和8年度、八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	道路擁壁構造図(11)	備考	
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

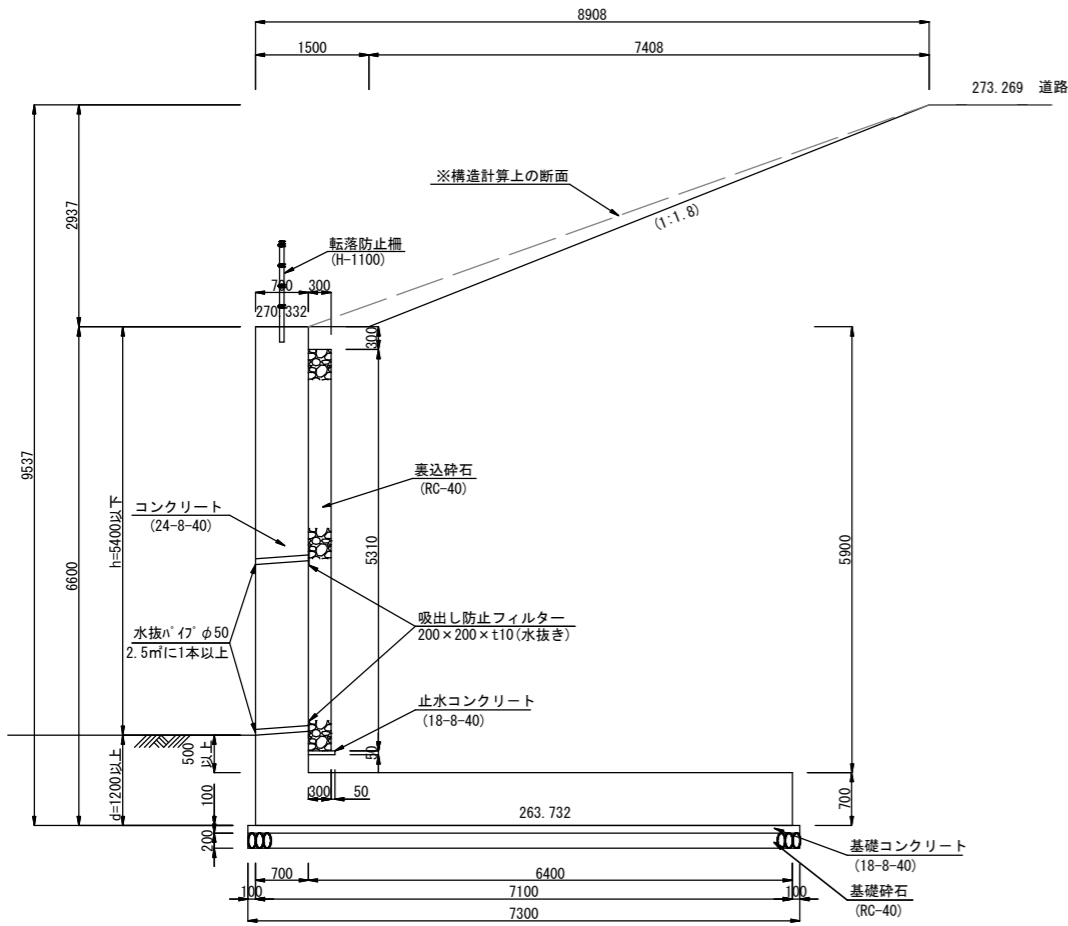
道路擁壁構造図(12)

【現打ちL型擁壁】

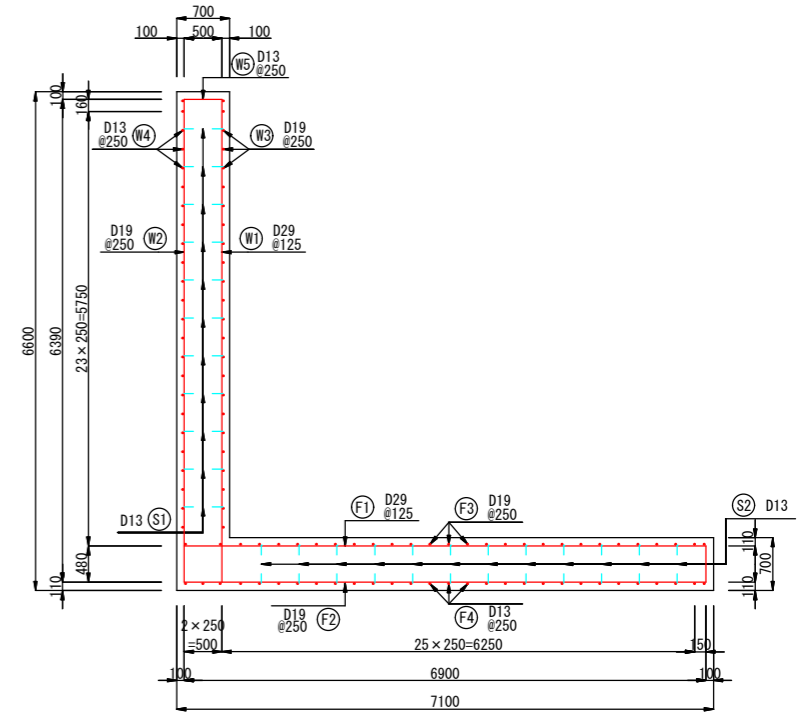
L型擁壁 H-6600(法付)①

S=1/50(A1)
S=1/100(A3)

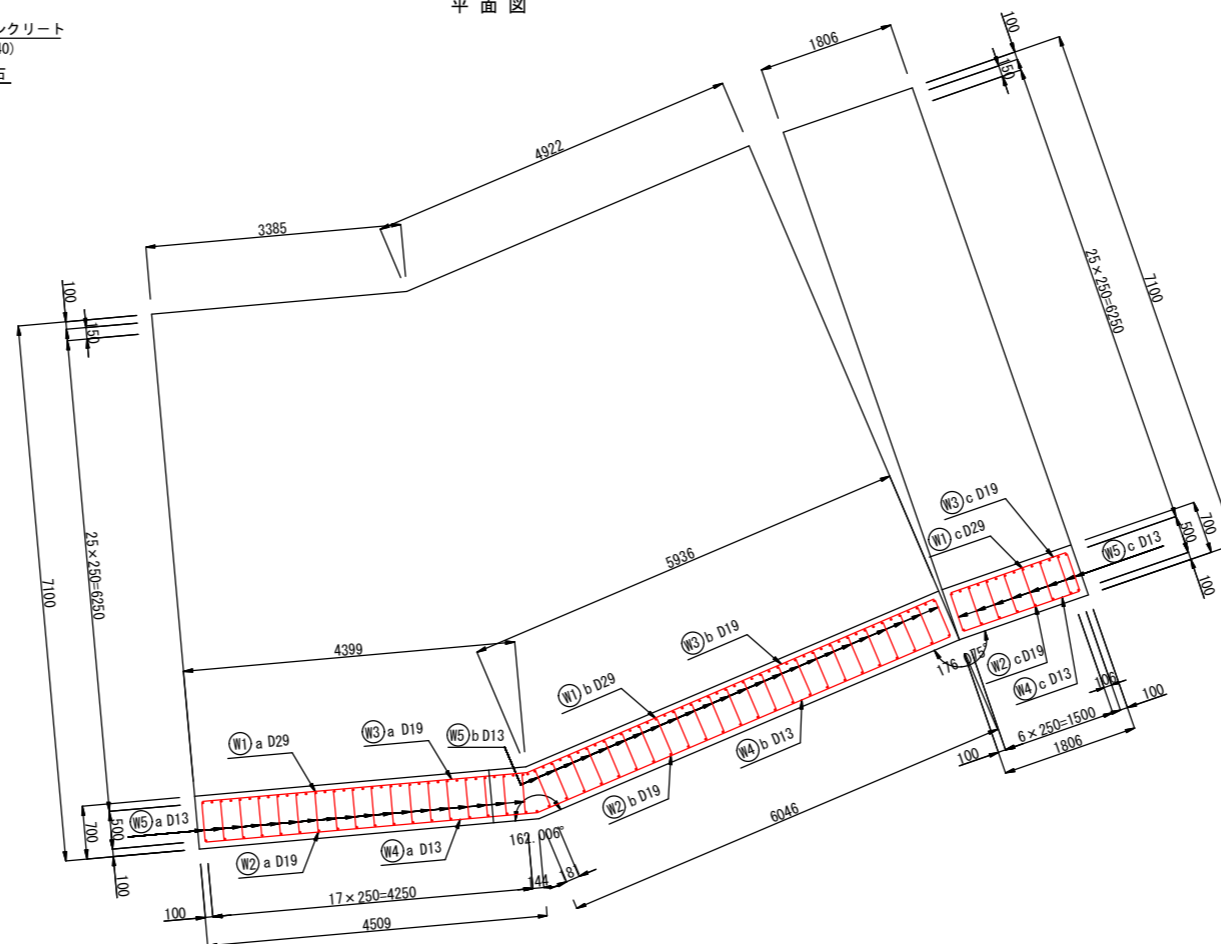
L型擁壁 H-6600
断面図



配筋断面図



平面図



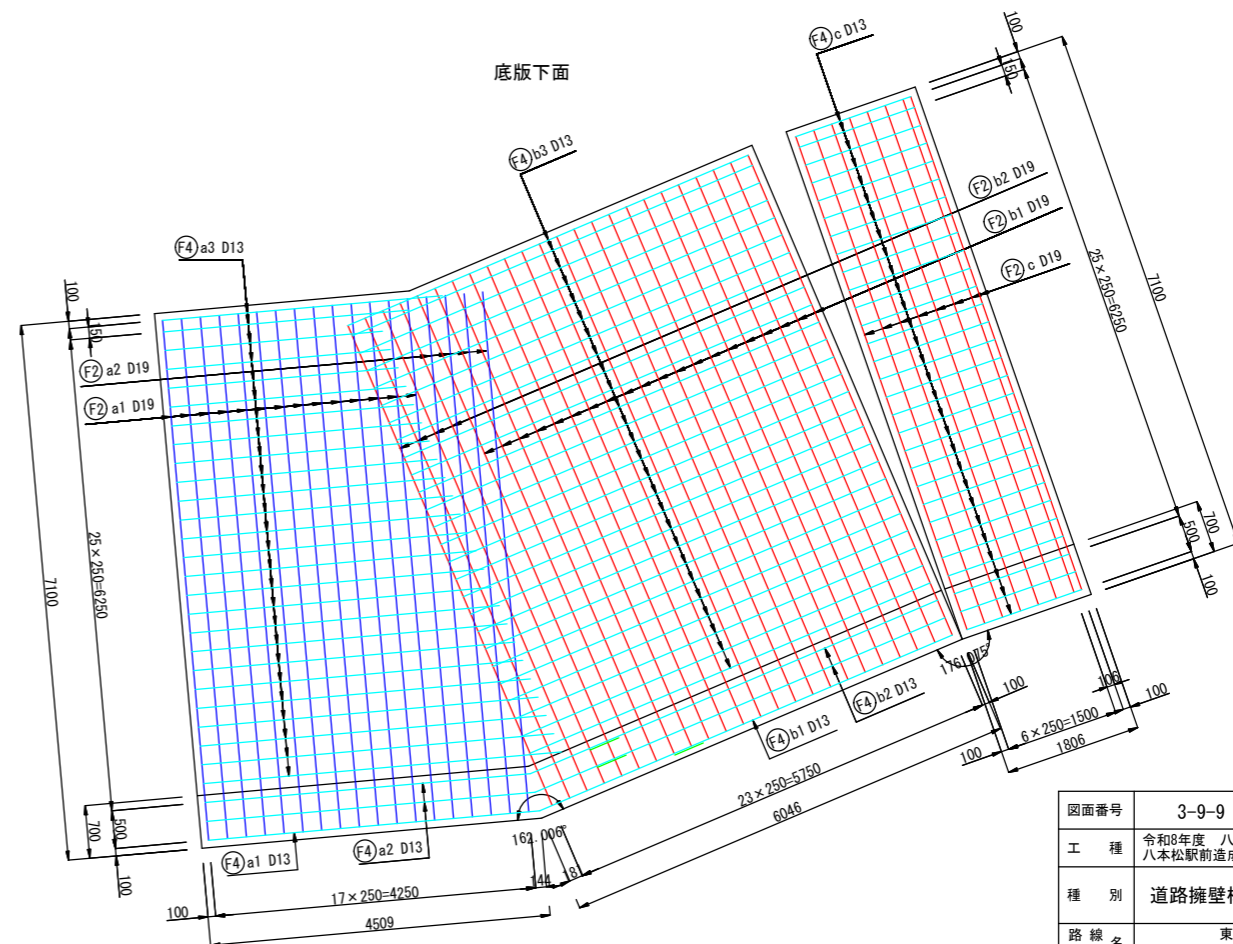
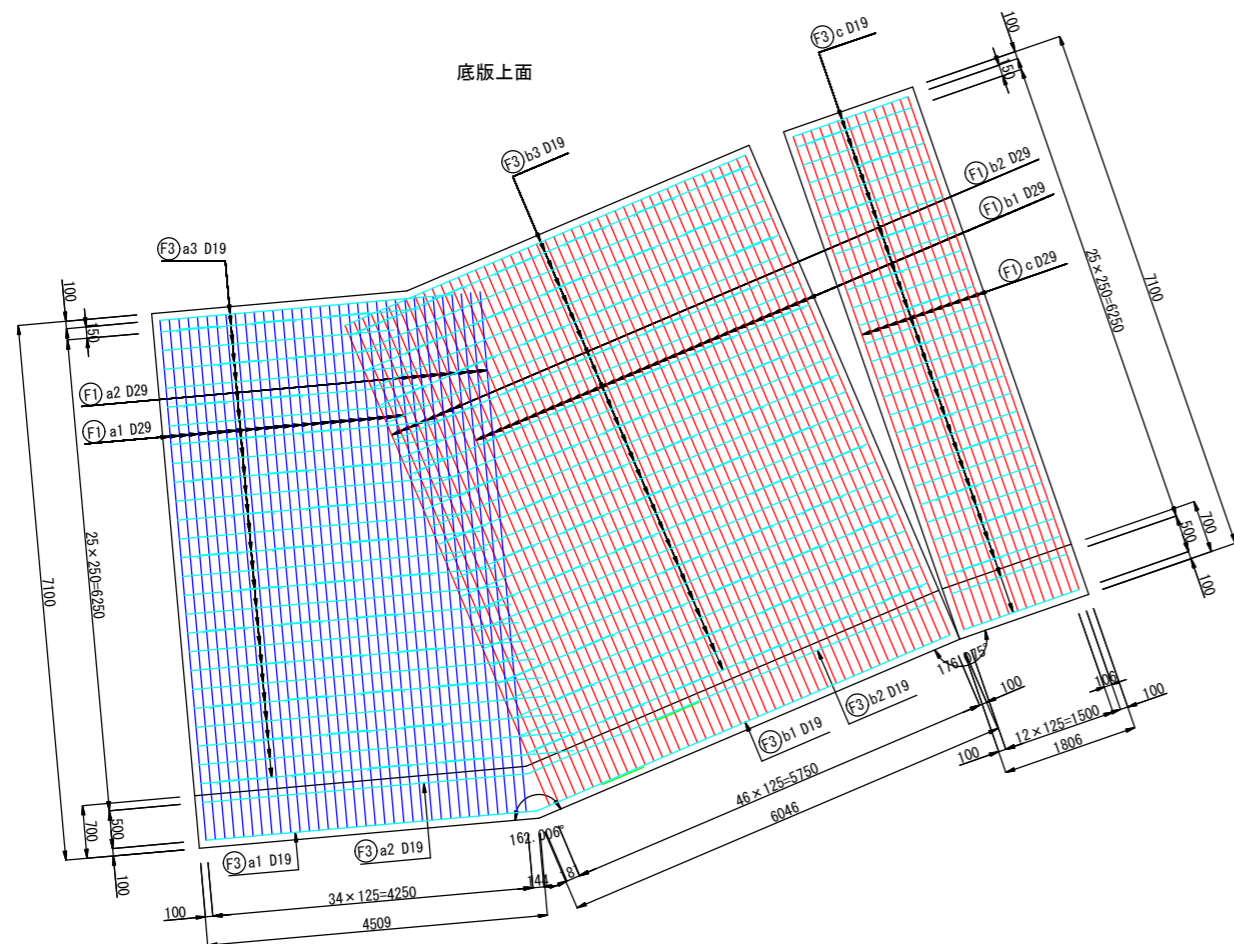
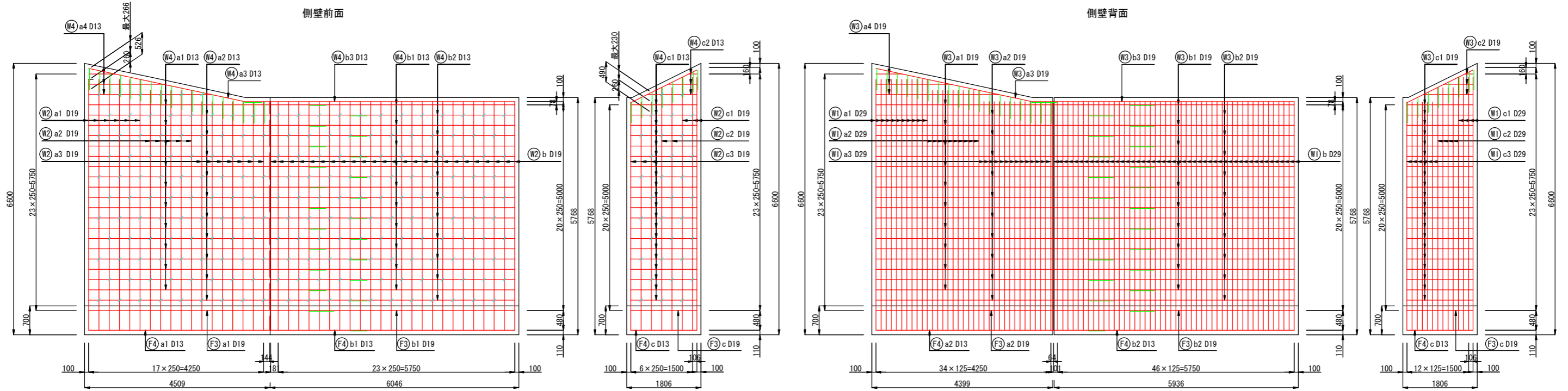
図面番号	3-9-8	縮尺	S=1/50(A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅造成工事(8-1)		
種別	道路擁壁構造図(12)	備考	
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

道路擁壁構造図(13)

【現打ちL型擁壁】

L型擁壁 H-6600(法付)②

S=1/50(A1)
S=1/100(A3)



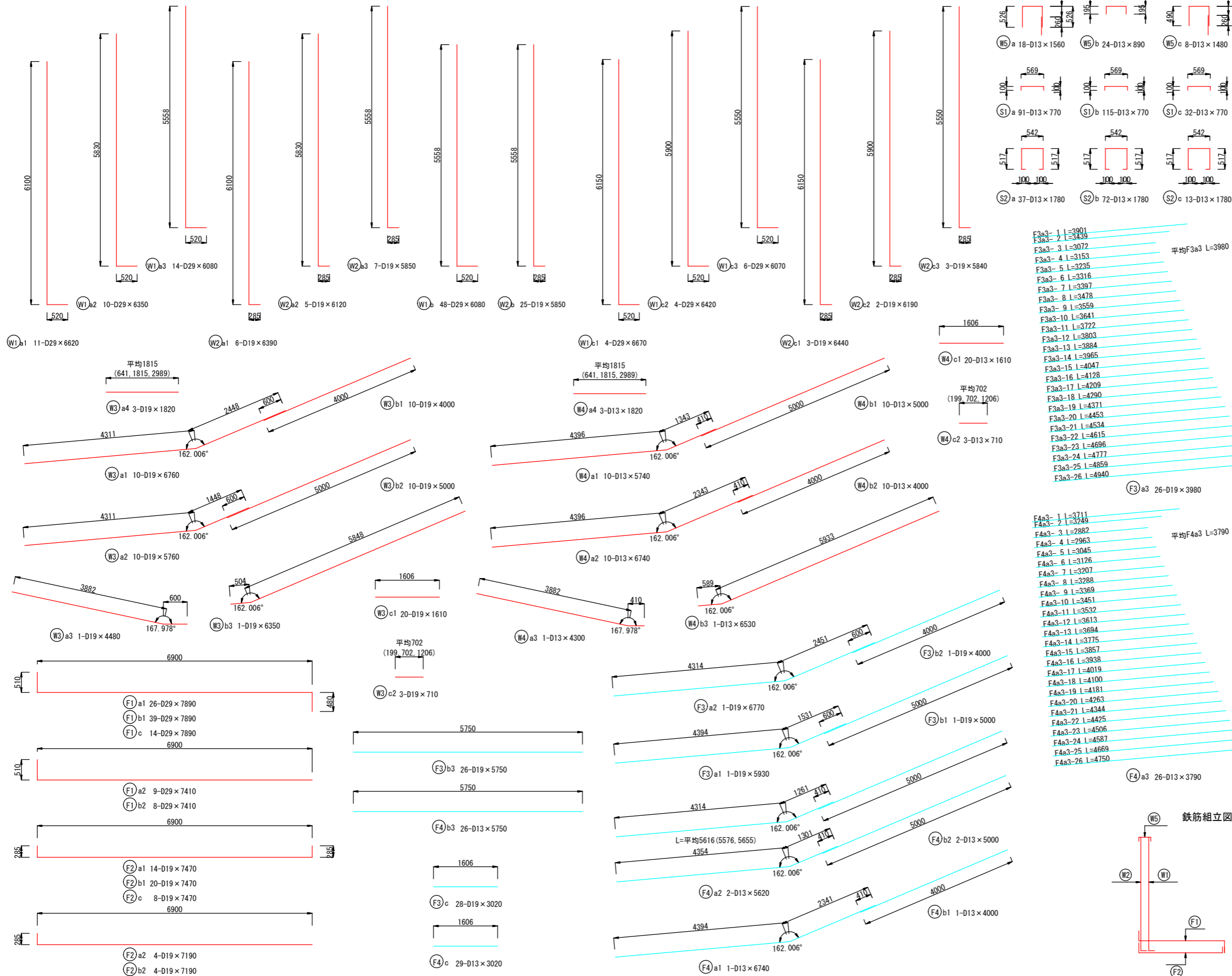
図面番号	3-9-9	縮尺	S=1/50(A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	道路擁壁構造図(13)	編者	
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

道路擁壁構造図(14)

【現打ちL型擁壁】

L型擁壁 H=6600(法付)③

S=1/50(A1)
S=1/100(A3)



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
W1a1	D29	6620	11	5.04	33.365	367.0	L
W1a2	D29	6350	10	5.04	32.004	320.0	L
W1a3	D29	6080	14	5.04	30.643	429.0	L
W1b	D29	6080	48	5.04	30.643	1470.9	L
W1c1	D29	6670	4	5.04	33.617	134.5	L
W1c2	D29	6420	4	5.04	32.357	129.4	L
W1c3	D29	6070	6	5.04	30.593	183.6	L
W2a1	D19	6390	6	2.25	14.378	86.3	L
W2a2	D19	6120	5	2.25	13.770	68.9	L
W2a3	D19	5850	7	2.25	13.163	92.1	L
W2b	D19	5850	25	2.25	13.163	329.1	L
W2c1	D19	6440	3	2.25	14.490	43.5	L
W2c2	D19	6190	2	2.25	13.928	27.9	L
W2c3	D19	5840	3	2.25	13.140	39.4	L
W3a1	D19	6760	10	2.25	15.210	152.1	L
W3a2	D19	5760	10	2.25	12.960	129.6	L
W3a3	D19	4480	1	2.25	10.080	10.1	L
W3a4	D19	1820	3	2.25	4.095	12.3	L
W3b1	D19	4000	10	2.25	9.000	90.0	L
W3b2	D19	5000	10	2.25	11.250	112.5	L
W3b3	D19	6350	1	2.25	14.288	14.3	L
W3c1	D19	1610	20	2.25	3.623	72.5	L
W3c2	D19	710	3	2.25	1.598	4.8	L
W4a1	D13	5740	10	0.995	5.711	57.1	L
W4a2	D13	6740	10	0.995	6.706	67.1	L
W4a3	D13	4300	1	0.995	4.279	4.3	L
W4a4	D13	1820	3	0.995	1.811	5.4	L
W4b1	D13	5000	10	0.995	4.975	49.8	L
W4b2	D13	4000	10	0.995	3.980	39.8	L
W4b3	D13	6530	1	0.995	6.497	6.5	L
W4c1	D13	1610	20	0.995	1.602	32.0	L
W4c2	D13	710	3	0.995	0.706	2.1	L
W5a	D13	1560	18	0.995	1.552	27.9	L
W5b	D13	890	24	0.995	0.886	21.3	L
W5c	D13	1480	8	0.995	1.473	11.8	L
S1a	D13	770	91	0.995	0.766	69.7	L
S1b	D13	770	115	0.995	0.766	88.1	L
S1c	D13	770	32	0.995	0.766	24.5	L
4827.2 kg							

F1a1	D29	7890	26	5.04	39.766	1033.9	L
F1a2	D29	7410	9	5.04	37.346	336.1	L
F1b1	D29	7890	39	5.04	39.766	1550.9	L
F1b2	D29	7410	8	5.04	37.346	298.8	L
F1c	D29	7890	14	5.04	39.766	556.7	L
F2a1	D19	7470	14	2.25	16.808	235.3	L
F2a2	D19	7190	4	2.25	16.178	64.7	L
F2b1	D19	7470	20	2.25	16.808	336.2	L
F2b2	D19	7190	4	2.25	16.178	64.7	L
F2c	D19	7470	8	2.25	16.808	134.5	L
F3a1	D19	5930	1	2.25	13.343	13.3	L
F3a2	D19	6770	1	2.25	15.233	15.2	L
F3a3	D19	3980	26	2.25	8.955	232.8	L
F3b1	D19	5000	1	2.25	11.250	11.3	L
F3b2	D19	4000	1	2.25	9.000	9.0	L
F3b3	D19	5750	26	2.25	12.938	336.4	L
F3c	D19	3020	28	2.25	6.795	190.3	L
F4a1	D13	6740	1	0.995	6.706	6.7	L
F4a2	D13	5620	2	0.995	5.592	11.2	L
F4a3	D13	3790	26	0.995	3.771	98.0	L
F4b1	D13	4000	1	0.995	3.980	4.0	L
F4b2	D13	5000	2	0.995	4.975	10.0	L
F4b3	D13	5750	26	0.995	5.721	148.7	L
F4c	D13	3020	29	0.995	3.005	87.1	L
S2a	D13	1780	37	0.995	1.771	65.5	L
S2b	D13	1780	72	0.995	1.771	127.5	L
S2c	D13	1780	13	0.995	1.771	23.0	L
6001.8 kg							

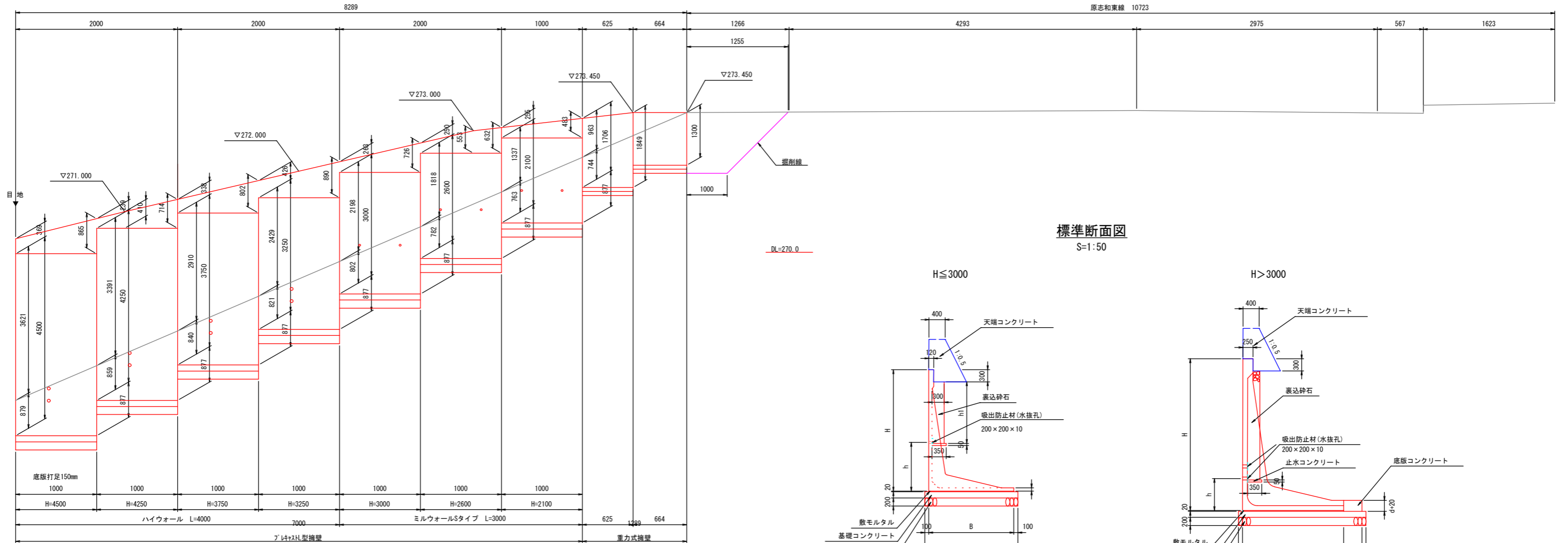
		D32	6810.8 kg
		D19	2929.1 kg
		D13	1089.1 kg
		合計	10829.0 kg

図面番号	3-9-10	縮尺	S=1/50(A1)
工種	令和8年度、八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事(8-1)		
種別	道路擁壁構造図(14)		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

6-9号EP付近L型擁壁割付図

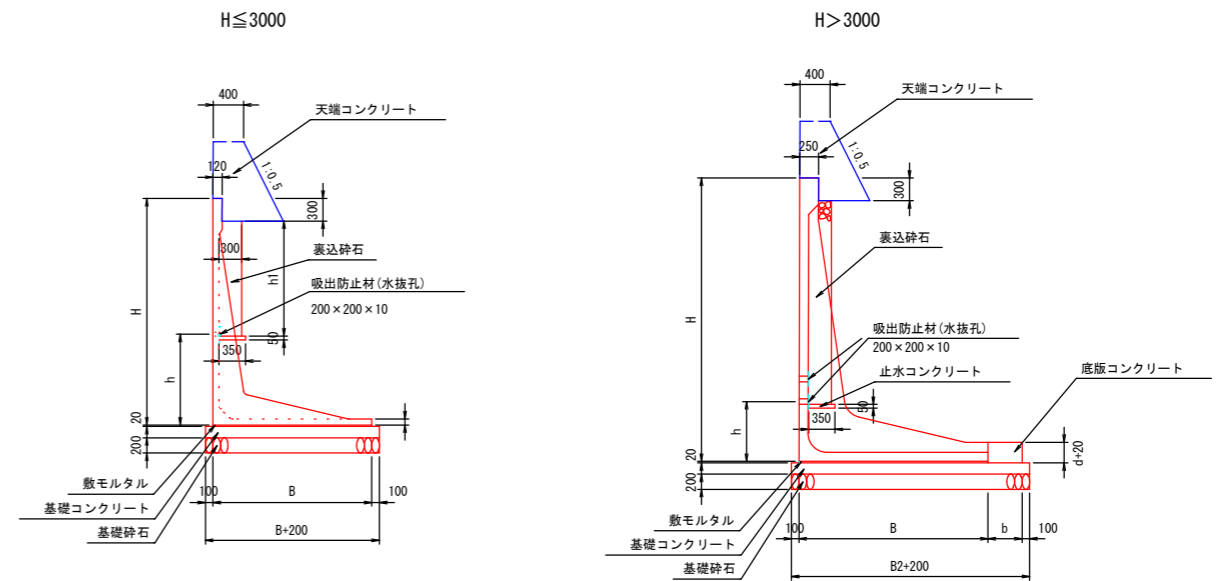
展開図

V=1:50
H=1:25



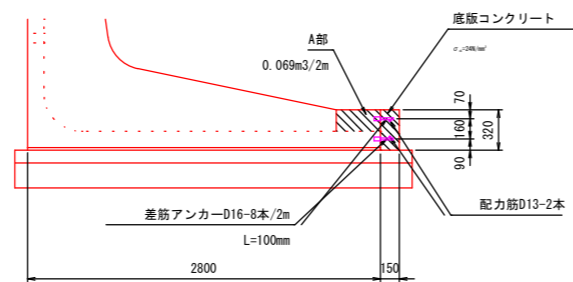
標準断面図

S=1:50



底版詳細図(H=4500)

S=1:30



底版工材料表 (製品1本当り)

名称	規格	単位	数量
底版コンクリート	σck=24N/mm2	m3	0.165
同上型枠		m2	0.643
差筋アンカー	D16 L=100mm	本	8
配力筋	D13 L=2008x2	kg	3.996

寸法表

H (mm)	B (mm)	t (mm)	h (mm)	備考
2100	1650	80	800	Sタイプ
2600	1950	80	1200	Sタイプ
3000	2100	80	1200	Sタイプ

寸法表

H (mm)	B (mm)	b (mm)	B2 (mm)	d (mm)
3250	2250	-	2250	250
3750	2500	-	2500	250
4250	2800	-	2800	300
4500	2800	150	2950	300

裏込工数量表

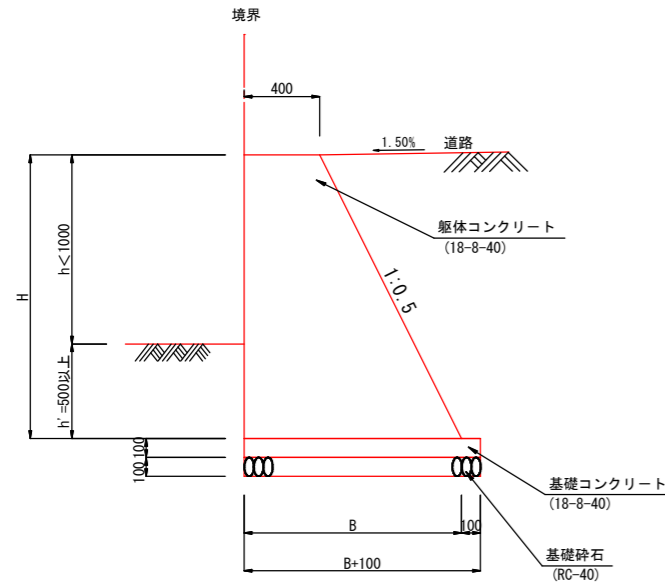
10m当り

H (mm)	B (mm)	裏込砕石 (m3)	止水Oo (m3)	止水Oo型枠 (m2)
3250	2250	4.58	0.10	0.31
3750	2500	5.17	0.09	0.30
4250	2800	5.78	0.08	0.27
4500	2800	6.23	0.08	0.27

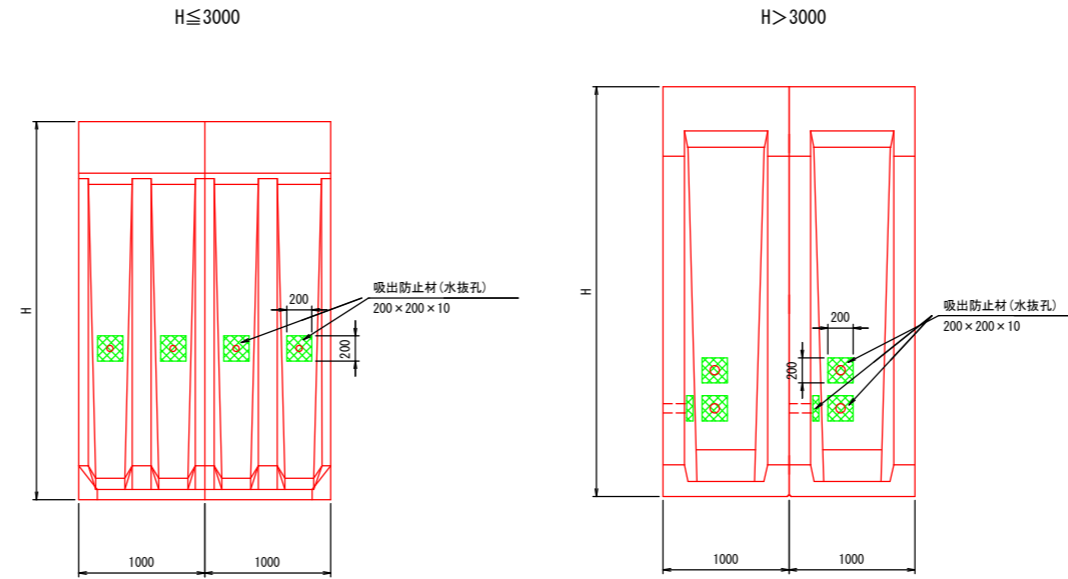
図面番号	3-10	縮尺	図示
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事 (8-1)		
種別	6-9号EP付近L型擁壁割付図	編者	
路線河川名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

6-9号EP付近L型擁壁構造図

重力式擁壁GW15 標準断面図 (h<2000)
【道路】



L型擁壁 参考背面図
S=1:30



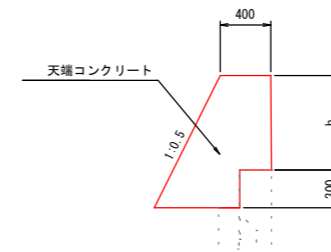
数量表

名称	規格 (H×B×L)	単位	数量	重量 (kg)	備考
L型擁壁 H ≤ 3000	2100 × 1650 × 1000	本	1	1076	S947 短尺
	2600 × 1950 × 1000	本	1	1486	S947 短尺
	3000 × 2100 × 1000	本	1	1667	S947 短尺
L型擁壁 H > 3000	3250 × 2250 × 1000	本	1	2935	短尺
	3750 × 2500 × 1000	本	1	3610	短尺
	4250 × 2800 × 1000	本	1	4540	短尺
	4500 × 2800 × 1000	本	1	4690	底板打足15cm 短尺

※ 4500 × 2800 × 1000はコンクリート強度を補強すること。

名称	品 種	規 格	単 位	数 量
裏込工	裏込砕石		m ³	3.28
	吸出防止材	200 × 200 × 10	m ²	0.72
	止水コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.09
	同上型枠		m ²	0.27
基礎工	敷モルタル	C:S=1:3	m ³	0.32
	基礎コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	2.64
	同上型枠		m ²	2.10
	基礎砕石	t=200mm	m ²	17.60
底板工	底板コンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²	m ³	0.08
	同上型枠		m ²	0.32
	差筋アンカー	D16 L=100mm	本	4
	配力筋	D13 L=1000x2	kg	1.99
天端工	天端コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	3.10
	同上型枠		m ²	10.09

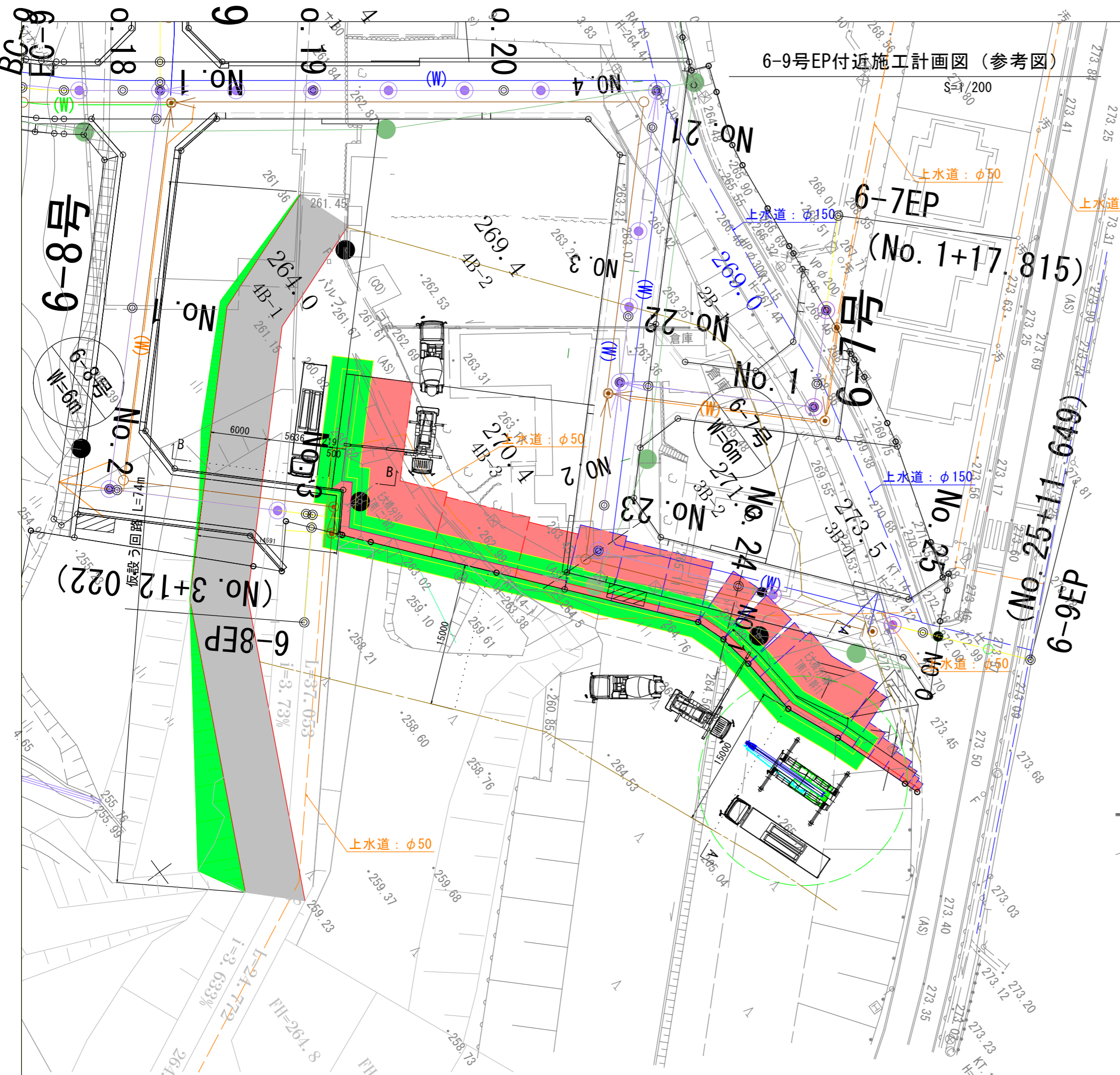
天端詳細図
S=1:30



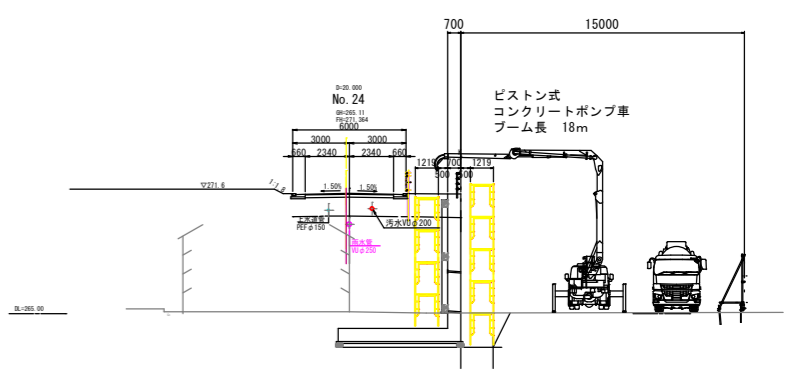
図面番号	3-11	縮尺	図示
工 種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事 (8-1)		
種 別	6-9号EP付近L型擁壁構造図		編 号
路 線 河 川 名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			

6-9号EP付近施工計画図 (参考図)

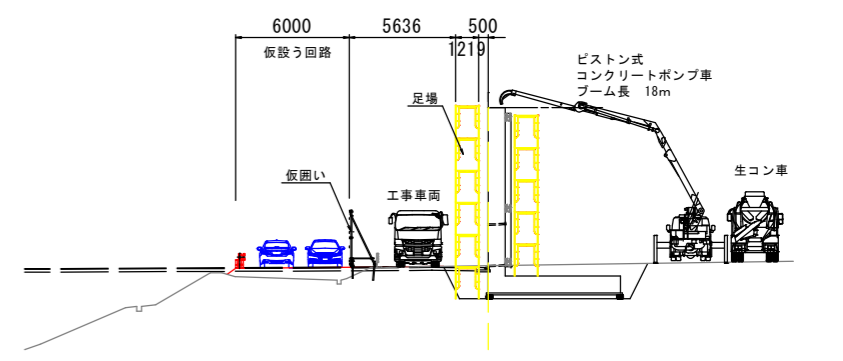
S=1/200



A-A断面



B-B断面



図面番号	3-12	縮尺	S=1/200 (A1)
工種	令和8年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事 (8-1)		
種別	6-9号EP付近施工計画図 (参考図)		
路線名	東広島都市計画事業 八本松駅前土地区画整理事業		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
東 広 島 市			